

書記ニモ差支アルハ邑會ヨリ指令若シハ表ノ順序ニ依リ定メ
ル邑會員ヲシテ之ヲ代理セシム

第八十五條 邑長ハ法律ニ依リ命シタル事務ノ一事ヲ拒ム或ハ施行
ヲ怠ルノ場合ニ於テハ縣令ハ命ヲ下シテ施行ヲ促シタル後ニ仍施
行セサルハ自ラ施行シ又ハ特別ノ委任者ヲシテ之ヲ施行セシム
ルコトヲ得

第八十六條 邑長及書記ハ縣令ノ布達ニ依リ一ヶ月以内其職ヲ停止
スルコトヲ得内務卿ハ停止時間ヲ三ヶ月ニ及ホスコトヲ得

邑長及書記ハ大統領ノ布告ヲ以テノニ免職セラル、モノトス
免職布告ノ日ヨリ一ヶ月年間ハ免職ニ依リ當然邑長及書記ノ職ニ撰
舉セラル、コトヲ得ス尤其期限内ニ邑會ノ總改選ノ場合ハ此限ニテ
ラス

現法律施行ノ殖民地ニ於テ知事ノ布達ヲ以テ三ヶ月ノ職務停止ヲ
宣告スルコトヲ得此期限ハ主務卿之ヲ延長スルコトヲ得ス知事ハ直ニ

宣告ノ決議ヲ海軍兼殖民卿ニ報告ス

第八十七條 第四十四條ニ依リ定メタル場合ニ於テ特別委員ノ會頭
ナキハ副會頭ニテ邑長ノ職ヲ行フ其權利ハ新ニ邑會ヲ組織スレ
バ當然之ヲ解クヘキモノトス

第八十八條 邑長ハ現行ノ法律布告命令書ニ依リ任命特別ノ權利ヲ
定メサル役員ハ總テ之ヲ命ス

邑長ハ自ラ任シタル邑ノ役員ノ職務ヲ停止又ハ免職ス邑長ノ任命
シタル役員ヲシテ誓盟又ハ保証セシムルコトヲ得然レハ其役員ハ特
令亦區長ノ是認ヲ要スルモノトス

第八十九條 邑ノ經費ニ關シ入札ヲ爲スルハ邑長ハ豫メ指名シタル
邑會議員ノ中二名或ハ指名ナキハ表ノ順序ニ依リ定メタル二名
ノ議員ヲ之ニ陪席セシムヘキモノトス

邑ノ收稅官ハ總テノ入札ノ際出席ス
入札ノ諸手續ニ就キ生スル處ノ差違レハ現場ニ於テ邑長及陪席者

ノ會議ニ依リ多數ヲ以テ之ヲ決ス但權利ノ苦情ハ此限ニアラス
 入邑稅受負ニ關スル千八百九年五月十七日布告ノ條目ハ仍存立ス」
 第九十條 邑長ハ邑會ノ檢査及政府ノ監督ヲ請ケ左ノ事項ヲ担任ス」
 第一 邑ノ所有物ニ關シ權利保有ノ事
 第二 邑ノ所得ヲ支配シ邑立ノ建物及邑ノ計算ヲ監督スル事
 第三 邑ノ經費ヲ調整シテ議決ニ提出シ及支拂ノ事ヲ命スル事
 第四 邑ノ工事ヲ處理スル事
 第五 邑持ノ道路ニ關スル處分ノ事
 第六 市場ノ認可及現法律第六十八條第六十九條及其他ノ法律規
 則ニ依リ邑ノ事業ノ入札邑ノ財產貸渡書取替ノ事
 第七 賣渡、交換、分割、遺物及寄附物受入、購入、和解ノ約束以上ノ事
 柄ヲ現法律ニ依リ許シタル法式ニ遵ヒ施行ノ事
 第八 訴訟ニ關シ原告被告トモ邑ヲ代表スル事
 第九 森林中ニテ遊獵權ヲ有スルモノト協議シ千八百四十四年五

三月三日法律第九條ニ依リ縣令ノ布達ニ定メタル有害ノ動物撲殺
 ニ必用ナル處分ヲナス事
 積雪中遊獵權ヲ有スルモノニ狼、猪ヲ該地外ニ出テサル様ニ命ジ
 若レ所有權ナキハ該地内ニ追込マセ及撲殺ノ爲メニ狼、猪ニ必
 用ナル居住人ニ指揮スル事
 以上ニ示シタル處分施行ノ監督及施設ヲナシ之カ口供ヲ作ル事
 第十 一般ニ邑會ノ決議施行ノ事
 第九十一條 邑長ハ政府ノ監督ヲ請ケテ邑ノ取締田野取締及田野取
 締ニ關スル上官ノ法令施行ヲ担任ス
 第九十二條 邑長ハ上官ノ命令ヲ請ケテ左ノ事項ヲ担任ス
 第一 法律及規則公告并施行ノ事
 第二 一般ノ安寧ニ係ル處分施行ノ事
 第三 法律ヲ以テ特ニ委任サレタル特別職務ノ事
 第九十三條 邑長或ハ邑長事故アルキハ區長總テ死亡者ヲ宗數信仰

ノ照ニ差別ナク至當ノ法ヲ以テ辨ルコトニ關シ速ニ手配ヲナス事
第九十四條 邑長ハ左ノ事項ニ就テハ布達ヲナス

第一 法律ヲ以テ委任ノ事ニ就テハ邑長ノ注意及權限ヲ以テ地方
所分ヲ命スル事

第二 法律及規則ヲ新ニ公告シ且人民ヲレテ之ニ注意ヲ惹起セシ
ムル事

第九十五條 邑長ノ布達ハ直チニ送致シ若クハ縣ノ首府ノ區ニ在テ
ハ縣令ニ送致スヘキモノトス縣令ハ之ヲ廢止シ若クハ旅行ヲ停止
スルコトヲ得

布達ニシテ永久ノ規則トナルヘキモノハ區長若クハ縣令ノ請取
書ヲ以テ布達寫シテ送致確收後一ヶ月後ニ實施スルモノトス然レ
ト至急ノ場合ニ於テハ縣令ハ直ニ履行ヲ許可スルコトヲ得

第九十六條 邑長ノ布達ハ一般ノ人民ニ關係スル事柄ニ就テハ其部
度公告及出張ヲ以テ關係ノモノニ之ヲ讀ラシメタル後ニ始メテ服

從ノ義務ヲ負フヘキモノトス

其他ノ場合ニ於テハ圖々ニ通知ノ方法ヲ以テ之ヲ讀ラシメタル後
始メテ服從義務ヲ負フヘキモノトス

公告ハ邑長ヨリ權カメタル申立ニ依リ確定ス

通牒ハ關係人ノ請取書ヲ以テ定メリ或ハ請取書ナキモハ邑役所ノ
記録ニ存シタル按テ以テ之ヲ確證ス

布達公告及通牒書ハ邑ノ役所ノ帳簿ニ日附ヲ以テ記入ス

第九十七條 邑ノ取締ハ秩序、安寧、衛生ヲ保持スルヲ以テ目的トナス
邑ノ取締ハ殊更ニ左ノ事項ヲ含有ス

第一 町、波戶場、廣小路大道ニ於ル通行及安寧ニ係ル總テノ事項及
掃除、點燈、通行ノ妨ク物ヲ取除或損ノ建物ヲ取崩或ハ修繕畢或
ハ其他ノ場所ニ脱落スヘキモノヲ置カレメタル事

通行ヲ害シ或ハ健康ニ害アルヘキ臭氣ヲ發スヘキモノヲ路次ニ
放棄スルコトヲ禁ス

第二 公共ノ静謐ヲ害スルモノ即チ市中ニテ集合喧嘩爭論公衆ノ
 集會場所ノ騒動多人數ノ騒動人民ノ安眠ヲ妨クルノ物音及集會
 其他公衆ノ静謐ヲ犯スヘキ事柄ヲ鎮靜スヘキ注意ノ事

第三 多人數集合スヘキ場所即チ市場、遊樂場、祭式劇場、遊藝場、遊
 店、寺院其他公衆ノ集マルヘキ場所ニ於テ秩序ヲ保タシムヘキ事
 第四 死亡者運搬ノ方法葬式埋葬及墓地ノ錯亂ヲ防キ墓地ニ於ケ
 ル秩序ヲ保タシム但死亡者ノ宗教信仰或ハ本人死亡ノ場合ノ爲
 メニ特別ノ区分又ハ命令ヲナスコトヲ許サス

第五 消費物品ノ賣捌上度量ノ確實及食料品ノ健康ニ害ナカラシ
 ムル監督ノ事

第六 不時ノ出来事凶徒傳染病出火洪水動物傳染病等ノ如キモノ
 適當ノ豫防法ニ依リ避クヘキノ注意及必用ナル救助ヲ與ヘ不幸
 チ免カシムヘキ注意若シハ必用アルトキハ政府ノ關涉ヲ請ク
 テ之ニ從事ノ事

第七 發狂者ニシテ其病体公衆ノ德義ヲ毀リ或ハ人ノ安寧所有權
 ノ保護ヲ犯ストキハ臨時ニ豫防ノ注意ヲナス事

第八 猛獸害獸ヲ放擲スルノ害ヲ避ケ或ハ放擲セシメサル注意ノ
 事

第九十八條 邑長ハ國道縣道及邑ノ内部ニ交通スル道路ノ取締ヲナ
 ス事但取締ハ上文ノ交通上ニ關スル事ニ限ル

邑長ハ既定稅格ノ收納ニ依リ大連河港川岸其他公衆ノ集マル場所
 臨時ノ溜ニ免許ヲ與フルコトヲ得

但革命曆七年三月十一日法律第七條ニ依リ定メタル稅格ハ之ヲ
 免除ス

戶々家並ノ檢査、築屋ノ許可其他道路ニ關スル許可ヲナス但邑長自
 ラ之ヲ許可スルノ限ニ非サル事項ハ邑長ハ意見ヲ呈シ主管ノ上官
 ヨリ之ヲ許ス

邑長ノ權限内ナル道路ニ關シ準許或ハ免許ノ性質ニシテ其目的往

來ノ土中ニ水路又ハ「ガス」引用ヲ公共ノ利益トシテ邑長許可セザル
キハ縣令之ヲ許可スルヲ得

第九十九條 第九十一條ニ依リ邑長ニ屬スル權ハ縣ノ各邑又ハ邑ト
邑ノ間ニ就キ若クハ邑ノ官衙ヨリ手配ヲナサ、ル場合ニ於テハ縣
令ニテ公共ノ衛生安寧靜謐ヲ保ツコトニ關スル總テノ處分ヲ妨グル
ヲ得ス

上文縣令ノ權ハ單一ノ邑ニ對シテハ邑長ハ其事件ヲ督促シ之ニ應
ジサル場合ニ限リ縣令之ヲ施ス

第一百條 寺院ノ鐘ハ特ニ宗教上禮式ノ用ニ供ス然レモ鐘ハ公衆ノ危
險ナル場合例ヘハ救助ヲ仰クヘキカ又ハ法律規則ニ定メラレタル
場合若クハ地方ノ慣習ニ依リ用フルヲ要スル場合ニハ之ヲ用フル
ヲ得

宗教ニ關スル鳴物ハ人民所有ノ鳴物ト均シク中教正及縣令協議ノ
上用フルヲ定メ或ハ縣令ト新教ノ僧徒ノ協議ノ上之ヲ定ム協議

上意見ヲ異ニスルハ教務卿之ヲ定ム

第一百一條 鐘樓ノ鐘ハ一ヲ僧ノ首坐之ヲ持チ一ハ邑長之ヲ持ツ邑長
ハ之ヲ使用スルニハ法律或ハ規則ニテ定メラレタル場合ニノミ之
ヲ使用ス

鐘樓ノ入口ト寺院ノ入口同一ナルハ寺院入口ノ鐘ヲモ亦邑長ニ
一個ヲ差出シ置クヘキモノトス

第一百二條 總テ邑ハ一人若クハ數個ノ田野警視人ヲ置クヲ得警視
人ノ任命ハ邑長之ヲナス

田野警視人ハ區長若クハ縣ノ首府ニ在テハ縣令ノ承諾ヲ得テ區長
若クハ縣令ノ委任ヲ請クヘキモノトス

縣令若クハ區長ハ一ヶ月以内ニ其諾否ヲ報知スヘキモノトス警視
人ハ警ヲナスヘキモノトス邑長ハ其職ヲ停止スルヲ得職務停止
ハ一ヶ月以上ニ涉ルヲ得縣令ハ其職ヲ免スルヲ得
警視人ハ田野警察ニ關スル職務ノ外ニ受持ノ地内ニ於テ各自邑ノ

取締規則及布達犯罪ノ搜索ニ任ス此犯罪ヲ證明スルニハ口供ヲ作ルモノトス

第百三條 人口四萬以上ノ都府ニ於テハ取締事務官ノ組織ハ邑會ノ意見ニ依リ大統領ノ布告ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス

若邑會取締費用ニ必用ナル資金ヲ與ヘス若クハ不充分ノ金額ノヲ與フルルハ之ニ必用ノ金額ハ參事院ヲ經テ大統領ノ布告ヲ以テ邑ノ經費ニ記入スルヲ得

總テ邑ニ於テハ警察監督官一等巡査二等巡査三等巡査ハ邑長之ヲ命シ區長或ハ縣令ノ許諾ヲ得ヘキモノトス邑長ハ其職務ヲ停止スルヲ得縣令獨リ之ヲ免職スルヲ得

第百四條 ロース縣令ハロース縣ノ里昂カリニキール、キニキール、ウーラン、サントゴア、ヤンラン、マール、ピロール、パンヌ、ゴチン、ヤン、ハフ、ン、ア、ロン、ベ、ニ、シ、ニ、ビ、エ、ル、メ、ニ、ツ、ト、及、ユ、ン、縣ノサト、チ、イ、邑ニ於テハ警視總監ニテヒース縣ノ准市街ノ邑ニ施行スヘキ職權ト同一

ノ權限ヲ有ス

第百五條 第百四條ニ指名セル邑ニ於テ邑長ハ第九十七條ノ第一節

四第五第六第七第八項ニ依リ邑長ニ委任シタル警察權ヲ帶ヒタルモノトス

其他邑長ハ市場公衆ノ遊樂祭禮見セ物劇場遊藝場球場咖啡店寺院又ハ公衆ノ集合スヘキ場所ニ於テ秩序ヲ保維スルヲ委任セラレタルモノトス

第百六條 邑ハ邑ノ所轄地ニ於テ群集或ハ集合シテ武器ヲ携ヘ若クハ武器ヲシトモ人ニ對シ若クハ公共ノ所有又ハ私有權ニ對シ暴行ヲナシタル重罪或ハ輕罪ヨリ生シタル損害ノ責ニ任ス

邑ノ負フヘキ損害ノ償ヒハ四種ノ直稅ヲ含有スヘキ特別ノ帳簿ニ依リ其邑内ニ居住ノ總テノ人民ノ配當負擔スヘキモノトス

第百七條 集合或ハ徒黨シテ數箇ノ邑ノ居住人之ヲナスルハ各邑ハ裁判所ニ定メラレタル比例ヲ以テ各邑ニテ其損害辨償ノ責ヲ帶フ

第八條 第六條第七條ノ項目ハ左ノモノニ適用セス

第一 邑ハカノ及フ丈ケ處分法ヲ盡シ群衆或ハ徒黨ヲ避クヘキヲ
ヲ免メ且發起人ニ通知シタルトテ證明シ得ル場合

第二 邑長ニテ該地方ノ警察又ハ兵力ヲ頼ムトテ得テラレ場合

第三 損害ノ軍事ニ係ル結果ナル場合

第九條 實ヲ帯フヘキモノト申立ラレタル邑ハ混亂ノ發起人及徒
黨者ニ對シテ訴ヲ起スヲ得

○第四篇 邑政

第一章 邑ノ財産、事業、及建物

第十條 邑ノ助産及不動産ニシテ公共ノ用ニ供スルモノ、外邑財
産ノ賣却ハ施行權ヲ有スル債主ノ請求ニ依リ大統領ノ布告ヲ以テ
之ヲ許スヲ得
大統領ノ布告ハ賣捌ノ法式ヲ定ム

第十一條 遺物寄附物ヲ受人ルヘキ目的トシタル邑會ノ決議ニシ

テ約束或ハ義務ヲ保ツルハ參事會ヲ經縣令ノ布達ヲ以テ施行スヘ
キモノトス

遺物寄附物ノ多寡如何ニ拘ハラズ正當ノ相續者ニシテ苦情アルト
ハ邑ニ請クヘキ許可ハ參事院ヲ經タル布告ヲ以テ之ヲ許ス
テ得寄附物或ハ遺物ヲ未ダ無形人ヲ代表スヘキ選舉區ヲ形ツラ
サル邑ノ村或ハ町ニ寄附シタルトハ村或ハ町ノ居住者ハ以下示ス

第十二條 依リテ組合委員ヲ選舉スルモノトス組合委員ハ寄附
ノ請入如何ヲ議ス何レノ場合ニ同ハス受理ノ許可ハ參事院ノ決議
ヲ經タル式ヲ履タル布告ヲ以テ之ニ受理スルヲ得

第十三條 若遺物寄附ノ請入ヲ拒ムノ決議ヲナシトハ縣令ハ選
由ヲ示シタル布達ヲ以テ邑會ノ最初ノ決議ヲ再議セシムルヲ得
請入ノ拒絕ハ第二ノ決議ニ於テ拒絕ノ場合ニ於テ請ノ定マルモノ
トス

寄附或ハ遺物ヲ邑内ノ選舉區ニ寄附シ邑會ニテ其寄附ヲ拒ムルハ
第百拾壹條ノ第三項ニ示スカ如キ手續トナスヘキモノトス

第百拾三條 邑長ハ毎ニ保護ノ名義ニテ寄附或ハ遺物ヲ假ニ受テ入
ル、トテ得但許可以前ニ在テハ之ヲ返戻スルノ請求ニ應シ又ハ返
戻スルコトヲ得

大統領ノ布告縣令ノ布達或ハ邑會ノ決議ヲ以テ受入發表ノ後ハ効
力ヲ有シ返戻ヲナスコトヲ得ス

第百拾四條 新ノ建築或ハ改築ノ何レヲ問ハス邑會ノ決議レタル製
圖及目録見書ニ據ラザレハ之ヲ舉行スルコトヲ得ス但特別ノ法律ヲ
以テ定メタル場合ハ此限ニアラス

製圖及目録見書ハ第六拾八條第三項ニ示レタル場合ニ於テハ縣令
之ヲ許可ス

第百拾五條 千八百三十七年十一月十四日命令書ニ依リテ定メタル
場合ニ於テ双方承諾ノ上取替セノ條約ニレテ新クノ道路ヲ拓キ及

其他總テ邑事業請願ヲ以テ施行ヲ目的トスルモノハ第百拾五條
第三項ニ示シタル場合ニ於テハ縣令若シハ布告ヲ以テ之ヲ許可ス
特許ノ性質ヲ帯ヒタル大事務ノ請負條約或ハ大事務ノ三十年以
上ニ涉ルモノ即チ葬式具ノ貸借直取ヲ定ムル條約ノ如キモノ亦前
項ニ同シ

第百拾六條 二個若シハ數個ノ邑會ハ邑會ノ間ニ會頭ノ紹介ニ依リ
且之ヲ縣令ニ報知シタル後邑會ノ權限内ニ屬スル邑ノ利益ニ關ス
ル事項及同時ニ各邑ノ利益ニ關スルモノハ各邑ノ協議ヲナスコトヲ
得

邑會ハ共同ノ費用ヲ以テ邑ノ利益トナルヘキ事業又ハ公共ノ建物
ヲ新築若シハ維持ノ爲メ約束ヲナスコトヲ得

第百拾七條 共有ノ利益ニ關スル事項ハ會議ニ於テ之ヲ議ス此會議
ニ於テハ各邑會ハ之ヲ爲メ秘密撰採ヲ以テ議員ヨリ成リタル特別
ノ委員三名宛チ撰シテ委員會ヲ組織シ之ヲ議定ス

關係ノ邑ヲ含有スル縣令及區長ハ毎ニ臨席スルヲ得此會議ニ於テ
決レタル決議ハ總テ關係ノ邑會ヨリ批准ヲ受ケ且現法律第四篇第
三章ヲ遵守シタル後ニ非サレハ之ヲ執行スルヲ得ス

第百拾八條 第百十六條ニ示シタル事項ニシテ辦事ニ掛ケタルハ
會議ヲ催ス處ノ縣令ハ會議解散ヲ申立ルヲ得此申立ノ後決議レ
タル總テノ決議ハ千八百七十一年八月十日法律第三十四條ニ示レ
タル事項及罪則チモ適用スヘキモノトス

第百拾九條 邑債ニ關レ邑ノ養老院病院其他慈善ニ係ル建物ノ事務
委員決議ハ其邑債額其建物通常ノ收入金額ヲ超ヘス且償却ノ十二
年間ニ終ルモノハ邑會ノ承諾ノ意見ニ依リ縣令ノ布達ヲ以テ之ヲ
施行ス

負債ノ金高前項ノ高チ超ヘ若クハ償還ノ期限十二年以上ニ涉ル
ノ邑債ハ大統領ノ布告ニ非サレハ之ヲ許スヲ得ス若邑會ノ意見
反對ナルハ若クハ年收ノ十二萬法以上ノ建物ニ關スルハ布告ハ

參事院ノ議ヲ經ヘキモノトス

邑債ハ其額五十萬法ヲ超ヘ若クハ新邑債ノ高舊邑債ノ高チ合レテ
其額五拾萬法ニ超ルハ法律ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ許可スル
ヲ得ス

第百二十條 邑ノ公共ノ建物管理事務委員公共若クハ或ル私用ノ利
益ノ爲メ斯ノ建物ニ屬スル動産或ハ不動産物或ハ地面家屋ノ一部
或ハ全部ヲ借用スルノ決議或ハ以上ニ示ス土地家屋物品ヲ他ノ公
共ノ用或ハ私立公共ノ用或ハ一個人ノ用ニ供スル事ニ關スル決議
ハ邑會ノ意見ヲ呈シタル後內務卿ノ具申ニ依リ參事院ヲ經タル布
告ニ非サレハ實施スルヲ得ス

第二章 裁判

第百廿一條 邑若クハ邑内ノ選舉區ノ何レヲ問ハス參事會ノ許可ヲ
得サレハ訴訟ヲナスコトヲ得ス但現法律第百廿二條及第百五拾四條

ニ示ス場合ハ此限ニアラス
總テ裁判宣告ノ後ナ邑ハ新ニ參事會ノ許可ヲ得サレハ控訴スルヲ
ヲ得ス

前二項ニ示シタル場合ニ於テハ參事會ノ決議ハ許可請求ノ日ヨリ
二ヶ月以内ニナスヘキモノトス此期限内ニ決議ヲ與ヘサレキハ邑
ハ訴フルヲ許サレタルモノトス

第百廿二條 邑長ハ毎ニ豫メ許可ナクシテ所有者ノナスヘキ行爲ヲ
シテ或ハ辨護スルヲ得

所有者ナキ土地ヲ保護シ或ハ一時所有ヲ假リ代表スルノ行爲ヲナ
スヲ得

邑長ハ他ノ許可ヲ得シテ總テノ裁判ニ就キ控訴シ大審院へ訴テ
ナスヲ得但新テニ控訴或ハ大審院へ訴フルヲノ許可ヲ得サルハ
ハ審判ヲ請フヲ得ス

第百廿三條 邑若クハ邑内撰舉區ノ爲スヘキ事項ニシテ邑ノ深メ決

議ヲ以テ邑ノナスヘキ事項ヲ怠リ或ハ拒絕シタル事項ニ就キテハ
邑税簿ニ登記セラレタル總テノ納稅者ハ參事會ノ許可ヲ得テ自ラ
費用ヲ支辨シ損害ヲ負擔スルニ於テハ一個人ニシテ之カ訴訟ヲ起
スノ權ヲ有ス
邑或ハ邑内ノ撰舉區ハ訴訟ノ關係ヲ保有スルヲ以テ其宣告ノ施行
ヲ負擔セサルヲ得ス

第百廿四條 所有ニ係ル訴訟外ニ渉ル訴訟ハ何タルニ拘ハラズ原告
者ハ豫メ縣令若クハ區長ヘ其理由ヲ陳述シタル書面ヲ呈シタル後
ニ非サレハ邑ニ對シテ訴訟ヲ起スヲ得ス此手續ヲ履マサルモノ
ハ無効トス但呈出ノ書面ニ對シテハ受領書ヲ本人ヘ渡スヘキモノ
トス

訴訟ハ預リ所分ニ抵觸セサル爲メ受領書受授ノ時ヨリ二ヶ月ヲ經
タル後ニ非サレハ起訴スルヲ得ス
理由陳述ノ書面ヲ呈シタル後三ヶ月内ニ起訴スレハ沒收ノ命令ヲ

一時停止スルヲ得

第百廿五條 縣令若シハ區長ハ本人ノ呈出シタル理由書并邑會ヲ至急ニ促スヘキ書面ヲ併セテ邑長ヘ送スヘキモノトス
邑會ノ議決ハ參事會ヘ送附ス參事會ハ邑ノ訴訟ヲ請クヘキヤ否ヲ議決ス

參事會ノ決議ハ理由書ヲ呈シタル日ヨリ二ヶ月内ニテスヘキモノトス

第百廿六條 參事會ノ決議ニシテ訴訟許可ヲ拒絕スヘキモノハ總テ其理由ヲ述フヘキモノトス
訴訟ノ許可ヲ拒絕セラレタル邑又ハ邑内ノ撰舉區或ハ納稅者ハ參事院ニ控訴スルヲ得

控訴ハ行政上ノ式ニ依リ受理ノ上之ヲ裁判ス

控訴ハ參事會ノ布達通知ノ日ヨリ二ヶ月内ニテスヘキモノハ効力ヲ有セス

控訴ハ參事院ノ書記部ニ記入ノ日ヨリ二ヶ月以内ニ之ヲ議決スヘキモノトス

第百廿七條 邑若シハ邑内ノ撰舉區ヨリ參事會ノ決議ニ對スル控訴ノ場合ニ於テ原告ハ仍訴訟ヲ起スヲ得

參事院ニテ控訴ヲ議決シ若シハ議決スヘキ期限迄ハ訴ヲ起スヲ得停止ス

以上ニ示ス期限内ニ決議セザルハ邑ハ訴ヲ起スヲ許サレタルモノトス

控訴若シハ大審院ヘ控訴ノ場合ニ於テハ第百廿壹條ニ示レタル手續ヲナスヘキモノトス

第百廿八條 邑ノ撰舉區若其屬スル區又ハ同邑内ノ他ノ撰舉區ニ對シ訴ヲ起スカ或ハ已ニ訴ヘタルモノヲ繼續セントスルハ其區及關係ノ各撰舉區ニ各組合委員ヲ作ルヘキモノトス

第百廿九條 組合委員ハ邑ノ被撰舉人ヨリ撰舉シ撰舉區内ニ居住ノ

モノ及撰舉名簿ニ登録ナレト雖其區ニ土地所有者ヨリ之ヲ命ス
 區ノ居住者若シハ土地所有者ノ三分ノ一ヨリ也又ハ邑内ノ他ノ撰
 舉區ニ對シ己レカ區ノ爲メニ訴訟權ヲ施行スヘキ所以ヲ述ヘタル
 請求書ヲ縣令ニ呈出スル都度縣令ハ一ヶ月内ニ組合委員ヲ作ル爲
 メ撰舉人ヲ招集スヘキモノトス
 委員ノ數ハ撰舉人ヲ招集スヘキ布達ヲ以テ之ヲ定ム委員ハ委員中
 ヨリ訴訟ヲ繼續貫通スヘキ擔任者即チ會頭ヲ撰ムヘキモノトス
 第三百十條 第六十四條ニ依リ邑ヨリ苦情ヲ申立タル財產及權利所
 有ニ關係アル邑會議員ノ出席セサルヨリシテ議員三分ノ一以下ニ
 減シタルキ縣令ハ出席シ能ハサル邑會議員ニ代リテ議事ヲナスヘ
 キ人ヲ選フタメ邑ノ撰舉人ヲ招集ス但撰舉區内ニ居住シ又ハ土地
 所有者タルモノハ之ヲ除ク
 第三百十一條 邑若クハ他ノ撰舉區ニ對シ勝訴ヲ得タルキハ訴訟ニ
 リ生スル費用及損害辨償ノ爲メニ課賦ノ負擔或ハ租稅ノ負擔ヲ受

ケナルモノトス
 邑若クハ邑ノ撰舉區ニ對シタル一個人若シハ數人ノ起訴ノ場合ニ
 於テモ前項ニ全レ

第三章 邑ノ經費

第一節 收入及支出

- 第三百二十二條 邑ノ經費ヲ分ツテ通常經費及臨時經費トナス
- 第三百二十三條 通常經費收入ハ左ノモノヨリ成ル
 - 第一 邑ノ所有物ニシテ居住者現品使用ニ非サル總テノ所得高
 - 第二 現品使用ノ爲メ使用者ニ賦課セル上り高
 - 第三 大藏法律ニ依リ邑ノ用ニ供シタル通常及特別ノ歩合稅上り高
 - 第四 國庫ノ爲メニ收入スル稅ノ歩合稅邑ニ許シタル稅ノ上り高
 - 第五 通常經費ニ充テタル入邑稅ノ上り高

- 第六 定マリタル稅表ニ依リ市場及屠牛場ノ場所稅上リ高
- 第七 公道、河、港、河岸、其他公共ノ場所及人溜リ貨渡免狀上リ高
- 第八 邑ノ通行稅、船積等ノ度量衡ヲナシタル爲メノ上リ高
建屋町並調及建屋許可稅上リ高及其他法律ヲ以テ定メラレタル稅ノ上リ高
- 第九 埋葬ニ供シタル邑ノ土地及墓地内ニ於テ墓地讓渡ノ價ニ依リ邑ニ收入スヘキ上リ高
- 第十 水ノ使用特許及公道沓芥ノ掃除ノ特許其他邑内ニ於テ事務ノ爲メニ特許ヲ與ヘタルモノヨリ生スル收入高
- 第十一 行政上ニ係ル書類及戶籍ニ係ル書類送致ヨリ生スル上リ高
- 第十二 違註罪及輕罪裁判ノ宣告ニ依リ生シタル罰金ニレテ法律上ニ依リ邑ノ收入ニ許サレタルモノ、上リ高
- 第十三 邑ノ請求ニ依リ千八百七十三年三月廿六日法律ノ項目ニ

隨ヒ參事院ノ總會議ヲ經タル布告ヲ以テ佛蘭西及アルゼリーノ邑ニ於テ設ケタル掃除稅ノ上リ高

第十四 邑ノ利益ノヲノ毎年連続ノ總テノ稅源ヨリレテ法律ヲ以テ許サレタル稅及手数料等ヨリ一般ニ上ルモノアルゼリー及他民地ニ於テハ法律及布告ヲ以テ許シタル稅及手数料上リ高

收入ノ不足ノ爲メ百分稅ヲ設ケルコトハ義務支拂ニ係ル場合ニハ縣令ノ布達ヲ以テ之ヲ許ス其他ノ場合ニ於テハ布告ヲ以テ認可ス

- 第三百十條 臨時經費ノ收入ハ左ノモノヨリ成ル
- 第一 確乎ト許可セラレタル臨時稅
 - 第二 賣却シタル財産ノ價額
 - 第三 寄附物
 - 第四 邑ニ戻入テ請求スヘキ資本並邑所有ノ公債ヨリ生スル利子
 - 第五 臨時伐木ヨリ生スルモノ

第六 邑債ヨリ生スルモノ

第七 臨時支出及邑債償却ノ用ニ特ニ供シタル入邑稅或ハ入邑増稅ヨリ生スルモノ及其他臨時收入スヘキモノ

第百三十五條 通常經費ノ支出ハ邑ノ利益ヲ年々繼續スヘキ利益ヲ含有ス

臨時經費ノ支出ハ臨時若クハ一時ノ支出ニシテ第百三十四條ニ掲ケタル收入若クハ通常收入ノ過剩ヲ以テ仕拂フヘキモノヲ含有ス

第百三十六條 左ニ掲ケル支出ハ邑ノ義務支出タルヘキモノトス

第一 町會所ノ維持若クハ之ヲ有セサルルハ町會所ノ代ヲナスヘキ屋室借受料

第二 邑用ノ印刷費及邑役所消耗品費

邑ノ保護及縣ノ行政書類編輯費

邑雜誌購入費

區ノ首府ナル邑ニ在テハ法律雜誌購入費

第三 人口調費

邑ノ撰舉會及撰舉票費

第四 戶籍及親族簿費

戶籍表十年毎ニ調整費

第五 邑ノ收稅官及入邑稅長俸給

邑ノ收稅費

第六 邑ノ警察田野警察及邑林役員ノ俸給其他ノ經費

第七 政府ノ許可ヲ得テ邑ノ負担ニ屬シタル恩給選次ノ拂出金

第八 治安裁判所居室借受料及修繕費

區ノ首府タル邑ニ在テハ治安裁判所什器購入及保雜費

第九 法律ニ依リ教育ニ係ル經費

第十 法律ニ依リ救助スヘキ育兒及癩狂者ニ係ル邑ノ負担費

第十一 政府ヨリ俸給ヲ仰キタル舊敷ノ借并其他政府ヨリ俸給ヲ仰キタル借ニ居所ノ手當及敷區ノ拂得タル敷場ノ手當費

第十二 邑建物ノ大修繕費但邑ノ建物ニシテ宗教ノ用ニ供シ宗教事務所ノ收入其他ノ上リ高ニテ課ノ修繕ニ支辨シ得ルノ場合ハ此限ニアラス

陸軍ノ用ニ供シタル建物ニシテ特別ノ法律ニ依ル場合モ亦上ニ同シ

邑ノ補助金ハ第十一項第十二項ノ場合ニ於テ宗教事務所ノ請求ニ際シ事務所ト邑ノ議協ハサレキハ内務卿及事務卿ノ具申ニ依リ布告ヲ以テ之ヲ定ム

第十三 墓地ノ外圍垣墻費

墓地ノ保羅及法律規則ニ依リ定ムル場所ニ移轉スヘキ經費

第十四 町並并町ノ高低製圖及保護費

第十五 工業裁判所轄内ノ邑ハ裁判官撰舉ニ就キ特別撰舉人ノ名簿ニ記入ノ數ニ應シテ補フヘキ裁判所費

工藝試同會存立ノ邑ニ在テハ該會ノ些々タル費

第十六 法律ニ依リ定ムタル邑ノ財産及所得稅

第十七 邑債ノ償還

第十八 法律ニ依リ定ムタル邑道ニ係ル經費

第十九 現法律施行ノ租民地ニ在テハ邑役所費及役員ノ俸給

邑財産ニ賦課ノ稅

備役兵務ニシテ國庫ノ負担ニ屬セサルモノノ經費

第二十 現法律第八十五條ノ施行ニ依リ生シタル費及法律ノ項目ニ依リ邑ノ負担ト定ムラレタル諸經費

第三百三十七條 邑會ノ決議セル入邑稅設立及之ヲ收入ニ係ル規則ハ縣會若シハ縣會開會無之ヲ常議員ノ意見ヲ聞キタル上參事院ノ議ヲ經テ大統領ノ布告ヲ以テ之ヲ許ス

入邑稅格ヲ增加シ或ハ期限ヲ五ヶ年以上ニ延ス場合ハ前項ニ同シ

第一項ノ手續ヲ經ヘキモノハ左ノ如シ

第一 現行規則若シハ入邑稅區ノ範圍變更ノ事

第二 未タ入邑地方限リノ稅表ニ掲ケサル物品ニ新ニ課稅ノ事

第三 總入邑稅表ニ載セサル稅ヲ課シ或ハ變更ノ事

第四 總入邑稅表ノ最大額ニ超過シ或ハ變更ノ事

國庫收入ノ稅ニ係ル特別ノ法律ニ依リ定メラルル歩合稅ノ外葡萄酒、林檎酒、梨子酒、蜂蜜飲水ニ和レタル飲料及「アルコール」ニ課スヘキ歩合割増稅

第三百三十八條 入邑稅新設或ハ增稅ハ縣令或ハ常置委員ノ意見ヲ附キタル上現行法律第六十九條ノ項目ニ依リ縣令ノ認可ヲ得テ施行スヘキモノトス

第三百三十九條 五年以下ノ期限ヲ以テ邑稅ヲ增シ或ハ期限延期ニ係ル邑會ノ決議ハ當然施行スヘキモノトス尤繼續ノ稅格又ハ變更ノ稅コレテ總稅表ニ示シタル最大格ニ超ヘス若シハ總稅表ニ掲ケタル物品ニ課スルモノノミニ限ル

第四百十條 法律若シハ地方ノ慣習ニ依リ居住人或ハ土地所有人ノ

特別ニ納ムヘキ稅ハ邑會ノ決議ニシテ縣令ノ認可ヲ得タルモノヲ賦課ス此稅ハ一般ノ稅ノ爲メニ設ケタル法式手續ニ依リ之ヲ收入ス

第四百十一條 邑會ハ毎年縣會ニテ定メラルル最大格ノ區域内ニ於テハ五年間五參ヲ超ヘキ臨時稅コレテ邑ノ利益トナルヘキ臨時經費ニ使用スヘキ爲メニハ臨時稅ヲ投票スルヲ得

邑會ハ通常ノ邑道ニ特ニ充テタル臨時三參及公認シタル里道ニ特ニ充テタル臨時三參ヲ投票スルヲ得

邑會ハ本條同一項ニ示ス如ク投票臨時參稅ヲ以テ邑債ヲ償還スヘキ爲メニ投票スルヲ得其償還三十年以内ナルハ通常ノ稅源ニ依リ之ヲ投票議決スルモノトス

第四百十二條 邑會ハ左記ノモノヲ投票ス但縣令ノ認可ヲ請クヘキハ此限ニテラス

第一 臨時課稅コレテ縣會ノ定メラルル最大額ヲ超過セスシテ五參

ヲ超ヘス且其期限五年以上ニ涉リ三十年以下ノモノ
第二 前項ト同シキ臨時課税ヲ以テ償還スヘキ邑債ニシテ三十年
以上ニ涉ルモノ

第四百十三條 縣會ノ定メタル最大額ヲ超過ノ總テノ臨時税及臨時
税ヲ以テ償還スヘキ邑債ハ大統領ノ布告ヲ以テ之ヲ許可ス
課税ヲ三十年以上ニ涉ルノ期限ニテ設クルカ或ハ臨時ノ税源ヲ以
テ償還スヘキ邑債ノ許可ノ布告ハ參事院ヲ經ヘキモノトス
邑債募集ノ額百萬法以上若クハ償還未済ノ邑債ヲ合計シテ百萬法
ヲ超ユルカハ法式ヲ以テ之ヲ定ム

第四百十四條 官有ノ森林ハ私有森林ト同比例ヲ以テ邑ノ費用ニ充
ツヘキ歩合税ヲ拂フヘキモノトス

第二節 經費ニ係ル投票及規則

第四百十五條 各邑ノ經費ハ邑長議決ヲ提出シ邑會之ヲ許請投票シ

縣令之ヲ定ム

豫算支出ニ性質義務ナルアリ隨意ナルアリ而シテ義務ノ支出ヲ遂
ケ餘ヲ以テ隨意經費ノ支出ニ繰廻スカ如キハ上官ニ於テ之ヲ約束
スルノ限ニアラス

都府ノ經費ニシテ三百萬法以上ニ涉ルノ經費ハ内務卿ヲ經テ大統
領ノ布告ヲ以テ定ムヘキモノトス

精算書ニ證明セル通常ノ收入前三年間三百萬法ニ達シタルカハ三
百萬法以上收入ノ府タルヲ認メラル

通常ノ收入前三年間ニ三百萬法以下ニ止マリタルカハ該府ノ收入
ハ三百萬法以下ノ府ト認メラル

第四百十六條 經費豫定ノ後必用ト認メタルモノハ前條ニ據リ之ヲ
投票許可ス

第四百十七條 邑會ハ經費豫算ニ不時ノ支出經費ヲ設クルヲ得但
經費ノ爲メニ記入シタル高ニテ義務ノ總テノ支出ニ満足ヲ與ヘザ

ル後通常ノ歳入ヲ以テ支出シ其支出シ得サル分ノミニ充ツヘキ爲
メ臨時ニ徴收スルヲ得

不時ノ支出ニ宛テタル支出ハ邑長之ヲ使用ス

不時ノ支出經費ヨリ拂出スヘキ命令書ヲ出シタル後其始末ノ証明
書ヲ次キニ起スノ邑會ニ呈出セサルヲ得ス此証明書ハ議事録ニ附
綴スヘキモノトス

第四百四拾八條 邑ノ經費ヲ定ムヘキ大統領ノ布告若クハ縣令ノ布達
ハ豫算ニ掲ケタル費額ヲ廢止又ハ減額スルヲ得

第四百四拾五條 第二項及第四百四拾七條 第二項ニ掲ケル場合ハ此限ニ
アラス然レトモ布告若クハ布達ハ義務支出ニ非サルヨリハ支出ヲ
減シ或ハ新ニ支出目ヲ設ケルヲ得ス

第四百四拾九條 邑會ニテ義務ノ支出ニ必用ナル金額ヲ供セサルカ或
ハ不充分ノ額ヲ供スルハ經費豫算邑ノ收入三百萬法以上ノ時ハ
大統領ノ布告三百萬法以下ノ邑ニ在テハ參事會ヲ經タル縣令ノ布

達ヲ以テ經費ノ必用額ニ至ル程ノ金額ヲ加フヘキモノトス尤其事
柄ニ就テ邑會ニ豫メ再議ヲ促シタル後ニ起ル場合ニ非サレハ能ハ
ス

年々ノ支出ニシテ支出額ノ差等アルモノハ前三年ノ平均數ヲ以テ
之ヲ定ム

年々ノ支出ニシテ支出ノ性質定マリタルモノ或ハ臨時支出ノモノ
ナルハ其實ヲ以テ金額ヲ定ム

邑ノ税源現條ニ依リ政府ヨリ加ヘタル義務支出ニ應スルニ不充分
ナルハ邑會ハ之ニ應スルノ手段ヲナス但邑會ニテ之ヲ拒ムノ場
合ニハ布告ヲ以テ政府ノ定メタル臨時稅ヲ以テ之ヲ補フ但臨時稅
ノ大藏法律ニ定メタル最大額ニ超過スルノ場合ニハ特別ノ法律ヲ
以テ臨時稅ヲ定メ之ニ充ツ

第五百十條 或ル理由ノ爲メ邑ノ豫算年度前ニ確定セサル場合ニ於
テハ通常ノ收入支出ハ豫算ノ認可ヲ得ル迄ハ前年ノ豫算ニ依リ執

行ヲ繼續ス

若前年ニ投票ナキノ場合ニハ經費ハ參事會ニ於テ縣令之ヲ設ク

第四章 邑ノ會計

第二百五拾壹條 既濟年度ノ邑長精算書ハ本年度經費豫算議事前ニ之

ヲ提出スヘキモノトス

精算書ハ邑會ノ議ヲ經テ縣令之ヲ認可ス

第二百五拾二條 邑長ノミ支拂手形ヲ發スルヲ得若邑長通常既定ノ

モノ、支出命令書ヲ發スルヲ拒ムキハ縣令ハ參事會ニ於テ其旨

ヲ申立テ布達ヲ以テ之ニ代用ス

第二百五拾三條 邑ノ支出人會計官一名ニテ担任シ邑ノ收入スヘキモ

ノ及其他會計官ニ收入スヘキ金額ヲ收入シ正當ニ設ケタル經費額

迄ハ邑長ノ命令書ニ依リ之ヲ支出シ其責任ヲ負担ス

各種ノ稅及夫役稅帳簿ハ總テ會計官ノ管理トス

第二百五拾四條 總テ邑ノ收入ニシテ法律及規則ニ依リ收入方法ヲ特

ニ命ゼラレサルモノハ邑長ノ設ケタル收入手續ニ依リ之ヲ施行ス

但此手續ハ縣令若クハ區長ニ通知シテ後施行スヘキモノトス

訴訟事件ニシテ通常裁判所ノ主管タルキハ其訴訟ハ勸解ナルニヨ

リ參事會ノ議ヲ經スシテ邑ハ其辨護ヲナスヲ得

第二百五拾五條 邑ノ收稅官ニシテ法律上ノ許可ナク邑ノ產財ニ干渉

スルモノハ其行爲ヲ職ナクシテ事ニ干渉スルモノトシ刑法ニ據リ

訴テナスヲ得

第二百五十六條 「ハルセフトール」ハ邑ノ收稅官ノ職務ヲナス然レモ通

常ノ收入高三萬法ヲ超過スルノ邑ニ在テハ邑會ノ請求ニ依リ特別

ノ邑收稅官ノ職務ヲ執行スルヲ得特別收稅官ハ邑會ノ三名ヲ推

選レタル名簿ノ内ヨリ之ヲ命ス邑ノ收入三拾萬法以下ノ邑ニ在テ

ハ縣令之ヲ命レ三拾萬法以上ニ超ルキハ大藏卿ノ具申ニ依リ大統

領之ヲ命ス

縣令若シハ縣令ノ推撰名簿ヲ拒ムノ場合ニハ新ニ邑會ハ人名推撰名簿ヲ呈出セサルヘカラス

第三百五十七條 邑ノ收稅官ノ精算書ハ參事會ニ於テ之ヲ認定ス但前三年間通常ノ收稅高三萬法ヲ超ヘサル邑ニ在テモ會計檢査院ニ呈出セサルヲ得ス邑ノ收稅官ノ精算書三萬法以上ニ超ルノ邑ニ在テハ會計檢査院ニ呈出シテ檢査ヲ請クヘキモノトス

參事會ヲ經ルト否ノ區別ハ病院又ハ慈善ノ建物ニ於ケルモ仍之ヲ適用ス

第三百五十八條 邑ノ收稅官ノ責任及邑ノ會計或ハ參事院ヲ經タル規則ヲ以テ之ヲ定ム

邑ノ收稅官ハ前項ノ規則施行ニ就テハ區ノ收稅官ノ監督ヲ受ク邑ノ收稅官及「ハルセフトール」ノ職ヲ併有スルノ邑ニ在テハ會計官ノ事務ハ參事會ヲ經タル規則ニ依リテ定メタル式ニ依リ區ノ收稅官ノ責任ヲ負フヘキモノトス

第三百五十九條 規則ニ依リ定メタル猶豫間ニ會計官ニテ其精算書ヲ提出セザルトキハ參事會ニテ精算書ヲ調査スヘキモノハ一月ノ遲延毎ニ十法ヨリ百法迄ノ罰金ヲ科ス其會計檢査院ニ檢査ヲ請クヘキ分ハ一月ノ遲延毎ニ五拾法ヨリ五萬法迄ノ罰金ヲ科ス此罰金ハ邑ノ收入或ハ公共建物各其關係ノ原因アルモノ、所有ニ販ス

稅ノ收入又ハ催促ニ就キテノ手順ニ依リ科スヘキ罰金ハ國庫ノ財產ヲ預リ居ル會計官ノ處分法ニ同シ罰金ノ猶豫請求ノモノモ亦國庫ノ會計官ニ於ル規則ヲ適用ス

第三百六拾條 邑ノ豫算及精算書ハ邑役所ニ備置ク但邑ノ收入高拾萬法以上ノ邑ニ在テハ印刷シ其他ノ邑ニ在テモ印刷費ヲ邑會ニテ投票セシキハ之ヲ印刷スヘキモノトス

○第五篇 數個ノ邑共有財產及權利

第六十一條 數個ノ邑ニ於テ共有ノ財産及權利ヲ有スルトキ其關係ノ一邑ヨリ組合委員ヲ要求スルキハ大統領ノ布告ヲ以テ關係ノ邑會ヨリ撰出シタル組合委員ヲ設ク

各邑ハ大統領ノ布告ヲ以テ定メラレタル委員ヲ議員中ヨリ秘密投票ヲ以テ之ヲ撰舉ス

組合委員ハ委員中ヨリ委員長ヲ撰舉ス

委員ハ邑會ノ改撰毎ニ之ヲ改撰ス

議事ハ邑會議事規則ニ從フヘキモノトス

第六十二條 組合委員及委員長ノ職務ハ共有財産及權利ヲ管理シ事業施行ヲ以テ職務トス其職務ハ同事件ニ就テハ邑長ト同一ノ職務アリ

但賣却、交換、分割、購入、和解ハ邑會ノ權ニ屬ス

邑會ハ之ニ關スル事項ヲ委員長ヨリ取扱ハシムルヲ許スヲ得

第六十三條 組合委員ノ投票シタル支出ノ割賦ハ關係ノ邑ノ間ニ

邑會之ヲ配當ス

邑會ノ議決ハ縣令ノ認可ヲ請フヘキモノトス

邑會ト他ノ邑會ノ間ニ協和セサルモノハ縣令ハ縣會ノ意見若シハ常置員ノ意見ヲ諮ヒ之ヲ宣告ス各邑ノ負擔スヘキ確實支出費ノ割合ハ現法律第四百十九條ニ依リ各々ノ經費豫算ニ當然政府ノ命令ヲ以テ之ヲ加フ

第六篇 アルゼリイ及殖民地ニ關スル條項

第六拾四條 現法律ハ當然アルゼリイノ邑ニ施行ス尤邑ノ所有權ヲ組織シ及購入交換賣却分割ニ關スルコトニ就キ現今施行ノ條目及

■ミシエルマシエ土人ノ代理ニ關スル項目ハ此限ニアラス

現法律第五條第六條ノ意味ヲ擴メテ新ニ邑ヲ設置スルコト邑ノ土地ノ區域變更ニシテ區ノ區域ヲ變更スルモノハ縣會ノ意見ヲ聞キタル後布告ヲ以テ之ヲ定ム

第七十四條ノ意味ヲ擴張メテ邑會ハ邑長ニ職務ノ手當ヲ與フルヲ得尤知事ノ認可ヲ請フヘキモノトス

第六拾五條 現法律ハ均シク「マルチヨク」アソプレフ及レヨヨ^ン殖民地ニ適用ス但左ニ記載シタル廉ハ除ク

顧問會ヲ經タル知事ノ布達ハ第百拾條第百四拾五條第百四拾八條及第百四十九條ニ掲ケタル場合ニ於テハ大統領ノ布告ニ代ルモノトス

第四拾條第六拾九條及第百廿條ニ依リ内務卿ヘ販シタル職務第百條ニ依リ教務卿及第百五拾六條ニ依リ大藏卿ニ販シタル職權ハ海軍兼殖民卿ニ委任ス

現法律第四條第拾三條第拾五條第拾六條第拾四條第二項第四拾六條第二項第四拾七條第拾八條第拾六條第一項第六拾五條第六拾六條第六拾七條第六拾九條第七拾條第八拾五條第九拾五條第二項第四項第九拾八條第四項第百條第百拾壹條第百拾二條第百拾三

條第百拾四條第百拾五條第百拾六條第百拾七條第百拾八條第百拾九條第百廿四條第百廿九條第百三拾條第百三拾三條第百四拾五項第百四拾條第百四拾二條第百四拾五條第一項第百四拾六條第百四拾八條第百四拾九條第百五拾條第百五拾壹條第百五拾二條及第百五拾六條ヲ以テ内務卿及縣令ニ委任シタル職權ハ知事ニ販ス

第拾二條第廿九條第拾七條第拾八條第拾四條第一項第二項及第三項第拾九條第三項第五拾二條第五拾七條第六拾條第二項第六拾一條第六拾二條第七拾八條第八拾八條第九拾三條第九拾五條第一項第三項第百二條第百三條第百廿四條及第百廿五條ヲ以テ縣令及區長ニ販シタル職權ハ内務事務長ニ販ス

第三拾六條第三拾七條第三拾八條第三拾九條第四拾條及第六拾條ヲ以テ參事會ニ委任シタル職制ハ行政訴訟會ニ販ス

第六十五條第六拾六條第百拾壹條第百廿壹條第百廿三條第百廿五條第百廿六條第百廿七條第百五拾二條第百五拾四條第百五拾七條

第五百拾九條ヲ以テ參事會ニ販レタル職制ハ顧問會ニ之ヲ委任ス
 第五百拾七條第二項第五百拾九條ニ依リ會計檢査院ニ販レタル職
 制ハ顧問會ニ之ヲ委任ス但檢査院ニ依ルヘキモノハ此限ニアラス
 行政訴訟會ノ決議ニ對シ行政官ヨリ參事院ヘノ控訴ハ知事之ヲ海
 軍兼殖民卿ニ轉送シ同卿ヨリ參事院ヘ提出ス
 殖民地ノ大藏制度ニ關スル千八百八十二年十二月十二日布告ノ項
 目ハ現法律ニ抵觸セサルモノハ依然トシテ邑ノ會計法ニ適用スヘ
 キモノトス

第六拾六條 入邑税ニ關スル現法律ノ項目ハ海關税ニ適用セス海
 關税ハアラス
 及其他ノ殖民地ニ於テハ現行法ヲ適用ス

○ 税

税ナルモノハ一社會ノ人社會ノ費用ノ補フヘキ爲メ拂出ス處ノ割合
 負担ト謂フヘキモノナリ此割合ヲ拂フヘキ報酬トシテ社會ヲ亂ルヘ
 キ變亂ヲ治メ所有權ヲ安全ナラシム此割合ハ保險會社等ニ拂フカ如
 キ隨憲ノモノニ非ラス政府ノ保護ヲ請ケ安全ニ社會ノ利益ヲ成シモ
 ノ、負担スヘキ負債ノ如キモノナリ
 税ナルモノハ人民ノ承諾ニ依リテ拂フヘキモノナレバ税ノ性質ハ書
 面ニ掲ケタル約定ノ如キモノニ非ラス何トナレハ多數ノ投票ニ依リ
 テ少數ノモノモ亦拂ハサルヲ得サルノ義務ヲ帯フレハナリ
 税ニ直税間税ノ區別アリ經濟論ヨリハ人民ノ直チニ拂フヘキモノチ
 直税ト謂ヒ又人ニ代テ先ツ税ヲ拂ヒ置キ隨テ物品ニ掛ケテ賣割クモ
 ノチ間税ト云然レトモ行政上ニテ直税トハ納税者ノ名簿ニ依リ其人
 若シ之ヲ拂ハサルノ場合ハ所有ノ物品ヲ取押ヘ公賣ニ附レテ徵收ス
 ルモノ之ヲ直税ト云故ニ農業税モ亦直税ノ中ニ合著セリ間税トハ商

品ノ賣買出入ニ就キ其事ヲ實行スル毎ニ拂フヘキモノヲ云又税ノ區
 別ニハ縣區邑ニ分配スルノ税ト物品ニ就キ定率アルノ税アリ
 分配税ノ總額ハ豫メ定數アリ之ヲ戶々ニ割賦スルノ數額ハ先ツ縣ニ
 區ニ邑ニ割賦シ終ニ人ニ割賦スルモノナリ
 物品定率ノ税ハ前項ニ反シ定率ニ依リテ徵收スルモノナレハ物品消
 費ノ多寡ニ依リテ差ヲ生スヘキモノナリ
 總テ間税ハ事物ニ就キ定率アルモノニシテ直税ハ別テ二類トシ一ハ
 分配税ニシテ一ハ物品定率税トス
 直税ヲ別テ左ノ四種トス

第一地租

第二人及動產物税

第三戸窓税

第四營業税

已上第一ヨリ第三ニ至ルハ分配税ニシテ第四ハ物品定率税トス

直税

○地租

地租ハ重ニ革命曆七年三月三日ノ法律ヲ以テ地租ノ基礎ヲ定メ
 モノニ依リ地租ヲ賦課スルナリ
 地租ハ家屋ノ建アルモノト否トテ間ハ土地ノ上リ高チ目的トシテ
 定メヨルモノナリ其上リ高ニ三種アリ即所得、純益、課税スヘキ上リ高
 トス上リ高ハ總テ耕作ニ要スル處ノ費用ヲ引去ラステ總テ其土地
 ヨリ收穫シ得ヘキ上リ高チ云フ純益ナルモノハ反之產物ヲ作ルニ必
 用ナル諸入費ヲ引去リタル上リ高チ云フ此純益ナルモノハ年ニ依リ
 計算スヘキモノニシテ年々其額ニ異同ヲ生スヘキモノナリ課税スヘ
 キ上リ高ハ上ニ需フノ理ニ反シテ十五年間ノ上リ高ノ平均數ヲ云フ
 但十五ヶ年間中最モ豐穰ノ二年ト最モ不作ノ二年ヲハ除去ス
 地租ナルモノハ分配税ナリ國庫ニ納ムヘキ税額ハ毎年法律ヲ以テ定

ムヘキモノトス其法律ハ同時ニ各縣ノ負担スヘキ額ヲモ定ムルナリ
 縣ノ税額ハ縣會ニ於テ區ニ配賦ス若レ區會ヨリ起ル苦情アルハ之
 ヲ判定セサルヲ得サルヲ以テ區會ノ通常會ヲ二期ニ分テリ第一期ハ
 縣會前ニ開キ第二期ハ縣會後ニ開ク第一期會ニテハ苦情ノ申立ツヘ
 キアレハ之ヲ申立テ第二期會ニ在テハ縣會ニテ定メタル税額ヲ各邑
 ニ分配ス其分配ノ税ハ邑ヨリ苦情アルモ縣會ノ決議セルモノヲ以テ
 區會ハ所分セサルヲ得ス邑ニテハ納税者ヘ税ヲ配當スヘキ委員七名
 ヲ以テ成立テタル評議ニ依リ賦課ス委員七名ノ内五名ハ區長之ヲ命
 ス若納税者中本籍ヲ持タル納税者アルハ其内少クモ二名ヲ本籍
 外ノ人ニ命セサルヘカラス區長ノ命スル委員ノ外法律ヲ以テ定ム處
 ノ二名ノ委員ヲ之ニ加テ人口五千八百已下ノ邑ニ在テハ其二名ハ即チ
 邑ノ書記之ニ當リ其他ノ邑ニ在テハ邑會ニ命セラル
 地租ヲ納税者ニ賦課スルハ隨意便宜ヲ以テ割賦スヘキモノニアラス
 像テ地租額ノ整頓シ在ル地租ノ基礎額ニ應レテ賦課スヘキモノナ

地租帳簿 地租帳簿ハ各邑ヲ區別シ佛國ノ版圖ヲ組織セル各所有地
 ノ各景況ヲ書顯ハシ價格及ヒ課税スヘキ上リ高ヲ定メタルモノナ
 リ
 此帳簿ヲ分度帳簿トモ稱ス此調整ハ千八百七年ノ法律ニ依リ爾ヘ
 ルモノニシテ第一土地ノ丈量即チ邑ノ境界ヲ正シタル上三角測量ニ
 テ面積ヲ積算シ而シテ一地毎ノ面積ヲ丈量シテ之ニ符合セルヲ待テ
 確定セルモノナリ第二土地ノ種類ヲ區別シ建物ナキ地ヲ五級ニ分チ
 建物アル地ヲ十級ニ分チタリ但都府ハ此例ニアラス都府ニテハ一地
 毎ニ之ヲ區別セリ第三十五年間上リ高ノ中數但其内最モ豐熟ノ二年
 及最モ違作ノ二年ヲ除キ全クノ中數ニ依リ委員ノ協議差定ニ基キ賦
 税スヘキ上リ高ヲ定メタルモノナリ
 如斯既定ノ上高ト雖モ自ラ多少ノ不權衡ヲ免カレサルノミナラス已

一七八十年ヲ經タレハ種々ノ關係上ヨリ賦稅ノ輕重ヲ實際ニ感スルモノナキニ非ラス爲メニ苦情輩出セリ然レハ之ヲ處置センニハ重キヲ減レテ輕キニ加シカ必スヤ苦情ヲ以テ苦情ニ換ルモノナリ不如重キハ之ヲ減シ輕キハ同ハス漸ク稅ノ輕キニ至リ公平ヲ得ンヲ以テ政策ノ宜レキモノトセリ

○人頭稅及家屋稅

家屋稅ハ千七百九十一年一月十三日法律ニ依リ設ケラレ家屋ノ所得ニ課稅スルモノナリ當時家屋稅ノ總額ハ六千萬法ニシテ地租總額四分ノ一ヲ以テ定額トセリ而シテ地租ヲ納ムルモノハ家屋稅ノ免稅ヲ請フヲ得タリキ課法ハ家賃收入高ノ二十分一ヲ徵收セリ此外ニ召使ノ數馬并馬車ノ數及人頭ニ三日間ノ勞役ニ當ル賃金ヲ納入セシメタルモノナリ示來漸次更正方今ノ處ニシテハ人頭稅ハ三日ノ勞役ニ當ルモノトシ一日ノ賃額五十參乃至一法五十參以內ヲ以テ縣會ニテ之

ヲ定メ内外人男女老幼ノ差別ナシ納稅セシム但貧者ノ養育院ニアルモノ、ミ之ヲ免カレ故ニ納入稅額ニ定數ナシ

家屋稅ハ分賦稅ニ屬スルモノナリ然レトモ人頭及家屋ノ兩稅ハ交互融通ノ意ヲ合シテ賦課ス例ハ一邑ノ納ムヘキ稅ヲ四萬法ト假定ス其内人頭及家屋稅ヲ一萬法トス人頭稅ヲ拂フヘキ人ヲ四百人トシ一日ノ勞役賃一法ト縣會ニテ定メ之ニ三日ノ勞役ヲ兼セハ一千二百法ノ人頭稅ヲ得ヘレ一萬法ヨリ之ヲ扣除セハ八千八百法トナル之ヲ家賃ノ上リ高ニ別付ケ其率ヲ得ルナリ

○戶窓稅

戶窓稅ハ英國ノ稅法ニ倣ヒ革命曆七年三月四日ノ法律ヲ以テ賦課ノ法ヲ設ケタリ此稅ハ家屋稅ノ補ヒニ用ヒタルモノナリ此稅ニシテ借家人ノ拂ヒ入レ得サル場合ニハ家主ヨリ之ヲ拂ハシム此稅ハ當初定率稅ナリシニ屢々變遷シテ方今ハ分賦稅トナレリ窓ニ就キ稅ヲ定ム

ルノ原則トシテ一ハ人口ニ依リ一ハ窓ノ數ニ依リ一ハ窓ノ構造ニ依ルモノトセリ此稅ハ該邑ノ稅額ニ就キ定率ヲ乘シテ過剩ヲ生スルハ之ヲ減シ不足ヲ生スルハ割増ヲ拂ハレム故ニ定率稅トナスヘラス

○營業稅

營業稅ナルモノハ定率アル直稅ニシテ商工業ノ職ヲナスモノヨリ取立ツヘキモノトス納稅者ノ職業ヨリ生スル利益ニ應レテ徵收スルモノニシテ國庫ニ收入ス營業稅ヲ納ムルヲ商人ニ限ルトスルノ說ハ誤リニシテ代書人代官人ノ如キモ納稅セザルヲ得ス
現行法律ハ千八百八十年七月十五日ニ定メタルモノニシテ成ルヘク納稅業ノ利益ヲ失ハシメサル様各比例ヲナサシムル爲メ法律ハ此稅ヲ左ノ二種ニ別テリ

第一 定率稅

第二 比例稅

第一ノ定率稅ハ業体及職業者人口ニ依リ定メタルモノトス其稅則ハ三種ニ分テリ第一ハ一般ノ稅此稅ニ當ルモノハ業体夥多ナリ即チ之ヲ八級ニ分テリ最下等ヲ二法トシ最高等ヲ三百法ト定メ第二ハ特別ノ稅即チ銀行或ハ仲買人ノ如キ營業者ニ課スヘキモノニシテ各種ノ業ニ就キ等級ヲ別チ營業者ノ數ニ乘シテ納稅セシム第三製造所ニ課スル稅此稅ハ人口ヲ參照セス從事ノ職人器械及漁維等ノ多少ヲ目的トシテ課稅ス但十六歳已下六拾歳已上ノ職人ハ之ヲ半數ニ算入スヘキモノトス一人ニシテ數種兼業スルモノハ其中第一多額ニ當ルノ稅ヲ納メシム但製造所ヲ掛持チコナシタル場合ハ其業毎ニ納稅セシム定率稅ハ製造所又ハ商店ノ現在スル處ノ邑ニ課スルナリ定率稅ハ同邑同業ニテハ同一ノ稅ヲ課シテ其業ノ大小ヲ以テ區別セシム尤大小ノ手術ヲ取ルヘキ爲メニハ比例稅ヲ課ス比例稅ハ其職業ノ大小及建物ノ如何ニ依リ稅率ニ異同ヲナス即チ所得ノ大小ヲ表スルモノニ依リ

比例税ヲ課スルナリ
 營業税ハ分賦税ニ非サルヲ以テ分賦税委員ノ力ニ依ラヌレテ直税掛
 ノ官吏ニテ之カ賦課ノ事ヲ掌ル
 邑長ハ賦税掛ノ手續ヲ視ルヲ得若直税掛ノ官吏ト意見ヲ異ニスル
 事ハ直税長ノ意見ヲ諮ヒ縣令ニテ可否ヲ決ス
 直税長ト縣令ノ意見ヲ異ニスル事ハ大藏卿之ヲ決ス

○勸産物所得税

此税ハ獨乙國ニ拂フヘキ千八百七十年ノ償金ノ爲メ税源トシテ設ケ
 タルモノナリ此税ハ或ル勸産物ノ所得ニシテ課スルモノナリ千八百
 七十二年六月廿九日法律ニテ所得百分ノ三ヲ課スルモノトセリ其課
 税スヘキ項目ハ如左

- 第一商業工業其他諸種ノ會社株式ノ利益配當金及利益ノ上リ高
- 第二縣、邑、公共ノ建物及會社等ニテ募集ノ諸公債利子

第三營業合本會社ノ利益及利子

已上ノ課税ハ公書人及官有事務官ニテ之ヲ徴收スヘキモノナリ

○馬車税

馬車税ハ千八百六十二年七月二日ノ法律ニテ定メ示後沿革ヲ經テ千
 八百七十一年九月十六日全七十二年七月廿三日ノ法律ニ依リ定メタ
 ルモノヲ以テ現行法律トス此税ハ左ノ事項ニ課ス

- 第一人ヲ運搬スヘキバチ馬車
- 第二全上ノ馬車馬
- 第三乘馬

但馬車并馬ヲ單ニ農業ニ用ヒ或ハ已ニ營業税ヲ課セラレタル營
 業ニ使用スルモノハ本税額ノ半減トナス尤代言代書人醫師等ノ
 分ハ減税ノ限ニアラス

千八百七十九年十二月廿二日ノ法律ニテ乘驢馬及馬車用ノ驢馬ニモ

課税スルコトナレリ

間税

間税ヲ課スヘキ重ナルモノ即チ飲料、鹽、砂糖、關稅、骨牌、郵便、煙草、火藥、硝石、ナリトス

備考 此外印紙稅及公書記入稅ハ性質ノ異ナルモノナルヲ以テ爰ニ省シ

○飲料稅

飲料ニ課税スルハ甲乙運轉及入府ニ際シテ課税スルモノナリ但運轉ニ稅ヲ課セサル場合アリ即チ所有者ノ園所ヨリ自己ノ飲料ニ持運ヒ或ハ同一本支店ノ間ニ持運フカ如キハ課税ノ限ニアラス要之ニ運轉稅ハ所有者ヨリ他ノ人ニ渡スヘキ場合ニノミ課税スルコトナレリ
小賣店ニモ小賣稅アレハ問屋ヨリ小賣店ニ運轉スル場合モ亦課税ス

ヘキモノニ非サルナリ然レヒ巴里ヨリ府外ニ運轉スルカ如キハ課税スヘキモノトス

運轉稅ハ縣ニ依リ定率ヲ定ム稅則ハ見積價格ニ比例シテ課税スヘキモノナリ故ニ各縣ヲ三級ニ別テリ即チ酒ノ如キ醸造地ハ遠離ノ地方程高稅トナルナリ何トナレハ原酒ノ價格ノ高價ニ依ルモノナレハナリ

運轉稅ハ運轉ニ際シテ課スルモノナリ
入府稅ハ少クモ平常四千人口チ有スル町ニテ徵稅スヘキモノトス此稅モ縣ニ依リ稅額チ異ニス尤該町ノ人口ノ多寡ニ依ルヘキハ稅則ノ一トナレリ但府内チ經過スルニ止マルモノハ徵稅ノ限ニアラス
小賣稅ハ百「リツトル」ノ賣捌價格百分ノ十二半ヲ課スルモノトス但時ニ賣上チ調査スルハ煩ナルヲ以テ年々賣上ケ額ヲ定ムルコトナレリ

○「アルコール」類消費稅

此税ハ樽又ハ瓶ニ入りタル純分ノ百リットルニ付百廿五法トス但入府税ヲ拂フヘキ割合ハ如左

百リットル	ニ付六法	四千人以上六千迄ノ人口ヲ有スル品
全	九法	一六千人マテ全上
全	拾二法	一五千人マテ全上
全	拾五法	一五千人マテ全上
全	拾八法	三萬人迄全上
全	廿一法	五萬人迄全上
全	廿四法	五萬人以上

巴里ニテハ消費税ヲ止メ百リットルニ付百四十九法ヲ以テ消費及入府兩税ヲ合シタルモノトス但脱税ノ恐レアルヲ以テナリ單ニ巴里ノニ止マラス千八百七十五年二月九日及十七日法律ヲ以テ一萬人以上ノ邑ニテハ必ス入府税及小賣税ヲ合シタル額ヲ入府ノ際ニ課スヘキトナレリ

○「ビール」醸造税

此税ハ巴里又ハ各縣ニテモ強「ビール」ハ百リットルニ付三法六十參厘「ビール」百リットルニ付一法二十參トス收税額ヲ定ムルハ「ビール」溜船ニテ検査ス醸造員特別ノ免許狀ヲ有セサルヘカラス

○鹽稅

内地製ノ税ハ問稅事務所ニ於テ徵收シ外國ヨリ輸入ノモノハ稅關ニテ徵收ス内國及「アルセリ」製ノモノ百基ニ付拾法外國輸入ノモノハ各國ノ條約ニ依リテ一ナラス

○砂糖稅

千八百八十年ノ法律ニ依リ百基ニ付四拾法トス其外國ヨリ輸入ノモノハ百基ニ付五十法トス(千八百八十四年ノ法律ニテ外國)

○關稅

關稅トハ國境ニ於テ或ル物品ノ輸出入ニ課スル稅ヲ云此稅ノ性質ヲ
 二種ニ別テリ一ハ全クノ稅一ハ自國ノ工業ヲ保護スルモノナリ稅中
 ニハ禁止稅アリ此稅ハ稅額ヲ非常ニ重クシテ究竟其稅ノ負擔ニ耐ヘ
 ナラレムルニアリ物品中ニハ全ク禁スヘキモノアリ此物品ハ國內ニ
 輸入スルハ法ヲ犯スニ非ザヨリハ輸入シ得ヘキ理ナレ禁止稅ヲ課シ
 タルモノモ其稅ヲ納入スル以上ハ業ヨリ入國ヲ禁スルノ物品ノ例ニ
 アラス保護稅ハ自國ノ產物ヲ保護シテ外國品トノ競爭ヲ保護スルニ
 アリテ外國品ノ輸入ヲ禁止スルニハ非サルナリ
 平均稅ナルモノアリ此稅ハ佛國ノ物品ニハ課稅レ外國ノ物品ニレテ
 課稅ナクシテ輸入スルコトアリ之ヲ平均セシムル爲メニ課スルモノナ
 リ云フナリ
 何レノ稅モ多クハ賣價ニ依ラス、シテ其數ノ嵩ニ依リテ課スルモノナ

リ
 中ニハ斤量ニ依リテ定メタルアリ尤農物ノ如キハ頭數ニ依リテ定ム
 但種類ニ依リ區別ハアレモ賣價又ハ斤量ニハ抱ハラサルナリ之ヲ總
 稱シテ嵩ノ稅ト云
 或ル物品中ニハ稅又ハ保護稅ニ非スシテ總計稅ナルモノアリ是レハ
 物品一個ニ付十參宛ヲ納稅セシムルモノナリ但一個ハ樽入袋入又ハ
 箱入タルト荷造ノ如何ヲ問ハス毎個ニ課稅スルモノナリ
 雜品ニシテ千基或ハ一メートル立法ニ就キ十參ヲ納入セシムルアリ
 動物中牛、馬、豚ノ類生畜或ハ肉トナシタルモノニ一頭ニ付十參宛ヲ
 納入セシムルアリ
 以上ノ三項ヲ統計稅ト云フ從前「フランス」ト稱レ或ル物品ニ課シタリ
 レモノナリ方今統計稅トナリタル已降ハ同境ノ出入ニ就キ假令稅則
 ニ掲ケサル物品ニモ昔々之ヲ課稅ス

○骨牌稅

此稅ハ千八百七十一年九月四日法律ニ依リ「カルタ」一組ニ付五十參ヲ課スルモノトス千八百七十三年六月廿一日ノ法律ニ依リ外國輸入ノ「カルタ」ハ一組ニ付七十參ノ課稅トス此製造ハ一個人ノ製造ヲナシ得ヘルト雖モ其筋ヘ申立テサルヲ得ス且關稅事務局ヲ設カサルノ町ニテハ製造スルヲ得ス關稅局ヨリ製造免許証ヲ渡スニハ百法ヲ納稅セシム「カルタ」ノ封紙ニハ認印ヲ請ケキムヘガラス紀スモノハ之ヲ罰セラルヘシ「カルタ」ノ番樣押印及用紙ハ政府ヨリ購受ケサルヲ得ス此二種ハ政府ノ專賣ニシテ即チ製造費ト賣價ニ差アル分ヲ以テ稅ト看做スモノナリ

○煙草稅

此稅ハ政府ノ專賣ニシテ千八百十二年十二月廿九日法律ニテ千八百九十三年一月七日迄ヲ期限トス此期限ニ至リ延期ヲナスカ或ハ永式

ノ政府專賣トサスマハ豫メ期レ能ハサルナリ製造原料及製造費ヲ合シタルモノト賣價ニ差アル分即チ稅ナリ

○火藥硝石稅

此製造ハ政府ノ專賣タリ其理由ハ公共ノ安寧ニ關スルヲ主トシ其次ニ經濟上ノ点ヨリ起レリ經費收入ヲ以テ第二トスル所以ハ煙草又ハ郵便ノ稅ニ比スレハ僱少ノ利益ナレハ專ラ安寧ヲ主トスルニアリ此製造ハ陸軍省ノ所轄ニシテ銃藥及鑛山用ノ火藥ハ各關稅事務所ニ於テ賣捌クナレリ

○郵便稅

郵便ナルモノハ開明ノ世ニ必用ノモノニシテ社會全体ニ關係アルモノナリ郵便ノ事ハ政府直轄スルモ會社持ニスルモ實際專賣ヲシムヘキノ必用アリ若シ專賣ノ性質ヲ帯ヒサルモノナレバ競争ノ弊ヲ請

ケレムルトキハ事務ヲ正當ニ取扱フヲ得サルニ至ルナリ故ニ專賣ニ非スシハ大線路ニハ正レシ行ハレ塞村僻地ニハ行ハレサルニ至ルヘシ方今政府ノ專賣ナルヲ以テ何レノ地方ト雖ヒ普ク行ハレサルナシ是レ即專賣スヘキノ理由ナリ

若一個人ノ營業トナスハ決シテ社會ノ利益便宜ハ望ムヘカヲサレハナリ此稅ハ距離ノ遠近ヲ問ハヌ一定ノモノニシテ只文書ノ量目ノ多少ニ依リ差異アルノミ

郵便先拂及不足稅ハ額ヲ増シテ納メサルヲ得ス此場合ニハ拂ハシムヘキ印紙ヲ貼用シ定マリヨリ重シシテ先拂トナリタルモノハ六十參ヲ拂ハシム不足稅ハ四十五參ヲ拂ハシム

○ 煙木稅

「ケルメットレシモック」稅ハ千八百七十二年七月二日法律ヲ以テ新ニ設ケタル政府ノ專賣ナリ此專賣ハ一ノ會社ニ委任シ該會社ヨリ一ケ年

一千七百萬法ヲ收入スルヲトナレリ

○ 營業馬車稅

此稅ハ革命曆一月九日法律ニ依リ時ト場所及日ヲ定メテ營業スル馬車ニ上リ高ノ四分ノ一ヲ扣除シ殘餘ノ額ノ十分ノ一ヲ納稅セシムルヲトナレリ革命曆十二年六月五日法律ニ依リ馬車ニテ運搬料上リ高ノ十分ノ一ヲ納稅セシム千八百七十九年七月十一日法律ニ依リ一運搬五十參以上ノ車ハ上リ高百法ニ付廿貳法五十參ノ納稅トス全上五十參已下ノ車ハ上リ高百法ニ付拾貳法トス甲乙定所ナキモノハ馬車乗客ヲ乘スヘキ定數ニ依リテ納稅ヲ定ム其最モ少ナキモノハ四拾法最モ多キモノハ百法拾參トス其中間ハ表面ニテ定マリタルモノハ依リ課稅スルヲトナレリ(千八百七十九年七月十一日ノ法律ニ據ル)

己上ハ納稅ノ年額ヲ云

馬軍鐵道モ急行ノ車ハ乗客及商品運搬賃十分ノ一ヲ納稅セシム(千八百八十八年)

十五年七月十五
日法律ニ據ル

千八百七十一年九月十六日法律ニ依リ急行列車ノ乗客及商品運搬賃
百分ノ十ヲ増稅スルコトナレリ

○公書記入稅

此稅ハ記入ヲ願出ルニ依リ徵稅スヘキモノアリ又願出ルト否トニ係
ハラス納稅セシムヘキモノアリ記入願出ニ依リ徵稅スヘキヲ記入稅
ト云ヒ願出否ニ係ハラズ徵稅スル之ヲ變換稅ト云フ(賣買又ハ受讓ニ依
リ發生スルモノヲ云)
又比例稅ナルモノアリ此稅ハ革命曆三月廿二日法律ニ依リ規則ヲ定
メタリ此規則ハ入込タルモノナレハ其重ナルモノヲ掲ケレハ義務ヲ
有スル約束証書類ハ其額面ニ依リ課稅ス此約束永久又ハ其人生涯年
々利子ヲ拂フヘキモノナルトキハ其約束書ニ掲ケタル金額ニ依リ徵
稅ス若此類ノ証書ニ原金額ヲ記サ、ルモノアルトキ永久ノモノナレ
ハ利子ニ二十倍トシ一生涯ノモノハ十倍ト目付立テ徵稅スルナリ

不動産ノ賣買ニ就テハ其賣買價額及所有者ノ附帶シテ負擔スヘキ金
額ヲモ見込ミテ其合計額ニ依リ徵收ス若賣買實際ノ價格ヨリ安價ナ
ルトキハ其實價ヲ評價セシメテ之ニ依リ徵稅ス
動産物ノ賣買ニハ申出ノ賣買價格ニ依リ徵稅シ評價ノコト須ヒス尤
商賣様ヲ賣買スルニハ上文ノ評價法ヲ用フ此賣買ニハ記入稅百分ノ
二ヲ徵收ス若賣買双方ヨリ申立サルキハ評價人ヲ立テ其評價ニ依リ
之ヲ徵稅ス

死亡又ハ事故ヲ以テ讓リ渡ノモノハ動不動産ニ依リ課稅ヲ異ニス地
方ノ不動産ハ收利ノ廿五倍ヲ資本ト做シ其他ノ不動産ハ收利ノ二十
倍ヲ資本ト做シ之ニ依リ徵稅ス若收利上ニ關シ異議アルキハ鑑定者
ヲシテ評價セシム但地租簿ニ記入シタル收利高ハ實証トセス只參考
ニ供スルモノトス
動産物ノ讓渡ハ單ニ受授双方ノ申立ノ金額ニ依リ徵稅ス
其他婚姻等ニ關シテノ稅法或ハ無稅記入等ノ區別アレトモ爰ニ略ス

○印紙税

印紙ニ二種アリ一ハ罨紙税ニシテ一ハ印紙税ナリ其詳細ハ略ス

○地方税

○縣稅

地方税即チ縣稅ハ直税ニ依リ歩合ヲ乘シテ徵收スルモノナリ故ニ地方税ニハ間稅ナシ(但邑稅ニハ國稅ト同シク間稅モアルナリ其直税ハ邑ノ歩合稅(同稅ニ乘ス)道路ノ歩役、犬飼稅、其他敷石稅(道路也)トス間稅ハ其邑ノ消費物品ノ入邑稅、道鋪、橋錢、等ヲ云)

縣稅ハ種類ヲ三別ス通常ノ歩合稅特別歩合稅臨時歩合稅トス通常歩合稅ハ毎年政府ノ法律ニ依リ定ムモノトス此稅ハ地租、人頭及家屋稅、ニ歩合ヲ乘シテ徵收ス其徵收額ヲ以テ縣ノ通常費ニ充ツ其支辨ハ縣會ニ於テ議決ス

臨時歩合稅ハ縣會之ヲ議シ其多寡ニ應シテ上官ノ許可ヲ得或ハ許可ヲ得スレテ之ヲ徵收スルヲ得ルノ區別アリ其金額大瀛省ヨリ定ムル最多額ヲ超ヘサルホハ縣會ノ決議ヲ直ニ施行スルヲ得若シテ超過スルホハ特別ノ法律ヲ以テ許可スルヲ要ス

特別歩合稅ハ第一道路費千八百三十六年五月廿一日法律第八條ニ依リ徵收スルヲ得第二小學教育費ハ四種ノ直税ニ百分ニ付四參ヲ徵收スルヲ得第三地租調費此費用ハ地租ノ百分ニ付五參迄ヲ徵收スルヲ得

○邑稅

邑ノ經費ノ區別ハ殆ント縣ノ經費ノ區別ニ均シ毎年大藏法律ニ依リ地租、人頭及家屋稅ノ百分ノ五ノ徵收ヲ許ス此徵收額ハ邑ノ通常經費ニ充ツ

特別歩合稅アリ此使用ハ第二四種ノ直税ノ百分ノ四ヲ小學教育費ニ

充テ(千八百八十一年六月)第二邑内田野警察費第三縣道里道費(千八百八十一年八月廿十日法律第二條)第一及第三ノ場合ニハ四種ノ直税ノ本額ニ乘シ第二ノ場合ニハ地租ノ本額ニ乘ス

此歩合税ヲ法律ニテ定メタル最大歩合以内ヲ以テスルハ邑會ノ決議ハ特別ノ認可ヲ要セス但邑ノ經費調ヲ縣令ヘ呈出ノ際縣令之ヲ覽閱スルニ止マル

邑ハ臨時歩合税ヲ課スルヲ得此税ハ臨時邑ノ利益トナルヘキモノ、經費ニ充ツルモノトス此課税ノ決議ヘ其費目五種ヲ超ヘカラス共徴税ハ五年以内トス此歩合税ノ縣會ニ於テ定メタル額ヲ超ヘサル上ハ(千八百八十四年四月五日法律第四百一十一條)邑會ノ決議ヘ認可ヲ要セス

邑會ハ此外ニ縣道里道ノ爲メニ臨時歩合税トシテ百分ノ三ヲ課スルヲ得(全上法律第四十一條第二項)

全上法律第四百十二條ニ依リ邑會ハ縣令ノ許可ヲ得テ左ノ項ニ依リ臨時歩合税ヲ徴收スルヲ得

第一 縣會ニ於テ定メタル額以内(千八百七十一年八月十日法律第二條)

第二 徴收期三十年以内

若臨時歩合税縣會ノ定メタル額ヲ超過スルノ場合ハ布告ヲ以テ之ヲ許可スルヲ要シ徴收期限三十年已上ニ涉ルハ參事院ヲ經タル布告ヲ以テ許可スルヲ要ス

邑債ノ爲メニ特別ニ課スル税ニシテ百萬法已上ニ上ルトキハ法律ヲ以テ許可スルヲ要ス(全上法律第四百十二條)

縣道ニ係ル夫役税ハ千八百三十六年五月廿一日法律第二條ニ依リ第一男子ノ健康者ニシテ年齢十八年已上六十一年迄ノモノニシテ直税額簿ニ上レルモノハ勞役又ハ勞役賃金ノ何レカ各自ノ望ニ依リ三日以内ヲ課スルヲ得

第二戸主又ハ製造所及諸會社ノ長ハ地主小作人地所支配人ニ係ハラズ勞役ヲ帶ヒサルヲ得ス其性質第一ノ資格ヲ有スルモノハ自ラ其義務ニ服セサルヲ得ス第二永久家族中又ハ家族ノ厄介及僕トシ問ハス

十八年以上六十年迄ノモノ、勞役義務ハ戶主之ニ代リテ義務ヲ負担ス

第三使役ノ家畜(農業用乘用馬及驢馬)ノ爲メニ戶主ハ其義務ヲ負担セサルヘカラス又假令身体不具又ハ女戶主或ハ十六年已下ノ男子ト雖モ戶主タルモノハ前項ノ義務ヲ負擔セサルヘカラス

夫役ハ縣道ニ課スル歩合税ト均シク邑ノ通常經費ノ不足ヲ告ルノ場合ニ非サレハ之ヲ課スルヲ得ス

備考 夫役ハ勞力ニ課スルノ原則ニ基キタルヲ以テ健康及適年齢ノモノハ勞力ニ堪フルモノト做シテ法律ヲ立タルモノナリ

夫役賃金ノ格ハ邑會ニテ調整シ縣會ニ於テ之ヲ定ムルモノトス縣會ニ於テハ一邑内一横ノ賃金ヲ定ム或ハ區ヲ數部分ニ別テ各部分毎ニ異ナル處ノ金額ニ定ムルヲ得

千八百卅六年五月廿一日法律第十四條ニ依リ礦山石切場山林其他政府或ハ公共ノ建物又ハ一個人ニ屬スル製造所近傍ノ縣道ニシテ特ニ

道路ヲ破ルモノニハ其修繕費トシテ特別補助金ヲ賦課スルヲ得此補助金ハ縣ノ參事會ニ於テ決シ補助金額ハ直税同様ニシテ其持主ヨリ取立ヘキモノトス其持主ハ年額ヲ定メ拂入ル、キハ補助金トセサルヲ得年額トスルニハ縣會常置員ニテ之ヲ定ム(千八百七十八年八月十日法律第八十六條)

項第三

已上ノ特別補助金ヲ課出シ得ルモノハ左ノ三項ニ限ル

第一 上等ノ景況ヲ保クシメサルヘカラサル道路ニ關スルモノ

第二 道路ノ破損非常ノ景況ナルモノ

第三 道路ノ害セラレタル原因千八百三十六年五月廿一日法律第十四條ニ掲グル場合ニ當ルモノ

特別費ヲ補助スルモノハ上ニ掲グルカ如クニシテ農業用ノ爲メニ道路ノ破損スルモノハ特別費ヲ補助スヘキノ限ニアラス
製造所ノ持主自ラ道路ヲ破損セシムルニ非スト雖モ製造所ニ就キ賣買品運搬ノ爲メ破損スルモ亦特別費ヲ補助セサルヲ得ス

夫役ヲ課スルハ毎年一月一日ノ調査ニ依リ定メタルモノヲ以テ本年
間ノ課率トナス一月一日後變換アルモ夫役負担ノ義務ヲ變セズ

營業稅ニ課スヘキ歩合稅

此賦課ハ本稅百分ノ八以内ヲ徵收スルヲ得

道路ノ敷石敷木又ハ人道ノ費用トシテ邑ノ徵收ニテ不足ヲ告ルノ町
ニ在テハ縣令ノ布達ニ依リ其費用ノ一部分ヲ地主ニ賦課スルヲ得
(華命曆七年三月法律)

掃除稅

巴里府ニ於ル特別ノ稅ナリ(千八百七十三年五月廿六日法律及)
(千八百七十四年五月廿四日布告)

飼犬稅

此稅ハ千八百五十五年五月二日法律ニ依リ特別ニ邑ノ爲メニ設ケ一

頭ニ付一法乃至拾法ヲ超ヘサルヲ徵收スルヲ得各邑會ハ此定率内
ニ於テ議定シ尙縣會ニ意見ヲ諮ヒ布告ヲ以テ之ヲ定ム若邑會ニ於テ
定メサルトキハ縣令ノ具申ニ依リ直チニ大政府ニ於テ之ヲ定ム此稅
ヲ分ツテ二種トナス

- 第一 遊樂ノ爲メニ飼養スルモノ此稅ヲ最高稅トナス
- 第二 番犬此稅ヲ最下稅トナス

總テ飼犬稅ハ毎年一月一日所有ノモノニテ納稅スヘキモノトス(此場
合乳養犬ノ親ニ附屬スルモノハ之ヲ除シ)此徵收ハ本人ノ申立ニ依リ
テ收入ス若隱匿スルキハ三倍ノ稅ヲ課ス申立ノ不充分ナルキハ二倍
ノ課稅ヲナス所有主ヨリ申立ヘキ期限ハ一月一日ヨリ一月十五日迄
ヲ限リトス
千八百五十五年八月四日法律ニ依リ毎年飼養犬ノ届出ヲナサ、ルヘ
カラス

入邑稅

千八百十六年四月廿八日法律第四百七條ニ依リ邑ノ歳入ノ不足ナルハ邑會ノ請求ニ依リ消費スヘキ物品ニ入邑稅ヲ課スルヲ許ス入邑稅ハ其邑ニテ消費スヘキ物品ノ間稅ナリ

千八百八十四年四月五日法律第三百三十七條ニ依リ入府入邑稅ニ關スル議決ハ先ツ縣會ノ意見ヲ聞キ若縣會ヲ開カザルトキハ常置委員ノ意見ヲ聞キ參事院ヲ經タル大統領ノ布告ヲ以テ許可スルヲ定メ此手續ハ入邑稅ヲ設クルノ手續トナスノミナラス附左ニ示ス場合ニモ同様ノ手續ヲナサ、ルヘカラス

- 第一 邑稅收入ニ關スル規則
- 第二 稅額ヲ増シ或ハ入邑稅ノ期限ヲ五ヶ年已上ニ延期スルキ
- 第三 入邑稅規則及範圍ヲ變更スルトキ
- 第四 無稅ノモノニ新ニ課稅スヘキ時
- 第五 總稅則ノ外ニ新ニ稅ヲ課シ或ハ組替ヲナス時

第六 總稅則ニ依リ定メル最大ノ稅ヲ超過スヘキ稅ヲ課シ或ハ稅額ヲ増ストキ但邑會ノ決議入邑稅ヲ廢シ或ハ減稅スルノ場合ハ

縣令ノ許可ニ止マルヘキモノトス此場合ニハ縣令ハ縣會若シハ常置議員ノ意見ヲ諮問セザルヘカラス尤邑會ノ決議期限五年以内ニシテ總稅則ニ依リ定メタル最大ノ額ヲ超ヘサル已上ハ縣令ノ許可ニ依リ再ヒ之ヲ施行スルヲ得(千八百八十四年四月五日法律第三百三十九條)

入邑稅ニ關シテ政府ノ權ハ許否ノ点ニ止マリ或ハ條ヲ減スルヲ得但此場合他ノ逐條ヲ許可セザルヘカラス刪除ノ條ニ新ニ條ヲ加ヘ或ハ邑會ニ於テ議セサルモノヲ挿入スルヲ得ス

入邑稅ニ付テハ全部又ハ一部ノ件ニ必ス邑會ノ起按ダラサルヘカラス

市中家屋新築稅

此稅ハ市中ニ限り徵スルモノニシテ其額ハ各地方ニ依リ差異アリ千八百五十二年已前ハ大政府ノ許可タリシモ方今ハ縣令ノ許可スルヲ

○千八百八十六年佛國歲入豫算

税目	直税	税額
地租 (建物無之分)		一、一八五、九五、〇〇〇 法
全 (建物有之分)		〇、六〇一、七〇、〇〇〇
人頭及家屋税		〇、六九二、六四、〇〇〇
戸窓税		〇、四六六、六七、四〇〇
營業税		一、〇四八、一〇、六〇〇
報知税		〇、〇〇六、一一、一〇〇
不動産税 (所有權轉移セサル)		〇、〇六二、二〇、三〇〇
鑛山借區税		〇、〇二八、〇〇、〇〇〇
度量衡検査税		〇、〇四五、五〇、〇〇〇

「アルコール」検査税
 藥品及藥店巡回検査税
 馬車及馬税
 玉突場税
 會社及集會所税
 アルセリ！特別税

〇、〇〇〇、八〇、〇〇〇
 〇、〇〇三、二一、五〇〇
 〇、一〇八、二一、三八〇
 〇、〇一一、七三、九〇〇
 〇、〇一五、八二、六〇〇
 〇、〇八四、三一、一六〇
 四、三六一、九八、九四六

官有上り高

官有地
 公債利子
 勳產物賣拂
 不動産賣拂
 持主不分明及相続人遺物ノ財産

〇、〇〇〇、三二、〇〇〇
 〇、〇七七、二六、〇〇〇
 〇、〇二二、四一、〇〇〇
 〇、〇一四、九〇、〇〇〇

里昂土地賣拂	〇、〇二〇、〇〇、〇〇〇
アルゼリイ全上	〇、〇二〇、九八、五四九
合 計	〇、一七八、〇六、五四九
山林	
伐木收入	〇、二九七、五七、九〇〇
副產物收入	〇、〇四〇、三九、一〇〇
邑及公共建物山林官支配稅	〇、〇一〇、七一、八〇〇
陸海軍讓渡材木代	〇、〇〇二、一六、八〇〇
アルゼリイ全上	〇、〇〇五、二〇、三四五
合 計	〇、三五六、〇五、九四五
間稅	
公書記入及印紙稅	

公書記入及書入質類稅	五、一九八、一二、〇〇〇
印紙稅	一、五六二、五六、七〇〇
アルゼリイ印紙稅	〇、〇七六、二八、二〇〇
合 計	六、八三六、九六、九〇〇
關稅及鹽稅	
輸入稅	
消費費	二、八八七、八一、〇〇〇
殖民地砂糖稅	〇、三四六、〇〇、〇〇〇
外國砂糖稅	〇、一九四、六〇、〇〇〇
輸出稅	
統計稅	〇、〇六六、七七、〇〇〇
航海稅	〇、〇七四、〇五、六〇〇
稅關雜收入	〇、〇三七、一三、四〇〇

稅關區內鹽消費稅	〇、二二五、〇四、〇〇〇
アルゼリー關稅	〇、一一八、〇〇、三〇〇
合計	三、九四九、四一、三〇〇
飲料稅	
葡萄酒林檎酒梨子酒味淋酒稅	一、五二三、八三、八〇〇
「アルコール」稅	二、四九五、四三、二七五
「ビール」稅	〇、二二九、九七、〇〇〇
運送四割稅	〇、〇四八、〇四、五〇〇
稅關區域外消費鹽稅	〇、一〇四、七一、二〇〇
內國產砂糖稅	一、一七一、五八、〇〇〇
燧木稅	〇、一七〇、一〇、〇〇〇
紙稅	〇、一三六、九三、〇〇〇
鑛油稅	〇、〇〇〇、一七、四〇〇

諸種稅	〇、〇二七、三七、七〇〇
獸油及蠟燭稅	〇、〇九一、七九、八〇〇
酢及醋酸消費稅	〇、〇二八、二〇、二〇〇
「シナミント」ト「ログリセース」製造稅	〇、〇一一、八八、一〇〇
急行鐵道旅客及商品運送十分ノ二稅	〇、八六五、八四、三〇〇
馬車旅客及商品運送十分ノ二稅	〇、〇四七、八六、七〇〇
雜稅及雜收入	〇、四二六、五〇、七二五
煙草賣捌上リ高	三、七五四、三八、〇〇〇
火藥賣捌上リ高	〇、一三八、九二、〇〇〇
アルゼリー關稅	〇、〇三一、三八、四〇〇
合計	一一、三〇六、三四、一〇〇
郵便稅	
郵便電信稅	一、三二七、七三、九〇〇

電信稅

アルゼリー全上

殖民地 但トシキン全上

合計

兵備ニ寄附ノ財産ニテ購入セシ利子ノ稅

雜收入 公債証券株券ノ所得百分ノ三稅

大學收入

裁判所罰金及懲罰金

文官恩給ノ爲メ俸給ノ幾分ヲ積

金セシメタルモノ及之ニ生スル

收入

陸軍士官恩給ノ爲メ俸給積金

巴里消防組士官全上

海軍及殖民省官吏俸給及加俸全上

〇、二九二、一七、一〇〇
 〇、〇三二、二四、二〇〇
 〇、〇〇三、六〇、〇〇〇
 一、六五五、七五、二〇〇
 〇、〇三五、二七、六一四
 〇、四七八、八七、〇〇〇
 〇、〇四六、三五、七七八
 〇、〇九二、六五、〇三二
 〇、二三七、七七、一一五
 〇、〇四七、五〇、〇〇〇
 〇、〇〇〇、一〇、六九五
 〇、〇三五、九五、九八〇
 〇、〇〇六、二四、一三〇

合計

經費ヨリ生スル雜收入

官設鐵道營業利益

官報受員人ヨリ收入

印度屬地賣捌品收入

交趾支那ヨリ國庫ニ納ムヘキ稅

外國公債及領事館收入

專賣免許稅

官立學校生徒 食料被服 收入

官有、官ノ保証建物收入

檢疫所及衛生所收入

佛國へ輸入家畜檢査稅

下院ノ議員ニシテ官吏トナリタルモノ、俸給
差引殘額

〇、九四五、四五、七三〇
 〇、〇二九、九八、七三〇
 〇、〇一一、二五、〇〇〇
 〇、〇〇八、七七、五六〇
 〇、〇一八、七一、〇〇〇
 〇、〇一四、六〇、〇〇〇
 〇、〇二一、三一、五九〇
 〇、〇二三、六四、〇六三
 〇、〇二〇、〇九、四八三
 〇、〇一三、八四、三〇三
 〇、〇〇一、七〇、〇三七
 〇、〇〇一、二六、〇〇〇

巴里衛兵ノ爲メ巴里府ヨリ國庫へ拂入金	〇、〇二八、三二、八五〇
一年壯兵ノ納入金	〇、〇七一、二五、〇〇〇
里昂人民警察費ニ邑ヨリ納入金	〇、〇〇四、四〇、七八〇
セーヌ縣ノ邑ヨリ警察費ヲ納入金	〇、〇〇五、二四、七〇〇
各省支出費戻入金	〇、〇二〇、四三、七二二
政府發刊書類賣捌高	〇、〇〇二、三一、六二四
キーヤース及ヌーペールカストニー罪人勞役賃ノ百分ノ三十收入	〇、〇〇一、七四、〇〇〇
セーブル陶器賣捌高	〇、〇〇一、〇〇、〇〇〇
陸軍職工所及懲罰所勞役上リ高	〇、〇〇七、六二、三三七
懲役場及懲戒場上リ高	〇、〇五五、〇〇、〇〇〇
納期決算後ニ納ムル納稅收入	〇、〇〇二、八〇、〇〇〇
工業場貸金利益類收入	〇、〇〇〇、〇六、〇〇〇
預ケ金純益	〇、〇五〇、〇〇、〇〇〇
モントツミラン貸下金利子	〇、〇〇二、五〇、〇〇〇

殖民地砲兵隊ノ運搬賃收入	〇、〇〇一、〇〇、〇〇〇
郵便局預リ金中受取主亡減官沒金	〇、〇〇一、四五、〇〇〇
五年以前ノモノ國庫、戻入ノ券類收入	〇、〇〇三、六五、七九二
臨時雜收入	〇、〇〇七、三三、三九一
貨幣、メタネー製造費收入額差引殘金	〇、〇〇一、三二、〇二九
國立印刷局純益	〇、〇〇〇、八八、五〇〇
内國アルセリ及殖民地鐵道監督費拂戻	〇、〇〇三、七九、八五五〇
サンシャツン岬ヨリハイホン迄海底電線費ノ為交趾支那ヨリ拂込金	〇、〇〇三、〇〇、〇〇〇
チニニ佛國裁判所役員費ヲ土地ノ政府ヨリ拂入レンムヘキ立	〇、〇〇一、六八、四〇〇
陸軍、商、農、工部、省ニ關スル種々ノ會社及監督費拂戻金	〇、〇〇〇、七五、七〇〇
千八百六十八年陸軍兵用寐台ニ用ヒタル材木拂代年賦納入金	〇、〇四六、二八、一三一
千八百四十八年政府ヨリユルゲ政府へ貸渡金拂戻高	〇、〇〇八、四六、九四六
合計	〇、五三五、五四、七七四
總計	三、〇一六〇、八七、〇六〇

臨時支出入
支出

大藏省	一、八七七、五六、八三八
内務省	二、六一七、八四、一七〇
全省 アムセリノ部	〇、〇三七、四〇、一一九
海軍及殖民省	〇、〇〇四、〇六、〇〇〇
教育美術職務省	〇、一五九、七九、九六〇
農務省	〇、〇二三、七九、六五〇
合計	四、七二〇、四六、七三七

收入

直税(特別資本)	三、五七七、七五、三七八
直税ト同一ノ性質ナル特別税(特別資本)	〇、〇一一、六九、二四〇

アムセリアラフ人ニ課スル直税	〇、〇四四、七五、六三九
公書記入税	〇、〇〇三、六五、七四一
諸縣臨時收入	一、〇七一、六〇、〇〇〇
特別雜收入	〇、〇一一、五四、七三九
合計	四、七二〇、四六、七三七

臨時經費

千八百八十五年八月八日法律ヲ以テ臨時經費ノ課目ヲ左ノ如ク定ム

陸軍省	〇、七三三、六九、八〇〇
工部省	〇、九〇一、三八、四〇〇
合計	一、六三五、〇八、二〇〇
陸軍省内課	〇、三三二、〇〇、〇〇〇
砲兵改良費	〇、三三二、〇〇、〇〇〇

工兵改良費	〇、二五四、六五、〇〇〇
工部内譯	
河心改良費	〇、一〇七、五〇、〇〇〇
通船運河開鑿及改良費	〇、一四五、五〇、〇〇〇
海港改良及落成費	〇、一六二、五〇、〇〇〇
官設鐵道事業研究及事業費	〇、三九五、〇〇、〇〇〇
官設鐵道線路修繕及改良費	〇、〇四五、〇〇、〇〇〇
已上ノ經費ハ公債募集ヲ以テ之ニ充ツ	

地種 但建物無之分 (千八百七十九年ノ調査)

第一 上等地(果樹、麻、園藝ノ類)

課税ノ面積 六拾九萬五千九百廿九「エクタール」
 地租額ノ上リ高三千四百四十四萬八千五百八十四法
 地租ヲ課スヘキ上リ高壹億千五百五十六萬九千二百〇一法
 全上「エクタール」ニ付百六拾六法〇六參
 地租四百九十七萬〇百九十四法
 全上「エクタール」ニ付七法十四參 但地租ニ付課スヘキ上リ高
 賣買價額三拾八億二千九百〇三萬九千〇九十八法 但地租ニ付課スヘキ上リ高
 全上壹「エクタール」ニ付五千五百〇二法〇五參 但地租ニ付課スヘキ上リ高
 第二 耕地及沼、草木植付、耕作用ノ建物地、澗、運河、苗木仕立場、鐵道敷地
 ノ類
 課税ノ面積貳千六百拾七萬三千六百五拾七「エクタール」地租額ノ上
 リ高四億六千六百拾六萬六千七百〇壹法

地租ヲ課スヘキ上リ高拾四億八千五百〇九萬七千五百六拾九法
全上壹「エクタール」ニ付五拾六法七十四參

地租額六千八百八拾六萬〇百五拾三法

全上壹「エクタール」ニ付貳法六十三參 但他租ヲ課スヘキ上リ高

賣買價額五百七拾五億壹千四百八拾壹萬〇六百四拾八法

全上壹「エクタール」ニ付貳千九百九拾七法四十三參 但十法ニ付二法五

第三 牧草地、(牧場及牧草附地ヲ云)

面積四百九拾九萬八千貳百八拾「エクタール」

地租額ノ上リ高壹億五千四百〇九萬貳千四百四拾貳法

地租ヲ課スヘキ上リ高四億八千三百拾五萬九千三百〇六法

全上壹「エクタール」ニ付九拾六法二十七參

地租額貳千貳百六拾四萬〇貳百拾六法

全上壹「エクタール」ニ付四法五十三參 但地租ヲ課スヘキ上リ高ニ付

賣買價額百四拾七億九千九百五拾一萬八千百廿七法

第四 葡萄酒園

全上壹「エクタール」ニ付貳千九百六拾法九十貳參 但十法ニ付三法ニ

面積貳百三拾貳萬〇五百三拾「エクタール」

地租額ノ上リ高五千五百八拾萬五千百廿六法

地租ヲ課スヘキ上リ高三億〇百五拾四萬五千八百拾五法

全上壹「エクタール」ニ付百廿五法九十五參

地租額八百九拾萬七千八百八拾八法

全上壹「エクタール」ニ付三法八十四參 但地租ヲ課スヘキ上リ高

賣買價額六十八億八千七百九十萬貳千三百九拾八法

全上壹「エクタール」ニ付貳千九百六拾八法廿四參 但十法ニ付四法三

第五 樹木地 (森林柳等ヲ云)

面積八百三拾九萬七千百三拾壹「エクタール」

地租額ノ上リ高六千八百九拾八萬六千四百七拾三法

地租ヲ課スヘキ上リ高壹億八千八百九拾壹萬〇四百〇六法

全上壹「エクタール」ニ付貳拾貳法五十參
 地租額九百九拾四萬五千貳百拾法
 全上壹「エクタール」ニ付壹法拾八參 但地租ヲ課スベキ上リ高
 賣買價額六拾貳億五千六百九拾三萬〇九百六拾法
 全上壹「エクタール」ニ付七百四拾五法十三參 但百法ニ付三法〇ニ
 第六 荒蕪及不毛地

面積六百七拾四萬六千八百「エクタール」
 地租額ノ上リ高千四百廿九萬〇〇七拾六法
 地租ヲ課スヘキ上リ高四千四百廿七萬五千〇三拾八法
 全上壹「エクタール」ニ付六法拾貳參
 地租額貳百拾壹萬四千九百七拾壹法
 全上壹「エクタール」ニ付〇法三拾壹參 但地租ヲ課スヘキ上リ高
 賣買價額拾三億九千四百五十三萬貳千八百八拾法
 全上壹「エクタール」ニ付貳百〇六法七十參 但百法ニ付貳法九十
 六參ノ利子

第七 雜地(已上ニ掲ケサル土地ニシテ耕スヘキ地)

面積七拾萬貳千八百廿九「エクタール」
 地租額ノ上リ高壹千百廿四萬五千六百〇六法
 地租ヲ課スヘキ上リ高貳千九百九十四萬八千貳百三拾法
 全上壹「エクタール」ニ付四拾貳法六十壹參
 地租額百四拾壹萬五千六百五拾六法
 全上壹「エクタール」ニ付貳法〇壹參 但地租ヲ課スヘキ上リ高
 賣買價額九億〇百廿三萬貳千六百六拾四法
 全上壹「エクタール」ニ付千貳百八拾貳法廿九參 但利子百法ニ付
 合計

面積五千〇〇三萬五千百五十九「エクタール」
 地租額ノ上リ高八億〇五百〇三萬五千〇〇八法
 地租ヲ課スヘキ上リ高貳拾六億四千五百五拾萬五千五百六拾五法
 全上壹「エクタール」ニ付五拾貳法八十七參

地租額壹億壹千八百八拾五萬三千五百八拾八法
 全上壹「エングタール」ニ付二法三十八參 但地租ヲ課スヘト上リ
 賣買價額九百拾五億八千三百九拾六萬六千〇七拾五法 但
 全上壹「エングタール」ニ付壹千八百三拾法三十九參 但
 二利子百法ニ付

課税ノ比例

一 地租ヲ課スヘキ上リ高貳拾六億四千五百五拾萬五千五百六十五法
 地租壹億壹千八百八拾五萬三千五百八拾八法
 此割増地方税(課税品稅ヲ合セタルモノ)壹億壹千九百拾六萬二千八百廿五法
 合計租稅二億三千八百〇壹萬六千四百拾三法
 地租稅ト諸種ノ稅ノ比例總稅額百法ニ付四拾九法九十四參
 地租ヲ課スヘキ高ト割増稅ノ比例百法ニ付四法五十參
 地租ト割増稅ノ比例百法ニ付百法二十六參
 總稅額ト割増稅ノ比例百法ニ付五拾法〇六參

總稅額ト地租ヲ課スヘキ上リ高比例百法ニ付八法九十九參

土地所有者ノ比例

一 人口三千六百〇六萬七千五百七拾八人
 戶數九百九十五萬九千七百四十九戶
 地面所有ノ團體壹千四百廿三萬四千貳百三拾七ヶ所
 土地(建物無之分)所有主八百四拾五萬四千貳百拾八人
 所有主ト人口ノ比例千人ニ付貳百三拾四人
 全上戶數ノ比例千戶ニ付八百四拾九戶
 地面ノ團體ヲ所有ノ比例一所有人ニ付五百九十四ヶ所

法朗西國農務沿革

千二百年代乃至千五百九十四年

ゴールノ時農業已ニ隆盛ニシテ益進歩ノ緒ニ就キタルモ日耳曼蠻人
侵入ノ爲ニ農業悉ク衰頽セリ抑モ農民ノ往時振ハサリレ所以ノモノ
ハ封建制度ノ下職業ヲ賤ニ隨テ農業ニ從事スル者ハ過半奴隸ニシテ
自由ヲ有セサレハ固ヨリ其進歩ヲ見ルヲ能スヒリッフ、オージェスト
及サン、ルー、ワ王ノ英斷ヲ以テ農民ニ自由ヲ與ヘ且十二世紀并十三
世紀ノ交ニ於テ十字軍ノ舉アリテ大ニ從來野蠻ノ遺風ヲ一掃シタリ
千二百十八年ニ高利貸ニ制限ヲ設ケタリ又サン、ルー、ワ王ハ大ニ開拓
ニ力ヲ用キ開拓ニ關スル約束等便宜ノ法ヲ設ケ之ヲ獎勵保護シタリ
從來農民ハ土地所有權ヲ有セサルモ漸次之ニ自由ヲ與ヘ地頭諸侯ハ
豪奢、戰爭十字軍等ノ爲メニ所有地ヲ賣却シ農民大ニ獨立ノ勢ヲ執ル
ノミナラス自然勉強ノ効績現ハレ富裕者ヲ地方ニ増加セリ
千三百四十九年ヒリッフ王勅令ヲ發シ市場開設ノ期ヲ定メ貨幣交換

價額ヲ定メ王貨ハ普ク全國ニ通シ諸侯ノ貨幣ハ唯其一地方ニ限リタ
 リ又千三百四十七年ヲ以テ巴里ニ入府稅ヲ課スルヲ許シタリ是レ現
 今巴里府等ニ行ハル、所ノ入府稅ノ原始ナリ
 抑此十三世紀ハ實ニ歐洲全体ニ地方制度ノ變更ヲ加ヘタルモノナリ
 千三百四十八年疫病流行ノ爲メ死スル者多ク且貨幣ヲ擬造シ職工賃
 銀ヲ引上ケ農工商共ニ甚ク困難ヲ極メタリ
 要スルニルイキ六世ヒリッフ、オーギユスト王ヤン、ルイキ王ノ時ハ眞ニ
 農民ニ對シ政府タル職務ヲ尽シ農商工ノ業未ダ曾テ此時ヨリ進歩若
 キヲ見サルナリ
 其後ノ政府ハ急激ノ主義ヲ取り内外共ニ困難ヲ來シ農業モ亦進歩ス
 ルヲ能ハス依リテジヤン王後テ此困難ヲ救済セント欲レタレント遂ニ
 之ヲ果スヲ得ス
 其王子レヤル、五世位ニ就テヨリ農工業并ニ美術ニ力ヲ尽レ大ニ之
 ヲ保護シタレハ先代佛國ノ困難ヲ救済スルヲ得タリ而テ此主ハ其

勉ムル所獨リ法律制度ニ止マラス管地農業ヲ獎勵セントシ綿羊其他
 ノ家畜養牧ニ關スル著書ヲ編纂セシメ普ク農民ノ用ニ供セシメタリ
 且ツ此王ノ農業ヲ尊崇スルヤ實ニ甚レク王宮并ニ寺院ノ硝子窓ニモ
 農作ノ景狀ヲ畫カシメタリ
 然レヒシヤル、五世ノ政府ハ甚ク短期ニレテ實ニ連日ノ暴風ニ際シ
 一朝晴天ヲ見ノ感アリテ唯ク其期ノ長カラサルヲ惜ムナリ此政府ノ
 事業中著キモノハ左ノ如シ
 千三百八十三年田野看守人ノ制ヲ改正シ諸侯ノ遊獵權ヲ制限シ開
 拓地并土地使用權ヲ農民ニ與ヘ都府ヨリ乞食ヲ放逐シ地方ニ送り
 農業ニ從事セシメ農民ノ苦役ヲ免シタル等ノコアリ
 シヤル、五世ヲ去ルノ後ハ内外戰亂ヲ受ケ又ク佛國困難ヲ極メタリ
 ルイキ十一世ノ時桑蠶ノ事業ヲ伊太利ヨリ輸入シ佛國ツレーノ地
 方ニ移シ且養蠶場ヲモ設置セリ此王ノ農業ヲ保護シ農民ヲ助ケ其進
 歩ヲ勵リタルヤ大ナリ

ルイ・ナポレオン二世ノ時伊國ト戰テ起シ佛兵ノ同國ニ入ルヤトスカース、ミラン地方農業進歩ノ實況ヲ視テ諸侯ハ歸國ノ上農事ニ力ヲ尽シ中等社會ノ從軍セシモノ亦大ニ農業ニ從事シ其進歩ヲ促シ加フルニ印刷ノ業行ハレ農事ヲ普ク人民ニ知ラシメ且化學植物、博物學モ漸次ニ進歩シタリ又米國ノ發見アリテ金銀ノ佛國ニ輸入スルコト多ク爲メニ交換ノ媒介ヲ増シ農産物ノ産出及商業ヲ活潑ナラシメタリ

フランソワ一世ハ千五百三十四年ヲ以テ穀物貿易ヲ内外ニ自由ナラシム是レ即チ農商業進歩ノ一若タルモノナリ

シャルル、九世ノ政府ハ桑蠶ノ業ヲ大ニ獎勵セタリ且シヤン、ニコイチシテ(千五百七十年頃)西班牙、葡萄牙間ニ派遣シテ煙草種ヲ始メテ佛國ニ輸入セリ

前代ノ王ハ多少農業等ヲ獎勵スル處アリト雖モ全國末ダ割據ノ制ナルヲ以テ畫一ノ法ヲ布ク能ハス米國ノ金銀産出多レト雖モ商業取引上不便ニシテ農産物賣買ハ一地方ニ止マリ其輸出入ハ僅ニ豐作ノ時

ニ限リタレハ農商業俱ニ進歩スルコト能ハス加フルニ三十年間ノ大亂ニ佛國擧テ因弊ヲ極メ危急存亡ノ時ニ方リハンリ四世ハ即チ千五百九十四年即位シ此困難ヲ救ント計リ全國ニ改革ヲ行ハント欲セリ而テ其計畫ハ皆シユリイ氏ト經營レ大ニ爲スコアリタリ千五百九十四年内務兼大藏院ヲ設置シユリイ氏入リテ其委員トナレリ佛國ニ於テ特務官衙ヲ設ケタルハ實ニ此時ヲ以テ始メトス該院ハ國家名譽及秩序ニ關スル要務緊急ノ事務ヲ臨時處分レ國內ノ事情ヲ國王ニ上申シ國家ノ要務ハ王ノ制裁ニ出テ其裁定ヲ受ケ之レカ施行ヲ爲サシムルコトヲ任セリ

シユリイ氏ハ第一若シニ財政ノ困難ヲ救助シ人民ノ負擔ヲ減レ獨リ中央政務ノ改革ニ止マラス大ニ地方制度ヲ改良シタリ

而テハンリイ王并シユリイ宰相ハ當時國弊ヲ救フニハ實ニ農業ニ據ルヘキヲ知リ佛國ノ地質并氣候ニ依テ之ヲ獎勵セハ佛國ヲシテ歐洲中農業ヲ以テ冠タラシムニ足ルコトヲ信シユリイ氏ノ格言ニ曰ク耕

作及牧畜ハ佛國ヲ養フ二個ノ乳房ナリト實ニ然リ當世施政ノ方向モ亦此主意ニ出サルコトナシ

千五百九十五年私用負債ノ爲メニ農民ノ農具ヲ取押ユルヲ禁シ又千五百九十七年武卒ノ地方暴行ヲ禁シ農商工ヲ苦レムル者ハ嚴罰ニ處スル旨ヲ發令セリ

千五百九十八年シユリー宰相親シ地方ヲ巡回シ民情ヲ觀察シ專ラ民ノ疾苦ヲ除クヲ勉メ重稅ヲ減スルノミナラス徵稅ノ際小吏姦計ヲ行フノ弊害ヲ一掃シタルハ實ニ民ノ幸福大ナリト云フヘレ

千五百九十五年ノ交全國大ニ荒饉ニ遭遇シハンリー王ハ穀類輸出ヲ禁レヨレド千六百一年ヨリ豐作打續タルヲ以テ自由貿易ノ制ヲ行ヒ千六百二十五年ニ至リ再ヒ檢束主義ヲ採レリ其間保護說モ盛ニ起リタリト雖ヒシユリー氏自由主義ヲ確ク取テ勸カス此二十五年間自由貿易ノ爲メニ農業ヲ獎勵シ其進歩モ亦著大ナリシト云フ

國王并宰相ノ目的ハ主トシテ土地ノ改良ニアリ千五百九十七年勅令

ヲ發シ水理、森林並道路修理保存ヲ命シ千五百九十九年沼地排水開拓ノ勅令ヲ發シブラドレー氏排水工事頭ニ任セラレ十五ケ年間ノ特許ヲ得タリ而テ開拓地ノ一半ヲ氏ノ所有ニ歸セシメ其地主ニシテ開墾費并ニ負擔人ノ利益トシ償還セハ其所有權ヲ復スルコトノ制ヲ設ケタリ

斯シテブラドレー氏ハ資本家ト申合先ツ工事ノ容易ナル部分ヨリ着手シテブレトモ土地所有主ノ苦情多ク事業ニ困難ヲ極メタリ千六百七年更ニ勅令ヲ發シ千五百九十九年ノ勅令ヲ改正セリ此改正令ニ依リブラドレー氏ハ自由ニ地主ト商議スルヲ得且ツ開墾事業ヲ獎勵セシカ爲メ開墾地ヲ以テ貴族所有地トシテ租稅ヲ免シタリ猶ホ此工事に從事シタル工夫モ亦租稅并ニ雜稅ヲ免セラ、ルノ特典ヲ享ケタリ

又ブラドレー氏及其組合員ハ其他通行稅并二十年間沉炭專賣等ノ特典ヲ受ケ大ニ保護ヲ蒙リタリハンリー四世ノ代ニ在テ開拓事業ノ活潑ニ抄取タルヤ著明ナリメドック郡ノ如キハブラドレー氏并ニ組合員ノ効績依然トシテ現ニ存在セリ

運輸ノ便否ハ農業ニ關係アルヲ實ニ大ナリ然ルニ十六世紀ノ交通ハ
 道路交通ノ便否ヲ思フモノナク各地方其制度ヲ異ニシ一定ノ法制ナ
 ク各村道路幅員區々ニシテ修理築造ノ法モ亦種々ナリキ
 千五百五十三年ハンリ―二世道路ヲ王有ニ屬セシメ、オムム樹ヲ路傍
 ニ植附シメタリ又ハンリ―三世ハ千五百八十三年ヲ以テ道路ノ幅員
 ナ定メ並木植附ノ制ヲ設ケタリ
 斯クテハンリ―宰相ハ前代王ノ善例ニ從ヒ非常ノ力ヲ尽シテ全國交
 通ノ便利ヲ計リ先ツ從來ノ道路ヲ改良シ並木ヲ移植シ更ニ行路ヲ開
 キタリ其計畫ハ巴里府ヲ中心トシ諸道ヲシテ之ニ連絡セシムルヲ以
 テ目的トシ工事ニ着手セリ
 此大工事ノ落成ヲシテ容易ナラシムルカ爲メニ千五百九十九年土木
 總裁ノ官ヲ設ケ之ニ屬官ヲ附シ特別ノ事務局ヲ置ケリ是即今現土
 木局ノ元祖タルモノナリ
 千五百九十七年水陸路ニ宿驛ヲ設ケ商品ハ勿論農産品ニモ運搬ノ便利

ヲ與ヘタリ然ル土木ノ工事ハハンリ―四世逝去後中止レ爾後再度着
 手セシト雖モ其大成ハ漸クルニ至リ十四世ノ時ニ至テ終レリ水路ノ工
 事モ亦陸路ニ於ルカ如ク盛ニ行ハレ諸川河ニ通航ノ便ヲ開キ新ニ「ブ
 リヤール」運河ヲ開鑿シ其工費ニ百萬弗ノ巨額ヲ費シタリ然レユリ
 一氏ハ農民苦役ノ制ヲ廢センヲ勉メタレハ該工事ト雖モ農民ヲ使
 役セス工夫ノ半ハ軍卒ヨリ出サシメタリ
 レユリ―宰相ノ農業ニ關シ直接間接ニ保護レ利益ヲ與ヘタル方法ノ
 大略ハ左ノ如シ
 一前々ノ王政ニハ愛臣ヲ賞スルニ課税ノ權ヲ以テ隨ツテ其稅權
 賣買ノ風行ハレ徵稅ノ時云ヘカヲサル弊害ヲ生セリ依リテシユ
 リ―宰相ハハンリ―四世ヲシテ此賞典ノ法ヲ嚴禁セシメタリ
 又戰亂打續キ貴族疲弊シ軍費等ノ負擔ニ堪ヘサルモ依然出費ハ愈多
 キヲ加ヘ他ニ富賑ノ策ヲキニ依リ皆之ヲ歸農セシメタリ是ニ於テ大
 ニ農業ニ榮譽ヲ得セシメタリ

二千六百一年獸獵ノ法令ヲ發シ麥作并葡萄園ニ獵期ヲ定メ貴族ノ
 濫獵ヲ禁止シ害獸ノ撲殺法ヲ定メタリ
 三千六百一年法令ヲ以テ地益金ノ制ヲ定メ百分ノ一五ノ利息ニ超
 過スルヲ禁セリ斯クテ農民ニ富裕ヲ與ヘ從來ノ邑債或ハ私債
 或ハ租稅遲滯ノ分ヲ償還セシムル法ヲ設ケタリ是即チ農民ノ爲
 最大善政ナリト云フヘシ
 ハンリ―四世及宰相ハ已ニ農業獎勵ノ法ヲ勉メタリト雖モ尙ホ進
 テ直接ノ獎勵ヲ與ヘント經營スルニ方リオリビユ―、セル氏出テ
 大ニ之ヲ補佐セリ氏ハ實業家ニシテ其領地ニ農事模範場ヲ設ケ千五
 百九十八年ヲ以テ農書ヲ著シ之ヲ王ニ獻セリ是ヨリ先佛國ニ於テ已
 ニ農業ニ關スル著書多ク西班牙、獨乙、英利西諸國ニ於テ一ニ著書ア
 リシト雖モ當時ニ在テ佛國ノ右ニ出ルモノナカリキ而テド、セル氏
 ノ農書ハ氏ノ四十年間經驗ト研究トニ依リテ成リタルモノナリ該書
 中人造牧草、甜菜并排水法等ノヲ併セ述タリハンリ―王大ニ之ヲ嘉

納シ毎日晚餐後必ス之ヲ朗讀セラレタリ而テ人造牧草ノ如キハ王領
 地ニ之ヲ試作セシメタルヲ以テ遂ニ全國一般之ヲ模範トシ人造牧草
 普ク行ハレタリ
 ハンリ―四世ハ獨リ農業獎勵ニ止マラス戰亂ノ爲メニ衰頹シタル工
 業ヲ惹起センコト計リラフマー氏大ニ之ヲ助ケ先ツ生糸絹布、織物輸
 入ヲ禁止シ里昂及ツール府等ノ織物製造ヲ保護シ桑樹培養及養蠶ノ
 業ヲ獎勵セリ
 然ルニシヨリ―氏ハ自由貿易主義ヲ主張シ保護ヲ以テ強テ工業ヲ獎
 勵スルニ不同意ヲ表シ且一般人民ノ衛生上ニ就テモ農業ニ從事スル
 ヲ以テ得策トセリ
 ハンリ―四世ハ宰相ノ不同意ニ係ハラス工業ニ尽力セテ桑樹栽培
 チ全國ニ及スノ方法ヲド、セル氏ニ下問セラレタリ又王ハ農業監督
 官ヲ地方ニ派遣シ養桑發蠶ノ方法ヲ研究セシメ其復命書ニ依リテ更
 ニ勅令ヲ發シ其方法ヲ人民ニ教ヘタリ然レ試作ノ爲メニ人民ニ迷惑

子與へサルカ爲ノ先ツ官費ヲ以テ大ナル試作場ヲ設ケテ千六百
 一年勅令ヲ以テ商業高等會ヲ設ケシ其會員ハシヨリ宰相其他卿、參
 議官及農商工ニ從事ノ紳士等ニシテ就中實業者ヲ以テ其大部ヲ占メ
 シメ以テ農商工會ヲ組織セリ是即テ現今ノ農商工高等會ノ元始トス
 而テ本會ハ王意ヲ補佐シ養蠶業ヲ恢復擴張スルヲ勉メ事業家ト特
 約ヲ結ヒ各地方ニ桑樹ヲ植シメ且養蠶業ヲ普ク行ハレメテ千六百
 二年ラフマー氏農業事務長トナリシヨリ宰相ノ指揮ヲ受ケ各郡ニ
 桑樹及蠶種ヲ分配シ蠶キニ編纂シタル養蠶書ヲ人民ニ與ヘテ
 千六百二年ノ勅令ニ依レハ各州ニ桑苗仕立場ヲ設置スヘキ等ナレハ
 直ニ巴里オルレヤンツール府ニ之ヲ設ケテシヨリ宰相ハ斯ル事
 業ニハ甚ク不同意ナルヲ以テ王ニ抗論セシモ一旦王政ノ方向定リテ
 ル上ハ宰相熱心シ王業ヲ佐ケ實効ヲ勉メタルハ實ニ敬服ニ堪サルヲ
 ナリ果シテ各地方ニ桑樹植附ケ殊マントニハ縮緬ノ製造ヲ獎勵セリ
 塞盧(即佛國)ハ元ト產馬地ヲ以テ世ニ知ラレタル國ナルモ蠻人ノ侵入

ヲ被リタル以來愈馬匹ノ不足ヲ告ケ軍馬用ニハ獨逸、西班牙、土耳其、英
 吉利ノ諸國ニ依頼セサルヲ得サルノ狀況ナリシヲ以テ商會ハ更ニ馬
 牧場ヲ設ケ此欠點ヲ補ントシヨリ宰相ニ謀リタルニ其發成ヲ得テ
 リ宰相モ亦法案ヲ實施セントセシニ際シ國王ノ逝去ニ會シ其計畫モ
 亦瓦解スル所トナレリ

ハンリ一四世ハ農業進歩ノ方法ニ付百方力ヲ尽シ該業ノ進歩ヲ計ル
 ニハ學問ノ助ケナカルヘカラサルヲ察レ佛國振起策トレテレヨリ
 氏ト計畫シタル法案ヲ見ルニ農業ヲテ隆盛ナラシムルニハ先ツ耕
 作ヲ分ケテ畑作、葡萄作及森林トレ之ヲ行フニハ慣習ニ因ラス寧ロ道
 理ト經驗ニ基クヘキヲ記シ置キテリド、セール氏著書ヲ以テ已ニ耕作
 法ヲ人民ニ示シテリト雖ヒ王ノ意固ヨリ是ニ止マルコアラズ益進
 テ農業教育ヲ設ケ舊慣ヲ破リ新ニ學理ニ因リ經驗上確乎タル方法ヲ
 以テ之ニ代ントスルニアリテ依リテ先ツ植物研究ニ着手セリメン
 ベリエー植物園ヲ設ケ次テ醫學校ニ附屬ノ植物園ヲ置キ大ニ獎勵レ

タリト雖は是實ニ王ノ計畫ノ一部分ニ過サルナリ
 當時祭日ノ數ハ始ント年ノ半數ヲ占メ農業ニ害アルヲ大ナルヲ以テ
 ハンリー王ハ之ヲ改革シ其弊害ヲ除キ去ント企テリ然ルニ羅馬法王
 之ヲ拒ミ遂ニ其目的ヲ達スルヲ得ス
 夫レハンリー王政ハ或ハ法律ヲ設ケ或ハ經濟上種々ノ方法ヲ立テ以
 テ農業ヲ振起獎勵シタルヤ蔽フヘカラサル事實ナリ當時地租雜稅及
 使役ノ負擔輕キニアラスト雖ハ政府ノ保護共宜キヲ得又農業經濟上
 施行善良ナリシニ依リテ數十年戰亂ノ爲メニ敗頽シタル農業ヲレテ
 恢復セシメ漸次其歩ヲ進メ遂ニユルベール氏ノ時迄維持進歩スルヲ
 得タリ當時佛國ヨリ他邦ニ農產物ヲ輸出スルヲ三億六千萬法ニ達
 セリ(千六百八年及全九年)又貴族中農業ニ從事スルモノ多キカ爲メニ
 農事ヲ以テ國政ノ大務トセリ
 シユリー氏政務ヲ執リ內務大藏ノ事務ニ從事セシテ前後十六年間ト
 ス其間國王ノ手元金ヲ以テ植物園桑苗仕立塲農書印刷其他農業獎勵

ノ爲メニ費シタルヲ多シト雖ハ政府ヨリ農業試作、桑樹植附、養蠶場設
 置、河川改良、運河開鑿等ノ諸費四千三百五十萬法ニシテ一ケ年ノ支出
 凡ソ五百四十四萬法ナリトス
 是ニ因テ之ヲ視レヘハンリー政府農業ノ爲メニ巨額ヲ費セシモノト
 云フヘシ朝鮮、甘藷、馬鈴薯、ウイゾロン、甘蔗、栗ヲ輸入シ七面鳥及雉子
 ノ一種モ亦移飼セリ
 然レシユリー氏ノ政策ニ完全スル所ナシト云フヲ得ス氏ハ専ラ財政
 恢復ト農業ニ熱注シ商工業ヲ顧慮セサルノ偏心アリタルモ幸ニシテ
 ハンリー王ハ大ニ見ル所アリテ工商業俱ニ獎勵セラレタリ
 シユリー氏ノ失策ハ農商工ノ三業ハ皆連帶シタルモノニシテ一國ノ
 富裕幸福モ亦是ニ基キ其獎勵ノ方法ニ於テモ之ニ注意スヘキ要領ヲ
 察セサルニアリタリ
 シユリー氏ノ事業ニ於テ農商工業ニ在テハラフマ氏土木理財ニ在テ
 シユフレヌ氏大ニ輔佐シタリ

而テハンリー王親ヲシユリー氏ト與ニ盡力セラレシテ實ニ大ナリ王ノ事實ヲ看破スルニ明達ニシテ一度決シタルヲ斷然トシテ勳カサヌ政務繁劇ナリト雖モ養蠶事業ニ注意セラレタルヲ至レリト云フヘシ且政務ヲ執ルニ國王タル大道未チ服膺シ大ニ人ヲ使フニ注意セラレタリ夫レ忠義廉潔ノ士ヲ待ツニハ先ツ其任務ハ一時ノモノニアラス又其權利モ偶然ニ起ルニアラス任務權利ハ皆其身ト榮辱興廢ヲ共ニスルモノト覺悟セシムルヲ勉メラレタリ

ハンリー四世ノ逝去ト共ニ佛國幸福ノ原素モ亦滅亡シタルモノナリ王逝去ノ後ハンコリー氏モ政務ヲ執ルヲ僅ニ三四ヶ月ニ過キス

ハンリー王ノ後ハ攝政政府之ニ代レリ而テ愛臣起リテ政務正格ナラス財政漸次困難ノ地ニ陥リ前朝ノ功臣悉ク死シ亦如何トモ矯正スルヲ能ハス千六百二十二年ニ至リ彼ノ豪傑カメシナール、ド、リシユリー、ユ、I氏政府ニ入り大權ヲ掌握シタリト雖モ二十年間内外戰亂ノ爲メニ國費多端ニシテハンリー四世ノ朝ノ如ク農業ヲ獎勵スルヲ得ス然

レトモ氏モ亦有益ノ保護ヲ與ヘタリ

リシユリー、ユ、I氏ハ土木事務ニ改革ヲ行ヒ自ラ農商工業土木航海ニ關スル政務ヲ執リ千六百二十五年ヲ以テ勅令ヲ發シ水陸路ノ驛馬場ノ保存ヲ命シ大ニ農產物等ノ運輸ノ便ヲ與ヘタリ

聖、パンサン、ド、ポールナル名僧出テ人民ノ疾苦ヲ救濟セント希望シ其身ヲ忘レ此事ニ熱心シリシユリー、ユ、I宰相ニ計リテ大ニ其經濟上ノ保護ヲ得テ人民布教ノ目的ヲ以テ男女ノ學校ヲ設ケタリ

千六百二十五年ヨリリシユリー、ユ、I氏教育ヲ保護シ僻陬地ニ之ヲ普及シ以テ普ク人民ニ學理實驗ノ事項ヲ知ラシムル方便ヲ得大ニ人民ヲ進歩セシメタリ而テ其目的トスル教育ハ専ラ修身宗教ノ点ニアリタレハ他種ノ教育ノ爲メニ其ク便宜ヲ與ヘタリ

是ノ時ヨリ佛國ノ狀態一變シ隨テ人民ノ志氣モ亦一變シタリ是實ニドポール名僧ノ賜ニシテ一國ノ一大美事ナリ萬年ノ後ト雖モ尚ホ減セサルヘシ是レ固ヨリ名僧ノ力ニ因ルト雖モリシユリー、ユ、I氏與テ

大ニカアリト云フヘシ
 穀物貿易ニ制限ヲ設クルハ古來ノ通策ナリシユリユ一氏モ亦此略
 習ヲ脱セサリシト雖モ内國ニ於テハ其貿易ヲ自由ニシタリ法令ヲ發
 シ諸侯ノ壓制ヲ禁止シ地方ニ安全ヲ與ヘ不勸産ノ價値ノ掌中ニ入ル
 ヲ防キ金利ヲ引下ケ武卒ノ地方暴行ヲ禁壓シ且罰法ヲ設ケタリ
 千六百三十四年勅令ヲ發シ稅率ヲ定メ且免租ノ方法ヲ規定シ又賦稅
 ノ沙汰アリ負債ノ爲メニ農用動物及農具ヲ取押ユルヲ禁止セリ然
 レ宰相死シノ後ハ此政令ヲ實施スルヲナキハ亦不幸ト云フヘレ
 リシユリユ一宰相在職中國事多端コレテ二十年間道路水事ノ爲メニ
 費シタル毎年ノ經費ハ僅ニ二百四十萬法ニ過キス「アリヤール」運河開
 鑿事業、開拓事業モ亦國費益多端ナルヲ以テ中止シ歲入足ラサルニ依
 リ諸稅ヲ増シ農民負擔ニ堪ヘス遂ニ一揆ヲ起スニ至レリ
 爾後財政愈困難ヲ極メ千六百六十年項ニ至テハ人民疾苦ノ情ヲ國王
 ニ訴ヘ國王ニ忠告書ヲ呈スルモノアリ當時人民ノ狀態ハ實ニ切迫ニ

シテ家畜ヲ養フニ其料ナキヲ以テ其共有地ヲ賣却シ又道路ニハ通行
 稅アリテ止テ得サル者ニアラサレハ通行スル者ナシ農民ハ諸種ノ稅
 ヲ負擔スト雖モ國庫ニ入ルモノハ僅少ノ額ナリ斯クテ農民ハ失望ニ
 タヘスシテ農業ヲ放抛シ各地ニ流離シ又未納稅ノ爲ニ幽閉セラレ疾
 苦悲哀シテ牢獄ニ斃ル、者日ニ百ヲ以テ數フルニ至リ家畜ハ漸次共
 數ヲ減シ土地ハ肥料ヲ用井ス愈々脊土トナレリ甚シキニ至リテハ此
 困難ヲ以テ穀物貿易自由ノ罪ニ歸シタル者アリ

斯ノ如キ慘狀ノ時ニ方リ平民ヨリ出テシユリ一及リシユリユ一氏ノ
 政策ヲ履ミ其若眼ノ度ヲ尙一層高尙ニシテ佛國ヲ危急存亡ノ際ニ救
 濟シ之ヲ隆盛ノ位置ニ立タシメ以テ其榮名ヲ萬世ニ垂レシメタルハ
 實ニ大コルベール氏ニアリトス

千六百六十一年乃至千六百八十三年
 コルベール氏ハ千六百十九年「レンス」ニ於テ世ニ商業及法律ヲ以テ知
 ラレタル一家ニ生レ始メ商業ニ從事セシモ更ニ轉シテ法律ヲ巴里ニ

研究セリ當時宰相タリレマサラン氏其人ト爲リテ知リ之ヲ舉テ參議官ニ任レ專ラ之ニ信用ヲ置キタレバゴルベール氏ハ政務ノ機密ニ參與セサルヲナシマサラン宰相臨終ノ時王ニ謂テ曰ク臣カ事一トシテ君ノ恩惠ニ因ラサルナレ而テ今ヤ君恩ニ謝スルノ道ハゴルベールヲ推薦スルニアルヲ信ストルニ非王モ亦會議ノ際已ニゴルベール氏ノ智識優逸明達ニシテ經驗ニ富ミ思想高尚ニシテ國ヲ思フノ廉潔ナル大丈夫タルヲ看破レ之ヲ信スルヲ甚ク厚クレハマサラン宰相逝去ノ後ハ之ヲ舉テ后任ヲラシメタリゴルベール氏ハ始メ財務ノ任ヲ帶ヒ理財ノ道ヲ務メ大ニ尽力シ千六百六十九年遂ニ大宰相ト爲リ財政美術ノ事ハ勿論海軍、殖民、農商工業、土木、教育及宗教ニ至ル迄悉ク統理セサルハナシ

ゴルベール氏ハ主トシテリニコリニコリ宰相ノ主義ヲ尊崇シ之ヲ實施シタリト雖モ亦王威ヲ損セス王名ヲ蔽ハサランヲニ勉メタルハリシニコリニコリ宰相ノ右ニ出ダリ

ゴルベール氏ハ唯ク濫ニリニコリニコリ氏ノ主義ヲ尊崇シタルニアラス政略行政ニ就テ自ラ意見ノ存スルアリ例ヘハ經濟上ニ就テハ佛國ノ如キ大國ハ農商工業并航海術ヲ盛ニ行ハサルヲ得ス且之ヲ行フニ必要ノ物ヲ具備シ居レリト云ヘリ果シテ氏ノ在職中ハ經濟ノ施政ニ付テ專ラ此目的ヲ以テ行ヘリ

而テニコルベール氏ノ農政施行ノ要領ハ左ノ如シ免稅特權者ヲ減シ農民負擔ノ稅ヲ減シ代言人及資本家尊信ノ風ヲ減シ農工商ヲ重ンセシメ資本ヲ實業ニ用ヰシメ小貴族等ノ農民壓制ノ弊害ヲ除キ人事并財產ニ安全ヲ與ヘタリ

又農業獎勵ノ道ハ止ク租稅、其他諸種ノ弊害ヲ除去スルニ止マラス之ヲ獎勵スルニハ善良農業基本ナルヘキ牧畜蕃殖ニ便宜ヲ與フルニアルヲ知ラレタリ又農業全体ノ利益ヨリシテ製造所ヲ起シ航海術ヲ盛ニシ水利、森林ヲ保護シ從來ノ道路ヲ改良シ新ニ水陸ノ運路ヲ設クニアリタリ

此施政ノ要ヲ實施スルニ第一着ニ通行稅種ノ起原ヲ調査セシメ不當ナルモノヲ除去シ或ハ一時ニ官ヨリ之ヲ買上ケシメダリ千六百六十五年ノ勅令ヲ以テ不當ノ利子ヲ制限シ農商工業者ニ安利ノ資本ヲ得セシメダリ且實業ニ資本ヲ與ヘンカ爲メニ公債ノ利子ヲ引下ケ又多クハ之ヲ消却シタリ

國債ヲ減シ財政ノ事務ヲ改革シタル上更ニ邑ノ財政ニ改革ヲ行ヘリ抑邑ノ財政タル二十年以來漸次負擔ヲ増シ或ハ邑債ヲ起シ或ハ邑ノ所有地ヲ賣却シ貴族及財產家ノ爲メニ不動產ヲ占領セラレ村邑ニ牧畜其跡ヲ絶テ共同放牧場モ漸ク消滅セントセリ而テコルベール氏不撓不屈ノ精神ヲ抱キ邑債減却ノ大事業ニ着手セシハ實ニ千六百六十二年ナリ邑債調査委員ヲ組織シ償還期限并償還額ヲ定メ漸次從來邑有ノ地ヲ其邑ニ返附シタリ千六百六十七年ニ至リ事業大ニ擧取リ同年勅令ヲ以テ不當ノ處分ニ依リ賣却讓受買入シタル邑有ノ地ハ悉ク還附セシメダリト雖モ其間苦情訴訟多クコルベール氏不撓ノ精神

トルー井王ノ保護ニ依ラサレハ固ヨリ成效ヲ期セサルノ難事タリキ千六百六十七年勅令ノ要領ハ即チ邑有地ニシテ他人ニ讓渡シ正當ノ理由アルモノハ相當代價ヲ以テ買戻シ地方貴族ノ押領ヲ禁制シ示后邑有地ノ讓渡ヲ嚴禁シ負債ノ爲メニ農民ノ家畜ヲ取押ユルヲ禁止シ專ラ農民ノ保護ヲ主トセリ

千六百八十三年コルベール氏ハ邑政ノ組織ヲ改正シ更ニ邑有地讓渡及邑債ヲ起スヲ禁止シタリ

千六百六十三年勅令ヲ以テ大ニ稅法ヲ改正シ貴族僧侶財產家ノ如キ免稅人ノ數ヲ減少シ小民ノ負擔ヲ輕クシ又收稅上ニハ苦情ナクシテ徵收期限ニ納稅セシメタル者ニ賞與ヲナスノ法ヲ設ケタリ此稅則改正中最モ農業ニ利益ヲ與ヘタルモノハ是迄ノ課稅法ハ所有主ノ身分ニ依リテ課シタルヲ一變シテ其所有主ノ如何ニ抱ハラス土地ニ就テ徵稅法ヲ定メタルニアリトス然レ此稅法實施ニ於テハ免稅者ノ獨リ其負擔ヲ増スモノナレハ苦情多ク實効ヲ奏スルヲ固ヨリ容易ナラザ

ルヲ察シ先ツオーストリア、キイエンヌ州ヲ撰ミ千六百六十六年ヨリ三年間地租改正ヲ行ヒ地稅所得稅ヲ課シ以テ其結果如何ヲ見ルニ其間弊害ヲ生シ未ダ宰相ノ目的ヲ達セス尙ホ更ニ改正ヲ加ヘントセシニ際シ他ニ政略上關係アルヲ以テ果サス全八十一年新ニ改正案ヲ出シ全八十三年王ノ批准ヲ得タリコルベール氏財政改革案實施如何ハ實ニ佛國將來ノ利益ニ關係アルヤ大ナリシモ不幸ニシテコルベール氏早ク死シテ其目的ヲ全セス且後任者モ亦其遺業果サハルハ甚遺憾ト云フヘシ

抑コルベール氏就職ノ第一若ニハ從來未納稅ノ若干額ヲ免シ農民ノ負擔ヲ減シタルニアリ千六百六十三年地租歲入額ハ五千四百萬乃至五千五百萬法ナリシニ地租ヲ減シタル凡ソ七百萬法ナリトス而テ之ニ代ユルニ新ニ間稅ヲ設ケ國庫ノ歲入ヲ増加セリ此新稅タルヤ當時ノ如ク免稅者多キノ時ニ在テハ實ニ適當ノ稅法ナリ此他コルベール氏ノ新設ノ稅法ハ煙草稅ナリトス此稅タヒヤ將來國庫ノ歲入ニ非

常ノ關係アルモノナリ煙草ヲ佛國ニ輸入セシハ千五百七十年ノ交ナリトス當時ノ女王之ヲ愛セシテ以テ朝臣等王意ヲ迎テ之ヲ試作セシモ女王逝去ノ後何人モ之ヲ培養スル者ナシ降テ千六百十八年ノ交勅令ヲ以テ佛國ニ外航ノ自由ヲ與ヘ米ノメキシコ國ニ航スル者アリ然ルニ長途航海中常ニ鹽漬肉ヲ食スルカ爲メ口中癆瘵ヲ病ム者多カリレニ煙草ハ該瘵ノ爲メニ良藥ナリト聞キ其吹飲ノ法ヲ始メテ彼國ニ於テ覺ヘタリ彼國ヨリ歸ル者其慣習ヲ本國ニ移シ其需用益廣リ遂ニ千六百二十六年ニ至リ勅令ヲ發シ藥ノ外其需用ヲ制限シタリ其後課稅ノ法ヲ設ケタルレド其需用愈々増加スルヲ以テ農民始テ之ヲ培養スルニ至レリ千六百七十四年ノ交國費多端ナルニ依リ稅源ヲ増ント欲シコルベール氏煙草稅ヲ課シ遂ニ之ヲ政府ノ專賣トセリ其稅額ハ壹斤ニ付內國產ハ二十錢外國產ハ四十錢ト定メタリ千六百二十六年ノ交煙草稅ノ收入高ハ十五萬法ニ過サリレモ千六百七十四年以後ハ六年間ノ約束ヲ以テ年五十萬法ト定メ一會社ニ請負ハレメ全八十年ニ

ハ其請負額ヲ六十万法ト定メタリ此時ヨリ煙草ハ政府ノ專賣ニ歸セ
シカ其耕法ヲ人民ノ自由ニ任セタリ然レコルベール後任者ハ此制ヲ
廢棄セリ

コルベール氏治政ノ目的ハ富ニ殖産富國策ニ止マラス貴族ノ壓制、弊
害ヲ除キ人民ニ安全ヲ與ヘ一般ニ厚生ノ道ヲ開カントスルニ在リタ
レバ千六百六十一年始メテ裁判所ヲ設ケ最初若干州ニ施行シ其實効
ヲ奏スルニ隨ヒ漸次擴張シ且ツ漸次勅令ヲ發シ裁判法ヲ規定シタリ
是現今ノ佛國法律ノ基礎ヲ定メタルモノニシテルイキ十四世朝ノ一
大美事ト云フヘシ

水利及森林事務ハ己ニ千三百二十年ヲ以テ其制ヲ定メタルヲナリシ
モ時々改革變換ニ會シ法令等未ダ整頓セザリシニ依リコルベール氏
職ニアルノ日即チ千六百六十九年勅令ヲ發シ水利森林規則犯罪ヲ全
國畫一ノ法ニ依リテ處分シ森林ノ廣袤ヲ測リ樹木保存方及手入方ヲ
定メ森林伐裁及賣捌ノ手續等ニ關スル法則ヲ規定セリ森林ハ總テ邑

有或ハ人民ノ所有タルヲ問ハス一定ノ規則ニ依リ濫伐ヲ防キ造船用
財ニ不足ナカラシメタリ又山林地開墾ハ特別ノ許可ヲ得サレハ之ヲ
爲スヲ得ス且森林地ニ非ラスト雖ヒ總テ傾斜著キ地面ハ悉ク山林規
則ニ依リテ處分セリ

同規則ニ依リ山林地ノ道路及河川道路修理方ヲ定メ不當ノ通行稅ヲ
廢止シタリ

千六百六十九年ノ勅令ヲ以テ耕地ニ於テ墾スルヲ嚴禁シ之ヲ犯ス
者ニハ罰金及損害賠償ヲ課セシム

千六百六十六年及全六十七年ノ勅令ニ依リ人民ニシテ家族多キ者ニ
ハ扶持ヲ給與シタリ此勅令ノ主意ハ專ラ宗教ニ原キタリトハ云フモ
ノ、當時農業ノ有様ニ依レハ專ラ人力ニ依リタレモノナレハ人口増
加ヲ保護セシモ大ニ理アルナリ

農業隆盛上最モ著キ標準タルモノハ實ニ牧畜ニアリコルベール氏
ノ能ク知ル所ナリトス夫レ牧畜ハ收穫増加ヲナサシムルノ一原素ニ

レテ又農業者ノ富源タルモノナリ故ニ負債ノ爲ニ動物ヲ取押ユル
 ヲトテ禁レ又千六百六十三年租稅未納者ト雖モ其動物ヲ取押ユル
 テ禁レ若シ之ヲ取押サルヲ得サルノ場合ニ在テハ牝牛壹頭羊三頭山
 羊二頭ハ負擔者ニ殘シ置クヘキトノ制ヲ定メタリ其動物取押上農民
 保護ノ爲メニ制限ヲ設ケタリ
 コルベール氏動物蕃息ニ心ヲ用キタルハ地方官ヘノ回章中現ニ見
 ル所ニシテ千六百六十二年ニハ官費ヲ以テ牛ヲ瑞西國ヨリ綿羊ヲ西
 班牙國フランドル國、英國ヨリ取寄セ内亂ノ爲メニ困難セル農業者ニ
 之ヲ分ク與ヘタリ
 牛ノ分ハ其結果満足ヲ與ヘタリト雖モ綿羊ニ在テハ然ラス當時佛國
 産綿羊ハ甚ク不長ナリシヲ以テ輸入ノ羊ヲ精撰シ巧ナル農業者ニ附
 與セハ第一ニ國産羊ヲ改良シ牧畜ヲ增加シ其利益著大ナルヘキハ勿
 論ナリト雖モ兩ツナカラ其當ヲ得サリシト見ヘ好結果ヲ得サリシハ
 實ニ惜ムヘシ

綿羊種ノ改良ヲ計ルニハ官ヨリ牧羊場ヲ設ケ官史ヲシテ先ツ之ヲ管
 理セシムルヲ實ニ必要ナリシモ當時ハ此点ニ注意及ハス若シ牧羊場
 ヲ設ケ以テ牧羊場ニ種用羊ヲ保存シ適當ノ方法ヲ以テ雜種ヲ作り
 テハ農工業ノ爲メ一ノ獎勵法ヲリシト雖モ其計之ニ出サリシカ爲メ
 ニコルベール氏ノ方法ハ獎勵法ヨリハ寧ロ救助法ニ陷レリト云フヘ
 レ
 又綿羊種改良ノ通々タリシ所以ハコルベール氏見込テ誤マリタルカ
 故ナリ如何トナレハ同氏ハ佛國産ノ羊種不長ナルヲ以テ其改良ヲ計
 ルニ足ラヌトシ其羊毛ヲ精巧羅紗地ニ用ユルヲ禁レ大ニ羊毛ノ販
 路ヲ閉塞シタレハナリ
 コルベール氏施政中此誤アリト雖モ動物上一般ノ進歩ニ付テハ其目
 的ヲ達レタリト云フヘレ
 千六百六十九年以後ハ動物ヲ外國ヨリ輸入セス反ツテ之ヲ外國ニ販
 賣スルニ至レリ

當時外國輸入ノ動物ニハ保護稅アリ内國運輸ニハ課稅ナシ全國動物販賣ハ甚ク自由ナリレモ千六百七十年ニハ已ニ内國ニテ動物需用少ナク其數多キニ過キ農民ノ苦情ヲ聞クニ至レリ

コルベール氏ハ土地ノ小ナル者及農業ノ小ナル者ヲ保護スルニ熱心ナルハ蔽フ可ラサルノ事實ニシテ其一例ヲ舉ケレハフ。ハンフニ於テ地主ノ富裕ナル者貴族ト齊ク鳩舎ヲ設ケンヲ欲レタルモ從來ノ慣習ニ依レハ之レ皆ナ貴族ノ特權ニ歸セシモノナルヲ以テ地方官之ヲ許サズ彼是苦情ノ末遂ニ地方官之ヲ中央政府ニ提出シ裁定ヲ請ヒタリ

コルベール氏之ニ對スル返書中ニ國王ハ強者及有力者ニ對シ弱者ヲ保護スヘキモノナリ云々トアリ以テ氏ノ小民ノ利益保護ニ熱心セルノ一斑ヲ知ルニ足レリ

穀物貿易ハ往時一難問ニレテ政府常ニ之ニ干涉シ其輸出ハ時ト年ニ隨ヒ檢束ヲ業リ千三百四年ヨリ千六百八十九年ニ至ル迄勅令ヲ以テ

之ヲ禁止シタルヲ十六回又之ヲ許シタルヲ十五回トス其他議院地方官等臨時處分シタルヲ甚ク多シ故ニ商業時々變遷ヲ蒙リ隨テ其價額ニ急劇ノ變動ヲ來シタリ且人民モ亦古來ノ愚說ヲ信シ眞理ヲ悟ラサルヨリ議見アルノ人ト雖も往々惑フ所アリタリ

コルベール氏就職ノ當時饑饉ニ際シ之ヲ救助センヲ務メ外國ノ輸入ヲ自由ニシ殊ニ之ヲ搭載シタル入津船ノ噸稅ヲ免シ大ニ之ヲ保護セリ而テ内國ノ商業ニ在テハ固ヨリ自由ヲ與ヘタリト雖も其販賣即取引所ノ個所ヲ定メタレハ實際上甚ク不便ヲ與ヘ其實大ニ檢束ヲ加ヘタルモノナリ又當時佛國ノ穀物產出高ヲ算スレハ常年ニ在テハ別ニ輸出入ニ要セサルモノナレドモ政府ノ干涉ニ依リ急ニ其在高ニ變動ヲ起シ投機商ノ爲メニ往々價格ニ高低ヲ感セシムルニ在リトス然ルニコルベール氏ハ其輸出ヲ制限シ之ヲ輸出スルニハ先政府ノ許可ヲ要スヘキモノト定メタリ尤此檢束法ニ依リ十九年間十三回迄ハ其輸出ヲ許シタレハ實際ニハ寬ナル所アリテ其害ハ内國ニ於テ販賣ケ

所ヲ制限シタルモノ、比ニ非ラサルナリ
 抑コルベール氏ハ爾後穀物政策上ニ非常ノ攻撃ヲ蒙リ氏ノ政策ヲシ
 テ過ラシメタルモノニ個アリ第一ハ當時ノ輿論穀物自由貿易ヲ容レ
 ス穀物檢束説ハ舊來ヨリ行ハレ其勢力甚ク強ク漸ク今日ニ至リ會得
 スルヲ得タル程ノモノニシテコルベール氏ハ之ヲ破フルヲ得ス第
 二コルベール氏就職ノ當時ニ在テハ甚ク民情困難ヲ極メタルノ余リ
 氏ノ慧眼ナルモ世論ノ爲メニ惑ハサレタルニアリトス
 薪炭賣買モ亦穀物ト均シク其制限ヲ受ケタリコルベール氏ハ農業上
 諸種ノ自由ヲ與ヘタリト雖モ農産販賣上ニ其自由ヲ許サ、リシハ實
 ニ遺憾ト云フヘシ
 當時コルベール氏ノ政策ヲ無効トシテ唱道スルモノアリト雖モ實際
 上ニ麥ノ價額ハ壹エクトリトリ、トル(五斗五升余)ハ十七乃至十八法ニシテ
 農業者ニ利益ヲ與ヘタリ
 小作料ハ農業上肝要ナルモノナリハンソリ四世ノ時キ壹エシタリ

(壹丁二十五歩)ニ、年凡ソ八百七十法ナリシカ當ルニ十四世ノ時モ殆
 ト同額ニシテ八百五十法ナリ前代即ルニ十三世ノ時ニ比セハ其價
 貴セル實ニ三分一ナリトス
 馬匹ヲ増シ馬種ヲ改良スルノ必要ハコルベール氏最モ深ク注意スル
 所ナリ千六百六十三年佛國ノ牧馬場ノ景況ヲ調査セシメ全六十五年
 勅令ヲ以テ模範牧馬場ヲ設ケタリ其勅令ニ曰ク既往戰亂ノ爲メニ王
 國ノ牧馬場敗頽シタルヲ以テ今模範牧馬場ヲ設置シ馬ヲ外國ニ仰ク
 一ナカテ種用馬トシテ依リテ和蘭、ダヌマ、ルン國等ヨリ種用馬ヲ購入セ
 シテ以テ其種類ニ依リテ各地方適當ノ地ニ配布セントス種用馬取
 扱ヲ命ゼラレシ者ニハ其報酬トシテ或ル特典ヲ與フヘキハ勿論ノコ
 ナリ又陛下ハ此際牧馬事務長ヲ命ゼテ之ヲ夫々適當ノ州并人民ヲ
 撰メシメ種用馬ヲ配置シタリ種用馬ヲ預ル者ニハ其取扱報酬ノ爲メ
 後見并保管人タルノ義務ヲ免シ牧馬場使用ノ牝馬壹頭ニ付五法宛取
 立ツルヲ許セリ其牝馬并一駒ハ其股ニ王ノ定紋ヲ附スヘシ之ヲ附

レタル牝馬駒ハ政府ニ收入ノ諸税又ハ邑若クハ人民ノ負債ノ爲メニ
 取押ニモヨク許サスト云
 農業獎勵法ノ一部分タル水陸運輸交通ノ便否改良等ノ肝要ナルコ
 ヲベール氏ノ最モ熟知スル所ナリ交通ノ便ナクハ物産容易ニ常用ノ
 地ニ到ラサルニ於テハ賣却者ニ於テ利益ヲ得ル能ハサルハ其移産モ
 亦富ノ部分タルヲ得サレハ勿論ナレハ此交通論ニ付テハコルベール
 氏ハシユリ宰相ノ政策ヲ履ミ舊道ヲ修理シ新道ヲ開鑿セリ氏ノ計
 畫シタル國道ハ漸ク十八世紀ノ末ニ於テ始メテ完成セリ千六百四十
 五年法令ヲ以テ特別ノ土木工師事務掛ヲ設ケ之カ爲メニ持ニ經費ヲ
 設ケグリ是レ實ニ現今ノ土木工師事務ノ原起ナリトス
 商工業ノ事ハ本書ノ範圍外ニ涉ルヲ以テ敢テ此ニ記載セサルモ此二
 業ハ亦農業ニ比シ大ニ優ル所アルヘシト思ヘルナリ
 パロソ、コス、カ、氏ノ商務沿革史ニコルベール氏ノ事業ニ就キ書テ曰ク
 農工商業各運帯レテ離ルベカラサルモノニレテ興廢盛衰ヲ興ニスル

モノナリ故ニ工商ヲ獎勵スルハ農ヲ進ムルノ術ナリ工商ハ人民生活
 ニ欠クヘカラスナルノ物品ヲ産出スルニ必要ノ改良法及勉強力ヲ興フ
 ルモノナレハ自ラ農業上ニ其影響ヲ及ホスヤ勿論ナリト
 コルベール氏ノ時國藝術ハ甚ク幼稚ニシテ止テ舊來ノ慣習ニ依リテ
 行フタルニ過キス故ニ全氏之ニ力ヲ用キテ國藝術ヲ以テ佛國ノ名ヲ
 歐洲ニ轟カレメヨリ該術ヲ進歩セシメタル來歴ノ概略ハ左ノ如ク
 天然ノ風雅ヲ愛スルヤ人ノ性ナレハ花草ヲ悦ブテ最モ甚ク古今
 ナリ間ハ寺院、宮殿、其祭典ノ裝飾ニハ必ス之ヲ用キサルコトナレ然レ
 國藝術ニ至テハ其巧拙自ラ當時ノ開明進歩ノ度ニ隨フコト勿論ナ
 リ而テ此術ハ専ラ天然ニ則リ眞ニ迫ルヲ以テ貴重スルモノナレハ
 其微妙ニ達スルコト又難シ故ニ建築術ノ著シク進歩シタル時ニ在テ
 モ此術ハ其割合ニ高尙ノ域ニ到ラス往古ハピロース、希臘、羅
 馬ノ如キ諸國ニ於テ已ニ文物甚ク進歩シタルモ國藝術ハ其比ニ非
 ラナリシナリ

パピロニア國ノ花園ハ美麗ニシテ其術微妙ノ域ニ達シ希臘人ハ之ヲ稱シ世界七不思議ノ一トセシモ古來ノ言傳ニシテ信スルニ足ラズ有名ナル希臘ノ詩人ヘロドトスハパピロニア國ニ遊歴シタルモ曾テ之ヲ許シタルヲナレ要スルニ該國ノ園藝モ亦沙漠中ニ一ノ豐饒地アリテ花草優美ナルヲ見テ許シタル言傳ナルヘシ

パピロニア國ハ土質氣候ノ点ヨリ云ヘハパピロニア國ニ優リタル所アリ眞ニ花園ト稱スヘキモノモアリタルト氣候ノ好キカ爲メニ花草樹木能ク繁茂シタルモノタルニ過サルヘシ

希臘國モ亦タ全國人ノ著書等ニ依リテ考レハ其園美ト稱セシモノモ唯タ柘榴、無花果、橄欖、葡萄、蔬菜ヲ植附ケ灌溉ノ法ヲ設ケタルニ過キス

羅馬國ニ於テハ美術盛ニ行ハレグレハ其裝飾花草ヲ用レタリ又羅馬人ハ特ニ農業ヲ愛シ兎角ニ田圃ノ間ニ居住ヲ爲セリ羅馬ハ草木ヲ愛スルヲ甚シ遠國ニ往テ之ヲ求メテ移植シタルモノ多シ桑樹ハ

パピロニア國ヨリ葡萄樹ハ亞細亞産ニシテ希臘、埃及ヨリ輸入セリ埃及即佛國ニハ野生ノ葡萄ヲクロシス河ノ水岸ニ生長シキヤ人ノ更ニ栽培葡萄樹ヲ輸入シテハ紀元前六百年ノ交ニアリトス埃及人ハ葡萄栽培術ヲ以テ己ニ其名高シ葡萄樹ノ發明ハ同國人ニアリト云フ且ツコシラニス地方製造ノ白葡萄酒「キニール」酒等ハ専ラ世人ノ嗜好スル所タリ

其後蠻人ノ侵入ヲ蒙リ羅馬ノ文明モ破壞シタレハ農業ヲ愛スルノ風全ク拋棄シ隨テ園藝術モ進歩スルヲ能ハス唯タ僅ニ其術ノ命脈ヲ維持シ十三世紀ノ交ニ至リタルハ獨リ僧侶ノ力ナリトス僧侶ハ寺院内ニ花草菓樹栽培ヲ以テ樂ミトナシタレハ往古ヨリ傳來レタル農工業ニ關スル方法モ亦タ彼ノ力ニ因ルト云フヘシ

抑佛國ニ園藝術ノ行ハル、ニ至リタルハ實ニ十三世紀ノ交ヲ以テ始メトスサン、ル、王殊ニハンリ、五世ノ朝ニ在テハ王宮ノ庭園ニ葡萄、蔬菜菓樹ヲ栽培シタリ

面テ園藝術ノ具ニ佛國ニ行ハレ其巧拙ヲ論スルニ至リタルハ佛人伊
 太利國ニ戰入レ全國ノ園藝ノ盛ナルヲ見テ大ニ其志惹起シタル
 ヲアリホントテヌプロシヤンポール、シユノンノ園ヲ設ケタル即チ
 此時ニアリトス伊太利風ノ園藝ハ先ツ園地ニ大區畫ヲ定メ並木ヲ植
 ヘ生垣ヲ作り園亭ヲ造リ泉水噴水ヲ設ケ岩石ヲ交ヘ少シク風雅ヲ帶
 フルノ趣向ナリト雖モ概テ雅致少クテ兎角畫一ノ風アリトス而テ佛
 人ト和蘭人ノ此術ニ巧ナルヲ知ラス漸ク十六世紀ノ末ニ至テ之ヲ知
 リ佛國ニ於テ此術ヲ盛ニ研究シ舊慣ヲ一變シタルハド、パリシイ氏等
 ナリトス氏ハ和蘭國ノ園藝術進歩ノ有様ヲ始メテ世人ニ知ラシメ且
 園藝ニ關スル著書ヲ爲レ園藝改良ノ方法ヲ廣ク教ヘタリ當時ノ王
 亦此術ヲ愛シ大ニ獎勵保護シ降テルノイートル及テ、ヤンナニイ氏出テ
 園藝術ヲ改良シ大ニ進歩ヲ計リタリコルベール氏ハ兩氏ノ伎倆且人
 爲ヲ熟知シレリキ十四世ニ勳メタル、ノイートル氏ニ命シテベニヤイコ
 宮殿ノ周圍ニ園ヲ造ラシメノヲ以テセリ王之ヲ許レル、ノイートル氏

チシテ其計畫ヲ爲サレメタリ此宮園ノ名ハ昔一佛國ニ止マラス歐洲
 ノ各國ニ聞ヘギリルノイートル氏計畫少ク裝飾ニ過キ雅致ヲ失シタル
 様ヒアリト雖モ兎ニ角一機軸ヲ出レ之ヲ以テ佛風ノ園ト稱セリ而シ
 テ英、獨、伊ノ諸國等フテ之ヲ作ラントシタル、ノイートル氏ヲ聘シテ各國
 ニ公園ヲ造リタリ

コルベール氏ハ園藝ヲ昔ク人民ニ知ラレメント計ラテ、ヤンナニイ氏
 チシテベールサイユ及トリヤノレニ於テ王有ノ花園ヲ作ラシメタリ且
 果樹、花草栽培ニ關スル著書ヲ著サシノ千六百八十年之ヲ發刊セリ
 以上コルベール氏ノ行政ハ賢明ノ政事ニシテ逸統多シト雖モ亦欠点
 ナシト云フチ得ヌ末年ニ至リテハ平素ノ方向外レ財政困難ノ爲メニ
 止ムヲ得ヌ高利國債ヲ起シ歳入税ヲ早ク徵集シ或ハ不勳產ヲ讓リ
 渡シ赤心報國ノ志ヲ以テ計畫シタル農業振起事業モ自ラ之ヲ破壞セ
 サルヲ得サルニ至レリ抑コルベール氏チシテ新クノ如キ有様ニ立至
 ラシメタル所以ノモノハ大ニ其原因アルナリ千六百七十年後年費滋

王ノ奢侈ヲ増シ財政上平均ヲ失シ財政困難愈々増加シ公明正大ノ
 政務ヲ以テ之ヲ維持スルニ苦ミ税額益々重キテ加ヘ徵収先ヲ争ヒ翌
 歳ノ産出資本ヲ欠ク程ニ至レリ地租歳入其額ヲ減シ國費ノ求ニ應ス
 ルニハ愈々重税ヲ課セサルヲ得ス印紙税ヲ設ケ煙草及鹽稅ヲ増シ不
 産賣却讓渡稅ヲ新設セリ千六百七十五年地方一揆ヲ起シ千六百八十
 年ニ至リ地方ノ困難名狀スヘカヲサルコト陷リ耕地已ニ荒地ニ化シ村
 落ニ人跡絶ユルノ慘狀ヲ呈シテコルベール氏大ニ憂歎シテ曰千六
 百八十一年經費豫算ヲ作ルニ方リ大ニ熟考ヲ要スヘキモノハ人民ノ
 困難ナリ地方收稅官其他人ノ報スル所皆之ヲ歎訴セサルハナシト
 然ルコルベール氏ハ固ヨリ此税額増加ナカランコトヲ勉メサルコト
 ス氏ノ力ノ及フ所ヘ百方之ヲ盡シタルモノナリ夫レ重税ヲ減レ邑ノ
 負債ヲ消却シ地稅ヲ改メ運輸ノ便ヲ増シ賭博ノ稅率ヲ改正レテ要
 スルニ其事業一トシテ農民ノ利益ヲ計ラサルコトナシ斯クテ國ノ組織
 ヲ一變セント企圖セシト雖ヒ舊來ノ組織ニ因リテ存スル所ノ權理ノ

不同、免稅及特權ヲ被棄スルコト能ハスコルベール氏ノ如シ此困難ノ事
 業ニ深ク力ヲ盡シタル者ハ未ダ曾テ非ラサルナリコルベール氏ノ豪
 傑ナルモ其抵抗甚レキカ爲メ遂ニ其目的ヲ達スルヲ得ス後進ノ人モ
 亦コルベール氏ノ同轍ヲ履ミタルモノ多シ其弊ヤ愈々極端ニ進シ一大
 革命ヲ起シ社會ヲ一變シ封建政度モ全ク廢滅スル所トナレリ
 コルベール氏執政初年ニ於テハ施行ニ制肘セラル、ノ不自由ナク充
 分其力ヲ用キ國ノ富源ヲ増加シタルヤ前後未ダ曾テ之ヲ見サル功績
 ヲ顯シタルモ其末年ニ至テ農業ヲシテ慨然ノ狀態ニ陥ラレメタリ
 コルベール氏ノ人ヲ用キルニ注意シ各事務專任者ヲ置キ分業ヲ以テ
 施政シタル實ニ氏ノ賢明ニアラサレハ能ク成シテハサルモノナリ
 然ルニ此賢者死シタル後ハ此善良ナル組織悉ク破壞シタルハ甚ク惜
 ムヘシ
 コルベール氏ハ千六百八十三年ニ死去セリ其末年ニ至リテハ嫉妬心
 ヲ抱ク者アリタルコト王モ遂ニ之ヲ用キラントシ氏モ亦政務意ノ如

のナラヌ而テ氏病床ニ臥レタル時ニ於テ王始メテ其非ヲ悔ヒ使者ヲ
 遣シ一書ヲ寄セ宰相ニ説ク所アラントモシモ宰相之ヲ謝絶レテ受ケ
 ヌ遂ニ逝去セリ
 當時佛國人民ハ無智ニレテコルベール氏ノ眞ニ國家ノ爲メニ學生ノ
 カチ尽シ民利ヲ計ルニ於テハ往々王憲ニ反對シタルヲ多シト雖モ亦
 ヲ氏ノ意見行ヘンサルヲ少シトセサルヲ職ヲス課稅ヲ重シ或ハ外戰
 チ起シ國益ヲ損シタルヲアルヲ以テ其罪ヲ悉ク宰相ニ歸シ遂ニ人民
 ノ氏ヲ見ルコト警歎ノ如ク其遺骸ノ葬送モ漸ク夜中ヲ以テ施行シタル
 カ如キ危險ノ有様ナリシハ實ニ人民ノ無智甚レキモノヲ表スルニ足
 レリト云フベレ
 然ルコルベール氏政策中商工業者ノ最モ贊成シタルモノニアリ一ハ
 商工會同組合ノ制ヲ改良擴張シタルニアリ抑モ此組合ナルモノハ歐
 洲固有ノ制ニシテ往古澳廬及日耳曼人種中已ニ起因レ政事上其働ヲ
 爲シタルヲ多シ而テ此制ハ中古商業取引上ニ行レタル詐偽、偽造ノ如

キ言フヘカヲサルノ弊害ヲ防止矯正スルニ於テハ最モ必要ナリトス
 依テコルベール氏モ亦此制ヲ利用擴張シ以テ商工ノ改良ヲ計リタ
 レニアリ而テ當時ノ論者中此職業組合ハ職業ノ自由ヲ奪ヒ諸職業進
 歩ヲ妨害スルヲ以テ廢除スヘキノ説ヲ主張シタル者アリト雖モ漸次
 經濟學進歩シ人心モ亦大ニ改良ノ途ニ就キタル時ニ在テハ固ヨリ有
 害物タルヤ勿論ナリト雖モコルベール氏ノ執政當時ノ如キ狀態ニ在
 テハ甚ク必要ノ制ト云フヘシ又一ハ此制度ヲ維持セハ廉價、學識、財産
 ヲ有スル者其組合ノ頭トナルヲ得其レヨリ尙進シテ其都府ノ政務ニ
 與リ遂ニ貴族ノ地位ヲ占ムルノ便宜ヲ與ヘタリ故ニ商工中此制ヲ維
 持或ハ擴張スルヲ以テ必要トセリ
 コルベール氏ハ商品ニ保護稅ヲ課セリ然レ當時ニ在テハ亦必要ノ政
 策ナリ佛國ノ工業未ダ幼稚ニシテ之ニ必要ノ資本ヲ與フルニハ亦タ
 此政策ニ出サルヲ得ス而テ其保護稅ト雖モ既往ノ如ク専ラ徵稅收金
 ノ主義ニアラスシテ國ノ生産ヲ増加スルヲ以テ目的トセリ

サシ、レモン氏ハル、十四世ノ朝ヲ評スルニ最モ酷ナル人ナリレモ
 コルベール氏執政ノ時ヲ評シテ曰ク國中悉ク隆盛ナラサルナレ悉ク
 富裕ナラサルナシコルベール氏ハ財政、航海、農工商、工業、文學ヲ實ニ
 極度ニ達セシメタリト實ニ然リ佛國未ダ曾テ千六百七十二年ノ如キ
 地位ヲ占メ隆盛ニ達シ權勢ヲ盛ナラシメルコトヲサルナリ
 コルベール氏ノ美德ト云フヘキモノハ國家ノ爲メニハ身ヲ忘レ專ラ
 謙讓ノ義ヲ守リタルニアリト善事ハ細大トナク悉クルニ王ノ功
 徳ニ歸レ難事ハ自ラ其責ニ當レリ日夜佛國ノ隆運ヲ務ムルヲ以テ己
 カ任トセリ氏ハ真ニ一大政事家且事務家ニシテ愛國心ニ厚キ宰相ニ
 レテ實ニ一國宰相ノ鑑トナルヘキ人ト云フヘレ惜イカナルニ王
 ハ末年ニ至テ宰相ノ意見ヲ用キス又其政策ヲ維持セシ佛國モ亦幸福
 ナ全フスルコト能ハスレテ止スルハ
 千六百年乃至千七百年
 コルベール氏死シテヨリ政務圓滑ニ運轉セシ大臣中屢々交代アリ財政

漸次困難ニ赴クニ際シ戰闘起リ國費多端ヲ極メ之ニ充ルニ課税ヲ以
 テシ尙ホ足ラサルヲ以テ遂ニ證書類ニ登簿税ヲ新設シ其收税ノ多キ
 ナ欲シ小作約束書ノ如キハ其書替ヲ毎九ヶ年以内トナシ急農民ノ負
 擔ヲ増加シタルノミナラス小作期限ノ短少ナルヲ以テ小作人永遠ニ
 其土地ヲ改良スル者ナキニ至ラシメタルハ農業ヲ萎靡衰頹セシメ
 ル一大原因ナリトス
 此登簿税ノ外ニ農業ヲシテ困難ナラシメタルモノハ一ニレテ足ラズ
 ト雖モ其重ナルモノハ穀物貿易ヲ檢束レ戰亂ノ爲メニ多數ノ農夫ヲ
 失シ農業ニ従事スル者ニ欠乏ヲ生シ千六百九十二三ノ兩年不作打續
 キ國ヲシテ益困厄ニ陥ラシメタリ
 全九十三年ノ如キハ不作ノ爲困難ヲ極メタルヲ以テ急穀物貿易ニ種
 々ノ檢束ヲ加ヘタルカ爲メニ農民田圃ヲ棄テ去リ野ニ耕ス者ヲ見
 ラントスルニ至リ漸ク其制度ノ惡キヲ悔悟レ此制限ヲ寛クシテ耕作
 ナ獎勵セントセリ而テ穀物ヲ亞非利加ヨリ購入シ底價ヲ以テ人民ニ

賣却シタルモ之ヲ全國ニ及ホヌヲ得スシテ其實効ヲ見ス千六百九十
 九年ニ至リテ穀物貿易ヲシテ稍々自由ナラシメタリ
 此時ヨリ植物園ノ範圍ヲ大ニセント計リシールノモルニア細亞
 ニ遣ヒ植物ヲ講究セシメ多種ノ草木ヲ輸入セシメ是ヨリ後ニ植物學
 益進歩ノ途ニ就ケリ
 千六百九十七年ヲ以テリスウヰンノ和議成リ佛國ノ困難已ニ極度ニ
 達シタルノ時ナルヲ以テルノ王ノ救濟セントシ委員ヲ命ジテ民
 情ヲ調査セシメタリ
 シヤミヤール氏ノ大藏大臣ニ任セラレタルハ千七百年ナリトス而テ
 當時佛國人民ノ減少シタルノ凡ソ三百万人ナリト云ヘリ是レ皆テ戰
 争、饑饉、重稅ノ爲メ舉テ國ヲ疲弊セシメタル慘狀實ニ此ノ如シ
 貿易上種々ノ制限アリテ壘糸ノ如キハ之ヲ賣却スルニ一旦必ス里昂
 府ニ輸送セシメ以テ課稅スルノ法ヲ設ケタレハ地方人民ハ里昂府ノ
 商人ノ爲メニ其利益ヲ占有セラレ養壘家ニ利潤少ナキニ依リ其產出

高漸次減レタリ故ニ壹万八千基ノ權ヲ減レテ僅カニ四千基トナスニ
 至レリ
 當時農業ノ有様ハ殆ト千六百六十一年ト相同トシ雖ルコルベール氏
 ノ如キ宰相ノ在ラシレハ之ヲ救濟スルニ於テ其事情大ニ異ナル所ア
 リトス
 小作期限ノ檢束ハ千六百九十八年及千七百十三年ヲ以テ之ヲ寬メタ
 ルハ實ニ農業ノ爲メニ一大幸福ト云フヘン
 シヤミヤール氏就職後熱心シテ農商ノ業ヲ保護シタルモ才學ノ充分
 ナラサルヲ以テ意ノ如クナラヌ途ニ己レノ短所ヲ悔悟シ新ニ商務局
 ヲ設置セリ是即チ農商工務省獨立ノ原始ト云フヘシ
 千七百年乃至千七百四十五年
 商務局(農務ニ合有ス)ハ千七百年ヲ以テ設置レ之ヲ組織スルニ左ノ如
 大藏大臣シヤミヤール氏ヲ始メ高等官五名外ニ農業監督官二名及

民撰商人十二名書記一名トス

負債ノ爲家畜ヲ取押ユルコトノ禁制ハ一旦廢止ニ歸レタルヲ當時之ヲ再禁シ農民少シク保護ヲ受ケントスルニ際シ戰亂起リ農家ノ負債ヲ増シ財政困難ノ余リ政府許多ノ紙幣ヲ發行シ經濟上變動ヲ生シ商業ヲ攪亂シ國利ヲ害シ之ニ次テ千七百九十年大饑饉ニ會シ農民急疫災ヲ納稅ノ爲メニ家畜ヲ賣却シ而テ麥食ニ易ユルニ肉類ヲ以テシ屠畜愈繁ク之カ繁殖ノ道ヲ欠キ家畜欠乏ノ狀ハ漸ク數十年ノ後ニアラザレハ之ヲ恢復スルコト能ハサルニ至レリ

當時見ルヘキモノハ唯ク蠶種牧養ノ一事ニアリトス抑モ此蠶ナルモノハ佛國ニ産スル年已ニ久シト雖モ其品質ニ至テハ遠ク西班牙産蠶ニ及入ス而テ蠶ヲ佛國ニ輸入セレハ伊國ニアリ伊國ハ亦之ヲ亞細亞地方ヨリ輸入シタルモノナリ又西班牙産ハ其形體種類ヲ異ニレ品質善良ナリト雖モ該國獨リ之ヲ特有シテ濫ニ外國ニ輸出ヲ許サズ然レテヒリッゾ五世王ノ時政略ノ關係ヨリテ遂ニ之ヲ佛國ニ輸出スルヲ

許シタリ依テ之ヲ佛國南部ニ移シ養殖ヲ計リ好結果ヲ得タリ戰亂又ハ饑饉ノ爲メニ耕地ハ化シテ荒蕪ノ地トナルモノ多ク之ヲ恢復セシトシテ免稅ノ制ヲ布キタルモ農家疲弊ニ際シ收稅官ノ濫計ヲ行ヒ又戰爭後地方ニ傳染病發生シ動物ノ死スルモノ多ク其死体往還ニ横リ腐敗シテ臭氣鼻ヲ突クニ至レリ農民ハ慘狀ヲ極メ容易ニ其目的ヲ達スル能ハス千七百十四年ヲ以テ始メテ佛國ニ動物取締法ヲ設ケズリ是即チ動物衛生規則ノ發端ナリトス

斯クタルニテ十四世ハ全十五年ヲ以テ崩レ其孫繼テ位ニ即ク此時宛モ佛國ハ財政ニ困難ヲ極メ殆ト滅亡ノ景狀ナリキ當時佛國ノ困難ハルニテ十四世專制ノ惡結果ニシテ專制政体ヲ改メ合議政体トシテ政事上大革改アラント全國民ノ渴望スル所トナルヲ以テ彼ルニテ十五世ノ位ニ即クヤ直ニ其端緒ヲ開キタリ大藏大臣ノユル公ノ如キハ農民ノ疾苦ヲ除キ收稅官ノ弊害ヲ矯正シ殊ニ課稅法ヲ公平ナラシメント企圖セリ是即チコルマール氏ノ當テ計畫セルモ

ノヲ舉行セントシタルモノニシテ千七百十七年ヲ以テ遂ニ之ニ著手セリ而テ此改正ハ固ヨリ輿論ノ贊成スル所ナリト雖モ特權ヲ有スル人民中大ニ苦情ヲ惹起シ殊ニ都鄙ノ區別ナク悉一ノ法ヲ以テ之ヲ改メントシタルカ如キハ實際ニ於テ不都合ヲ生シ折角ノ法案モ遂ニ成ラス公モ亦其職ヲ辭レタリ

ルイキ十五世未ダ幼冲ニシテ政務ハ攝政官ノ專ラ左右スル所ナリ而テ英人ロイ氏來リテ攝政官ニ説テ一銀行ヲ設立セシメタリ其法ハ信用ヲ以テ根據トシ銀行券ヲ發行シ最初ハ甚ク愛價ヲ得タリシモ既ニ零流通ノ額多キニ過キ經濟上非常ノ激動ヲ生シ物價ヲ騰貴シ投機ノ風ヲ流行セシメ財産家又ハ貴族中矢敗ヲ取ル者多ク其財産ヲ取還サントシテ農ニ歸スル者亦多シ其他經濟變動ノ爲メニ急ニ富家トナリタル者アリテ土地ヲ購入シ農事ニ資本ヲ注入スルヲ勸メトセシメ依之暫時ニシテ地方ニ人力、智力、資本ノ三ツノモノヲ輸入シタルヲ以テ農業ニ亦一大變動ヲ起シ舊來ノ陋習ヲ破リ新空氣ヲ注射シ其効二十年

乃至二十五年後ニ至テ大ニ之ヲ見ルヲ得タリ是レ不幸ヨリ起因レタル幸福ニシテ農業ヲ進メ農學上ニ新發明アリテ人民ヲシテ農事ヲ敬愛スルノ氣風ヲ生セシメタルハ國ヲサルノ幸福ト云フヘシ

千七百二十四年前ハ商務官ハ總テ六名ナリシニ此年減シテ四名トヒリ此事務官ハ商務ノ名稱アリト雖モ大藏、州政、邑政、土木農商工務警察ノ事務ヲ擔當セリ然レモ四名各事務ノ種類ニ依リテ分擔セシメテ全國ヲ分ケテ四部トナレテ各自其一部ヲ總轄スルノ制ナレハ各自各種ノ事務ニ熟練ヲ要スト雖モ固ヨリ是レ至極ノ業ニシテ前後三四名ヲ除クノ外ハ能ク此任ニ堪ルモノナカリキ

此四名ノ商務官事務ノ順序ハ其必要ト認ムル事項ヲ取調ヘ議案トナシテ政府ニ提出シ或ハ商務會或ハ商務高等會ヨリ特ニ命セフレタル事項ヲ取調スルニアリトス毎週二回商務官ハ大藏大臣及海軍大臣(海外貿易ヲ擔任ス)ト會議ヲ開ク之ヲ名ケテ商務會ト稱セリ商務會決議ノ議案ハ更ニ商務高等會ニ提出ス高等會ニテハ國王、大宰相、大藏大臣、

海軍大臣、財務官、參事院議員等ノ議スル所ノモノナリ而テ四名ノ商務官中一名ハ議案ノ報告員トナリ他三名ハ臨席スルヲ得レトモ投票權ヲ有セサルモノトス

又事件ノ輕重ニ依リテ國家ニ關スル重大ノモノハ高等會ヨリ更ニ王會即内閣會議ニ提出ス内閣會議ニハ國王大臣ノミ議事ヲ爲シ議案報告員ハ議案提出ノ大臣自ラ其任ニ當ルモノトス

大臣ノ發議權ハ止マ間接ニ之ヲ有スルノミニシテ其主務ハ會議ノ決議及王命ヲ施行スルニアリトス當時ノ政度幾ント現今ノ制度ニ相類似ス高務會及高等會ハ即テ現今ノ參事院ノ部會ニ相當シ王會ハ今ノ内閣會議ニ相同シ又大政ノ議事權ハ不完全ナカラ當時議院簿ニ登記セサレハ之ヲ施行スルヲ得サルノ制ナリキ斯クテ中央政府ノ政務ヲ立法行政ノ二部ニ斷然區別シテ其分界ヲ正確ナラシメント試ミタルト已ニ政度ナリト雖ハ遂ニ彼大革命後ニアラセレハ之ヲ確定スルヲ得ザリキ

財政ハ困難ニ陥リ費途多端ナルニ隨ヒ徵稅ヲ繁クシ殊ニ千七百二十年ノ如キハ農業甚ク不作ニシテ餓饉ニ迫ルモノ多ク政府モ亦饑飢シテ施政ノ方向ヲ變リ復々穀物商業ヲ檢束セリ而テ國庫ノ欠乏ヲ補充セントシテ更ニ所得ニ五十分一ノ稅ヲ課シ農民ハ負擔ニ堪ヘズ還ニ地方ニ騷亂ヲ起セリ當時中央政府ノ權力己ニ微弱ニ傾キ地方官殊ニ稅稅官ノ如キハ私欲ヲ恣ニシ人民ヲ虐待スルヲ多ク然ル其間農民ノ負擔ヲ減却セントシ租稅ヲ減シタルヲアリタルモ其後間モナク賦役ノ制ヲ設ケ大ニ道路ヲ改築セシメテリ現今佛國善良ノ道路ヲ有スルモ畢竟此壓制ノ賜ナリト雖モ人民ノ迷惑實ニ之ヨリ大ナルモノナシ依テ農民等苦情ヲ訴ヘ還ニ一揆ヲ起シ甚ク不穩ナリシモ威力ノ爲メニ一時之ヲ壓服セラレタリ然ル此壓制ハ實ニ農民ノ肺肝ニ徹シ永ク記憶シテ決テ忘レサル所トナリ是ヨリ王權ヲ嫌惡スルヲ急シ甚ク彼ノ大革命ノ如キモ大ニ此ニ原因シ農民ノ王位顛覆ノ際其口實トシタルモノ、中重ナル一ヶ條トハナレリ

動物傳染病豫防令ヲ發シタルハ千七百三十九年ノ交ニシテ當時オ
 ングリイ國其他ノ邦ニ牛疫蔓延シ佛國ニ侵入ノ恐アルヲ以テ特ニ法令
 ナリ發シテ外國輸入動物ニ取締法ヲ設ケタリ然ルニ千七百四十四年佛
 國ノ南方ニ牛疫病ヲ發生シ其勢猛烈ナルヲ以テ遂ニ調査委員ヲ設ケ
 醫師、獸醫、植物學者ヲ以テ之ニ撰任セリ
 ユルベール氏ノ後ハ農業ノ利益ヲ重シレ之ヲ保護スル者甚ク稱ニシ
 テ幾ト放棄ノ姿ナリシモ漸ク千七百四十五年ニ至テ數名ノ執政者出
 テ局務ニ當リ五十年間未ダ會テ見サル所ノ活動ヲ起シ大ニ農商工ノ
 面目ヲ晦メ之ヲ進歩セシメタリ當時大藏大臣ハマシヨール氏ニシテ
 ドライデース氏ヲ擧テ之ヲ商務局ニ任用セリ氏ハ學識智力ニ富ミ同
 局ニ於テ大ニ勢力ヲ得タリ而テ氏ノ主義トスル所ハ裁判ヲ公平ニシ
 兼、其ノ道路ヲ築キ安全ノ港ヲ設ケ便利ノ運河ヲ開鑿セハ佛國ノ富ハ
 己ニ成レルモノナリト云フニアリテ其施政ノ目的モ亦實ニ此外ニ出
 ズ氏就職ノ初メ動物傳染病ノ流行シタルヲ以テ委員ノ報道ニ據リ其

取締法ヲ定メ千七百五十一年ヲ以テ醫術ノ外科大學ヲ設ケ全七十六
 年醫術內科大學ヲ設ケ全七十八年兩大學ヲ合シテ更ニ醫術大學ヲ設
 置セリ是ヨリ佛國ニ醫術ノ進歩甚ク著シク遂ニ其光榮ヲ諸國ニ傳カ
 レタルハ氏ノ効ナリト云フヘシ
 ド、グー、マ、チ、氏、モ、亦、タ、果、ク、ラ、レ、テ、商、務、局、ニ、出、テ、一、新、主、義、ヲ、呈、出、シ、タ、リ
 其要領左ノ如シ

- 一 舊來ノ陋說ヲ破リ政府ノ權ニ民業ニ干涉スルコトヲ制限シ政府ノ
 民業ヲ獎勵スル主義ノ妄ヲ辨シ以テ農工商ノ諸業ニ自由ヲ與フ
 べシ
- 二 諸物品賣買ニ最モ大ナル競争ヲ讓レ是ヨリ製造ヲ益々進歩セシ
 メ又購求者ヲシテ諸製造品ヲ成ルヘク安價ニ得セシムル爲メニ
 政府ノ諸官吏ニモ事業ヲ起スノ自由ヲ與フルコト
- 三 物品ノ販路ヲ開クハ營業者ノ勞ニ報ニル第一ノ方法ニシテ生産
 ノ目的モ亦タ此報酬ヲ得ルニ外ナラス而テ此生産力ヲ發達スル

モ亦此方法ニ據ルヘキモノナレハ商品賣主ノ爲メニ諸種ノ販路
ヲ開キ以テ購入者中成ルヘシ競争者ヲ多カラシムルヲ
四收益ノ區域ヲ縮メ又ハ利益ノ正確ヲ失ハシメ遂ニ諸業ノ退歩ヲ
促スヘキ障碍ヲ除去スルヲ

グーレルチ氏ハ彼ノ有名ナル格言即チ「事ハ自然ニ任スヘシ」トノ放任主
義ヲ取りタルモノナリ

氏ハ諸製造制限則チ廢シ貿易禁止稅ヲ止メ其他商業ノ自由ヲ檢束レ
物品需用ノ區域ヲ制限スヘキ諸稅ヲ廢止シタリ

氏ノ意見ニ依レハ麥及貨幣モ亦他ノ物品ト齊ク商品ニシテ其輸出入
固ヨリ自由ナリトシ又金銀貸借ノ利息ノ額モ亦自由ニシテ政府ノ干
渉スヘキモノニアラズトセリ

然レグーレルチ氏ハ政府ノ干渉ヲ以テ商工業ニ對シテ決テ無効ノモノト
セス政府ヨリ出ス所ノ獎勵金ノ如キハ氏大ニ贊成スル所ナリ氏曾テ
思ヘラシク政府ハ決シテ民業ヲ妨クヘカラサルハ勿論ナリト雖モ事業

家ニ事ヲ教ヘ又ハ之ヲ獎勵スルハ其任ナリト然レモ其事業ヲ統理ス
ルハ政府ノ任ニアラス何トナレハ官吏如何ニ能ク智識ヲ具備スルト
雖モ其事業ノ利害ニ至テハ其事業家ニ任リテ能ク之ヲ判斷指揮スル
モノハアラサルヘレ又獎勵金ノ如キハ氏ノ大ニ贊成スル所ナリト雖
モ政府舊來慣習ノ如キ之ヲ保護金或ハ獎勵金ト稱シ前以テ與フルカ
如キハ甚テ非ナリ之ヲ與フルニハ宜シク時機ヲ計リ其成效ヲ賞スヘ
シト云ヘリ

グーレルチ氏就職後ハ彼ノ親敏ナルチユルゴー氏ヲ擧テ之ヲ商務局ニ
用キ次テ亦經濟學者ホルボンチー氏ヲ任用セリ依テグーレルチ氏ノ事
業ヲ補佐スル者ハ皆當時ノ學識有力者ニシテ大ニ施政ノ面目ヲ一變
シ加フルニ野ニ在テハケスター氏出テ其經濟主義ヲ講シ歐洲各國ニ
經濟上ノ思想ヲ發達セシメ大ニ好結果ヲ得殊ニ佛國ニ於テハ專ラ其
説行ハレタリ故ニグーレルチ氏ノ施政ハ野ニ在ルケスター氏ノ助力ヲ
受ケタルヲ甚テ多シトス

天ノ英傑ヲ生スルヤ之ヲ生スルハ必ス類アリ決シテ一二名ニ止マ
 ラサルカ如シグーニルヲ氏出テヨリ類ニ人物ヲ輩出シ遠ニ
 フロイホルテール諸氏ノ如キ哲學者詩人ノ大家ヲ出シ其詩文著書中
 ニ往々農業ノ貴重ナル事ヲ述グレハ一ニハ農民卑屈ノ心ヲ破リ進取
 ノ氣象ヲ起シ二ニハ國民ヲシテ農業ヲ敬愛セシメ殊ニ財產家ヲシテ
 自ラ之ニ從事スルノ氣風ヲ生セシメ以テ冥々ノ中ニ人心ヲ驅テ農業
 進歩ヲ助ケタル極メテ大ナリ
 農業ノ進歩ヲ計ルニハ學問ノ力ニ據ラサレハ發達セサルハ勿論ナリ
 而テコルベール氏已ニ千六百六十六年ヲ以テ諸國大學ヲ設置シ爾後
 學術大ニ發達シ化學植物學モ著シ進歩シ彼ノ有名ナル植物學者ビコ
 ホン氏ハ植物園總理ニ任セラレ醫科藥劑學校ノ外匠ニ農學校ヲ設
 立セリ此植物園ハ王室ノ所屬ニレテ此學校設立以來農業ノ進歩實ニ
 著大ナリ當時人心最モ農業ニ熱注セシヲ以テ農事ノ著書續々發刊ア
 ルカ故ニ往々此傾向ヲ非難シタル者アリタルノ勢ナリヤ

グーニル氏施政ノ第一若ニ當時農商工業ノ狀態ヲ調査セシメテ又
 舊來困難ノ問題タル穀物商業ニハ全ク内外ニ對シ自由ヲ與ヘテ尤
 其間或ル制限ノ設ケナキニアラスト雖ハ是レ氏ノ主義ニアラス商務
 局員中異論アリテ之ニ幾分ノ歩ヲ譲リタルニ過ヤルナリ
 氏ハ固ヨリ自由主義ヲ取ル者ナレハ舊來諸國ノ結社組合ノ如キハ甚
 タ欲セサル所ナリ然レハ商法會議所ノ如キハ最モ其必要ヲ知リテ千
 七百年ヨリ全十四年ニ至ル迄屢勅令ヲ發シ佛國ノ重ナル都府ニ之ヲ
 設立セシメタリ
 有識者ノ結合即チ博識經驗家會ハ學術ヲ進ムルニ最モ必要ナルヲダ
 ーレテ氏ノ特ニ知ル所ニシテ此集合体ヲ以テ方今農事ニ利用シ之ヲ
 各地方ニ設置シ農業ノ景況農民ノ事情ヲ時々政府ニ報道セシメ學理
 及諸種方法ニシテ農事ニ係ル新發明ノ件ヲ普ク地方ニ知ラシメ農民
 ノ利益ヲ計ラシメント企圖セリ而テ千七百五十六年ヲ以テ始メテ此
 目的ノ會ヲフンヌニ開キ農工商業ノ改良進歩ヲ計ラント試ミタリ此

會ヲ名ケテ「ブルトン」會ト稱セリ是即佛國ニ於テ農會ノ起リナリトス
 グール子氏ハブルトンキニ於テ已ニ農會組織ニ好結果ヲ得タルヲ
 以テ益之ヲ擴張センコトニ熱心シ千七百五十七年ヨリ全六十年ニ至ル
 迄數個所ニ之ヲ設置セリ而テ從來巴里ニ農會ヲ設クント企望スモノ
 多シグール子氏モ亦之ヲ贊成シ其準備ニ着手セリ然レトモ氏嘗テ惟ラ
 ヲ巴里ニ農會ヲ設クニハ宜ク其効力ヲ全國ニ發揚セレハル程ノモ
 ノニアラサルヘカラス而テ其目的ヲ達スルニハ巴里近傍ノ實業家ノ
 ミチ以テ之ヲ組織スヘカラス必スヤ佛國ニ於テ秀逸ノ農業者及學者
 ヲ撰拔シ以テ組成セスンハ非サズテ信シ自ラ有名ノ人物ヲ訪問稟
 シ着々準備セシモ終ニ其業ヲ遂ケスレテ死セリ然ル幸ニドリーニ
 ーヌ及チユルゴー氏其計畫ヲ繼テ遂ニ其目的ヲ達セリ
 巴里農會ハ千七百六十一年ニ設立シ始メ本會ヲ分テ四部トナレ後テ
 遂ニ十一部ニ分テ各專務ニ任シ農業實地上ノ事ヲ研究シ其事業ヲ刊
 行シ農業者ノ爲メニ參考トナルヘキ事項ヲ編纂シ以テ創立ノ初ヨリ

己ニ農民ニ利益ヲ與ヘタリ

グール子氏ノ事業ハ固ヨリ一ニテ足ラスト雖ヒ其概略ヲ舉ルニ先
 ツ商務局ノ特許ヲ得テ羊毛ヲ無税ニテ輸出入セシメ各地方ニ教導委
 員ヲ派出シ人造牧草ノ利益ヲ致ヘ森林樹及果樹ノ苗木仕立場設立ノ
 一ヲ勸告シ巴里農會編纂ノ農業法ヲ實施セシメ經濟學者カ類ニ唱遣
 スル所ノ荒蕪地開墾ノ業ヲ獎勵セシメタルニアリトス而テ此教導委
 員トナリタル者ハ主トシテ巴里府農會員ナリ其實効ヤ最モ著ク開墾
 人造牧草、苗樹仕立場ノ如キハ各地方ニ起リタルモノ甚ク多シ其他獸
 醫學校設立ノ計畫モ亦グール子氏ノ考案ニ出タリト雖ヒ其生前ニ之
 ナ果スト能ハス
 獸醫ノ大家ブールシユラー氏出タトリューデーヌ及チユルゴー兩氏
 殊ニベルタン氏ノ保護ヲ受ケ千七百六十一年ヲ以テ始メテ獸醫學校
 ナ里昂ニ起セリ抑獸醫學校ハ往古希臘國ニ行ハレ羅馬時代ニ在テハ
 其學大ニ進歩シタルモ蠻人ノ侵入ト共ニ其術モ亦廢滅セリ降テ十六

世紀ノ項其術伊國ヨリ佛國ニ傳習レ十七世紀項ニ至テハ歐洲各國ニ其術行ハレ多少ノ著書モ己ニ出ダリ然ル共術未ダ幼稚ニシテ學理ニ據ラサルヲモ多カリシカ佛國ニ於テハブーレンヌワール氏出テ學理及ヒ實踐上ヨリ獸醫ノ學術ヲ改良進歩セシメ當時宰相等ニ説テ遂ニ一ノ學校ヲ里昂府ニ設立セリ而テルーキ十五世ハ該校ノ爲ニ四方法ヲ六ヶ年間ニ附與シ大ニ獎勵シタル所アリ爾後該校大ニ振起レ益隆盛ニ赴キ歐洲各朝廷ヨリ佛國ニ三四名ノ生徒ヲ遣リ該校ニ入學セシメダリ各國ノ留學生卒業ノ後各歸國レテ獸醫學校ヲ設立シテハ其術全歐洲ニ行ハレ進歩モ亦實ニ著大ナリキ

佛國政府ハ益獸醫學校ノ必要ヲ感シブーレンヌワール氏ヲ更ニ第一ノ學校ヲアルホールニ設立セシメダリ時ニ千七百六十五年ナリ此校ニ於テハ官ニ通常獸醫ヲ教育スルノミナラス陸軍醫ノ依託ニヨリテ陸軍獸醫ヲ養成セリ當時内閣ニ在テ農業ヲ保護シ其進歩ヲ計ルモノハ專ラベルグン氏ニシテ氏ハ此アルホール獸醫學校ノ規模ヲシテ

愈擴張セント計畫己ニ成リタルニ際レ氏ハ内閣ヲ辭シ去レリ當時内閣ハ經費節減論盛ニシテ獸醫學校補助金ノ如キハ節減セラレ其他同校ノ定額費ヲ減シタルヲ以テ不得止廢減ニ附シタルモノ多シ而テ此節儉論ノ爲メブーレンヌワール氏ノ効績モ亦減亡セントスルノ勢ナリキ時ニカロンヌ氏内閣ニ入りテ大ニ盡力シテアルホール獸醫學校モ再ヒ隆運ニ赴キ學科ヲ高尚ニシ動物園ヲ附設シ各國各種動物ヲ蒐集シ學理及實際ノ研究ニ便宜ヲ與ヘタリ

當時佛國動物ノ有様ハ實ニ不良ニシテ制度慣習ノ爲メニ其改良ヲ計ルテ能ハス漸次費額ニ陥ラントスルノ姿ナリ然ルニ幸ニ獸醫術大ニ進歩シ専門ノ學校ヲ起シ博識ノ教師等ヲ得テ動物ノ改良ヲ計ルノ時機ニ達セリ其効績タルヤ一朝一夕ニ見ルヘキモノニアラズト雖モ將來佛國ニ爲メニ其利益ヲ與ヘタルヲ實ニ明白ナリトス

其後カロンヌ氏ハ其職ヲ辭シ内閣ニハ節略論頗ル盛ナルニヨリ獸醫學校モ亦其影響ヲ蒙リ定額費ヲ四万四千法余ニ減セラレ斯クナリキ

百八十九年ノ大革命ニ遭遇セリ此革命政府ハ調査委員ヲ作り獸醫學校ノ勃發ヲ調セレメタルニ從來其勃發瞭然タルヲ以テアレオールの學校ハ其定額費ヲ半額ニ減シ里昂ノ學校ハ其儘繼續セリ革命政府ニシテ尙ホ王政ノ遺物タル此學校ヲ維持シタルハ其實効ノ蔽フベカラサルモノヲ證スルニ足ルヘシ

グーレル氏ハ千七百五十九年ヲ以テ死シドリアーニス及ナニエ氏ハ各次テ財務ヲ擔任シ農商工業ヲ獎勵シタリボンバザール牧馬場及十二個ノ種用馬厰キ場ノ如キハ千七百五十九年ヲ以テ之ヲ設置セリ當時經濟學者中荒蕪地開墾ヲ主張シ佛國ノ饑饉ヲ救済スルノ第一策トセシテ以テ或ハ金錢或ハ物件ヲ與ヘテ開拓ノ業ヲ獎勵セリ開拓地中傾斜ノ地多ク其墳崩ノ災ヲ防カンカ爲メニ之ニ樹木ヲ蕃殖シテルヲ以テ苗樹仕立場ノ如キモ亦ク各地方ニ設立セテレリ又佛國殖民地ノ農業ヲ獎勵センカ爲メニ農務部ヨリハ保護金ヲ與ヘ海軍ヨリハ運送船等ヲ出シテ内外殖産ノ事業ヲ補助シタリ

穀物貿易モ遂ニ此時ヲ以テ自由ニ附セレモ固ヨリ道理ニ於テハ至當ノ策ニシテ非難スヘキモノニアラスト雖ヒ當時ノ人心啓來ノ偏見剛説ニ感服シ自由貿易ヲ嫌惡シ復タ檢束主義ニ立歸リ却テ反論ノ爲メ自由貿易ノ境域ニ入ルノ期ヲシテ退歩セシメタルト云フヘシ是畢竟自由貿易ノ制度未ク當世ニ適合セサルニ因ルナリ

千七百六十三年内閣ニ交送テ生レ大藏ノ事務ヲ分離シ以テ新ニ王國內務官ヲ設ケタリ是レ即農商務兼工部省ニ相當ス當時大藏大臣タリシバルタン氏一旦内閣ヲ辭シタルモ國王ノ信任厚ク更ニ内務官ニ任セラレ再ヒ内閣ニ入りタリ氏ハ曾テ殖産興業ニ熱心ノ人タルヲ以テ此分離ハ農商工ノ爲メ大ニ幸福ヲ與ヘタリ

開墾事業ハ當時輿論ノ大ニ贊成スル所タルヲ以テ千七百六十六年更ニ勅令ヲ發シ開拓地ニハ諸種ノ稅ヲ免除シ又外國人ト雖モ該業ヲ起サントスル者ヘハ内國人ト同様ノ權利ヲ保証セリ

從來放牧ノ制未ク確然ナラサルモノアリテ地方ニ依リテハ貴族及財

産家カ擅ニ放牧シ農益ヲ害シ小民ノ迷惑甚ク多キヲ以テ之ニ制限ヲ設テ農業ヲ保護シタルノ効最モ著ク殊ニ土地ノ改良及牧場増設ノ如キハ此限制ノ影響ト謂フヘシ

トリユーデーヌ氏ハ佛國ノ綿羊ヲ改良セリ元來内國産ノ綿羊ハ其毛種純良ナラス唯ク粗製品ノ材料ニ使用セシノニ然ルニ氏ハ「グール」アリノ種ヲ輸入シ或ハ雜種ヲ生殖シ或ハ自國産種ヲ改良シ又牧羊書ヲ著述セシメ以テ普ク人民ニ其養法ヲ教示セリ其他開墾用率ノ發明アリ大ニ開拓ノ事業ヲ助ケ又製粉器ヲ發明シ製粉ノ便益ヲ計リテ佛國ハ屢饑饉ノ不幸ヲ蒙リ穀物貿易ハ常ニ困難ノ問題トナリ是ニ於テ穀物商「マリシ」氏出テ巴里府ニ穀物會社ヲ設立シ穀物ヲ一手ニ引受テ年ノ豐凶ニ依リテ之ヲ賣買シ以テ其價額ニ非常ノ昂低ナカラシメシトテ計リ之ヲ政府ニ建議セリ而テ政府ハ之ヲ許可シタルノニナラス大ニ之ヲ保護セリ抑此會社設立ノ原由ハ當時朝臣殊ニ國王自ラ

此會社ニ據リテ利益ヲ得ント計リタルニアリトス故ニ此會社ハ國益即チ民利ヲ計ルノ目的ニアラスシテ私利ヲ營ムノ機關タルヲ以テ其惡結果ハ實ニ容易ナラサルモノナリ何トナレハ此會社ハ穀物專賣權ヲ有シ自由ニ其價額ヲ左右スルヲ得タルニアリトス而テ其創設ノ初不作ニ會ニ穀物益騰貴シ人民ハ此騰貴ヲ以テ内國産穀物自由輸出ニ歸シ之ヲ檢束セシムルヲ歎願シ苦情甚ク多キニ依リ政府ハ民望ニ應ジントセリ而テ「ニコル」氏ハ此檢束制度ニ對シ抗論セシモ遂ニ行ハレズレテ止メリ蓋シ氏ハ當時内閣ヲ去リテ地方官トナリ居タルカ爲メニ其勢力ヲ充分ニ伸暢スルヲ能ハザリキ

斯クテ豐凶ノ恒ナキノミナラス豐年ナリト雖ニ制度ノ爲メニ檢束ヲ禁リ人爲ノ障礙ニ因リテ人民益困難ニ陥リ地方平穩ナラス人民ハ從來ノ陋説ニ迷溺シ頻ニ罪ヲ自由貿易ニ歸レタリト雖ニ其實ハ彼ノ穀物商會撞積ノ弊害ナリ政府ハ其願望ニ應レ一旦檢束法ヲ設ケタルモ其目的ヲ達セサルニ依リ人民ハ漸ク其害物ノ他ニ存在スルヲ悔悟シ

終ニ該商會ノ内幕ヲ發覺シ會ニ高官射利ノ姦計アルノミナラス王自
 ラ之ニ關係アルヲ知リ是ヨリ王位ヲ嫌惡シ其德望ハ地ニ墮テ大革命
 モ亦タ是ニ因縁スルモノ多シトス
 穀物貿易ニ關係シテハ斯ノ如キ有様ナリト雖ヒベルグン及ラベムデー
 氏ハ類ニ農事ニ尽力シ農業教育ヲ獎勵シ千七百七十一年ヲ以テ一ノ
 現業學校ヲ設立シ又養育院ヲ設テ棄兒ヲ養育シ成長ノ後テ資本ヲ與
 ヘ以テ農業ヲ授ケルノ制ヲ設ケテリ時ニ農學士モロー氏ノルラン地
 方ニ數百町ノ地所ヲ求メ專ラ苗樹仕立ニ從事シ漸次盛大ニ赴クヲ以
 テ後テ政府ニ建議シテ國內ニ樹木養殖ヲ計ラントレ且ツ棄兒ヲ使役
 シ傍ラ其教育ヲ爲サンコトヲ企圖セリ而レテ山林ハ曩々ニ開墾說頗リ
 行ハレタルヲ以テ濫伐ヲ禁リ森林保護ノ必要ナルノ時機ニ際會レ
 政府ハ直チニ此建議ヲ採用シ試ニ先ツ兒童二十四人ヲ送リテリ本
 場ハ國藝學校ノ一種ニシテ其創設ノ初メヨリ満足ノ結果ヲ奏シ國王
 ハ千七百六十七年ヲ以テ之ヲ官立學校トセリ爾後各地方ニ此類ノ學

校ヲ増設シモロー學校ノ卒業生ヲ該校ニ採用シ相當ノ俸給ヲ附與セ
 リ
 此學校ハ地方ノ窮民ヲ救ヒ慈善授業ノ目的ヲ有シ政府ノ最も貴重レ
 タルモノナリト雖ヒ不幸ニシテ之ヲ永續セサルハ實ニ遺憾ト云フヘ
 而テ此學校ヲ廢棄シタルハチツケル氏ノ無謀節儉主義ニ原因ス當時
 在校許多ノ兒童ハ之カ爲ニ一時ニ活路ヲ失ヒ乞食ノ苦境ニ陥リタリ
 是レ實ニ人情ヲ顧慮セサルノ政略ト云フヘ且各學校ニ内外國諸種
 ノ樹木數拾万本アリタリト雖ヒ之ヲ擧テ殆ト枯死セシメタリ
 千七百七十四年乃至千七百八十一年
 ルキ十五世ハ千七百七十四年ヲ以テ崩御シルキ十六世繼テ位ニ
 即キ復タナユルゴ氏ヲ擧テ大藏大臣ニ任シタリ
 チユルゴ氏曩々ニ内閣ヲ去リ地方官ニ奉職シタルヨリ後經濟上政策
 ハ大ニ變化シ從來ノ附說毎ニ勢力強ク政務ハ干渉檢束ノ主義ヲ執リ其
 害毒ヲ萬民ニ流セリ彼ノ「マリセ」穀物商會ノ如キ當時國難ノ大ナル

原因ナレハ第一着ニ之ヲ禁止セント計レリ然ルニ此商會ハ容易ナク
 事柄ヲ含有シ勢力實ニ強大ナリ當時ノ情況ニ據レハ諸職業不安
 ニシテ收利ニ確乎タルモノハ此會社ニ資本ヲ注入スルヨリ儲ナルモ
 ノアラヌ官吏商人ト雖モ荷モ融通金アレハ彼等之ヲ入レサルハナ
 シ依テ資本ニ不十分ナク又上下關係者多キヲ以テ會社ノ爲メニ保護
 スル者ニ乏シカラサルナリ此場合ニ於テ國會ハ固ヨリ干涉スヘキモ
 ノニアラズト雖モ其議員中該會社ニ關係者多ク爲メニ横合ヨリ干涉
 シ益困難ヲ醸増シ殊ニ商會ヨリ巴里并地方ニ敢咬者ヲ出レ方今此商
 會アル在リテ穀價ヲ底落セシムルニモ抱ハラヌ此騰貴ヲ來セルニ若
 此際自由貿易ノ政策ヲ施サハ何レノ點ニ迄穀價ノ騰貴スヘキヤ測ル
 ヘカヲストノ妄説ヲ流傳セシノ頻ニ人民ヲ煽動シケレハ爲メニ人民
 ハ激動シ遂ニ王宮ニ迫リ自由政策ノ不可ナル穀價底落ノ方法ヲ施行
 アランフヲ請願スル數回ニ及ヒ一時混雜ヲ極メタリ此場合ニモナニ
 ムゴリー氏ハ自由政策ヲ執リテ動カサルヲ以テ人民ハ益々暴行レ麵包ノ

商店等ヲ破壊スルニ至リタルヲ以テ遂ニ兵力ヲ以テ之ヲ鎮靜セシメ
 タレハ商會ハ終ニ其目的ヲ遂ル能ハヌズテ閉會セリ

内國各地方ニ關稅アリ殊ニ馬耳塞港ノ如キハ此制限ノ爲メニ入港ノ
 物品ヲ地方ニ輸送セル甚ク困難ナリレモチニルゴリー氏ノ自由制度ノ
 爲メニ稍便宜ヲ得タリ

全氏就職後ハ專ラカチ盡レテ封建制度ノ遺物ヲ除去セシフヲ務メタ
 リ先ツ賦役、諸職業仲間、封建ノ遺物タル雜稅等ヲ一切廢止シ人民中ニ
 免稅特權ヲ許サ、ヌンフヲ計リタリ是實ニ佛國ノ隆盛ヲ得ルノ基礎
 タル政策ナリ然レモ貴族輩ノ特權ヲ有スル者多ク其勢力未ダ強大ナ
 ルヲ以テ尋常手段ノ能ク爲シ得ヘキ所ニアラザルニ依リテ氏ハ宰相
 ノ不同意ナルニ係ラス王ヲシテ其議案ヲ認許セシメ直ニ之ヲ國內ニ
 發表セシメタルニ都邑ノ差別ナク人民ハ衆テ此制ヲ悦ビ或ハ舞踏會
 ヲ催シ或ハ旗ヲ立テ都邑ヲ巡回シ満足ノ意ヲ表シ此時ヲ以テ始メテ
 現政府官趣ノアル所ヲ覺知セシムルニ至リ漸次諸職業共ニ繁榮ニ赴

キ資本モ已ニ増加シ金利ハ四分ニ低落セリナニルゴイ氏施政ノ結果
 ヤ已ニ斯ノ如シ
 曩キニ西班牙ヨリ綿羊ヲ輸入シ内國産羊ノ改良ヲ計リタリ而テナニ
 ルゴイ氏ハ更ニ全國ヨリ數百頭ノ綿羊ヲ購入地方ニ分配シ特ニバル
 パンソソワ一氏ニ管理セシメタル綿羊ハ好結果ヲ奏シ純粹メリノ一種
 及雜種ヲ合シテ三千五百頭ニ増加セリ
 全氏ノ治績ハ實ニ著大ニシテ其施政ハ常ニ公明正大ナルヲ以テ反響
 論者即貴族ト雖モ其政治上ニ就テ攻撃スルヲ能ハス然レモ貴族輩ノ
 氏ヲ視ルヲ警歎ノ如ク陰謀ヲ運ラレ之ヲ顛覆セント企テタリ就中モ
 一ルハ一宰相其謀主トナリ百方計略ヲ行ヒ遂ニナニルゴイ氏ノ名ヲ
 以テ一僞書ヲ作り王及妃ヲ誹謗シ此書ヲ王ニ説キ王ヲレテ終ニ氏ヲ
 内閣ヨリ除去セシメタリ氏ノ内閣ヲ去リタルハ即チ内國ノ安寧ヲ漢
 除シタルモノニシテ是ソ佛國ノ爲メニ吊スヘキ革命ノ原因トナレリ
 ナリニモ氏ハナニルゴイ氏ニ代リテ大藏大臣ノ職ヲ奉セリ然レ此人

無能ニシテ自ラ爲スト能ハス萬事宰相ノ意ヲ奉シテ施政セリ其第一
 着ハナニルゴイ氏ノ自由制度ヲ廢止シ舊制ヲ復シ殊トニ貴族輩ノ特
 權ヲ再立セリ依ツテ人民嚮々トシ不平ヲ鳴レ大ニ激蕩填憑ヲ抱キタ
 リ
 其後ナニルゴイ氏代リテ王命ヲ奉シ財政ヲ司リタリ然レモ氏ハ外國人ニ
 シテ殊ニ新教尊崇ノ人ナルヲ以テ内閣ニ入ルヲ得ヌ故ニ王室財産總
 理ノ名義ヲ以テ陰然大政ニ參與セリ
 當時地方甚ク靜穩ナラス惡徒橫行シ盜難ヲ蒙ルヲ最モ繁ク就中強盜
 チ多シトス然レニ未ダ田野警察ノ制ナク又其頃ノ慣習ニ依リ農民田
 圃ニ出テ耕シ歸ルニ農具ヲ携帯セズ其儘圃場ニ擱クノ例ナリシヲ以
 テ彼強盜等ハ農具ヲ以テ人家ヲ破壞シ其被害甚シキニ依リテ遂ニ農
 具ヲ圃場ニ放棄スヘカラサルノ禁制ヲ布告シタリ
 水路開墾事業ニ關スル舊來ノ規則上地主權利ノ解釋區々ニレテ苦情
 アリ千七百七十八年之ヲ國會議院ニ訴訟セリ國會ノ裁決ニ據リテ公

共用土地買上ノ制漸ク判然レ爾後之ニ關スルノ法律ハ悉ク此判決ニ據リテ規定スル所トナレリ

從來佛國ニ於テ鐵僅甚ク多ク麥類乏欠テ告ケルヲ屢々ニシテ人民ハ困難ニ陥リ慘狀ヲ極ムルヲ以テ朝野ノ人々之ヲ憂ヒ麥類ニ代ユルノ其品ヲ發見セント企圖スル者多シ農學士バハマンナエー氏嘗テヨリ之ヲ研究シテリシニ遂ニ馬鈴薯ノ食料ニ適當ナルヲ發見シ之ヲ世上ニ公告シ漸次人々ノ信用ヲ得テ現今ハ歐洲ニ於テ日用欠クベカラザルノ食用品トナレリ抑馬鈴薯ノ歐洲傳播ハ二種ノ説アリ一ハ英人某米國ニ渡航シ始メテ之ヲ自國ニ輸入シ夫ヨリ和蘭ニ傳輸レ漸次歐洲各國ニ輸入シタリト云ト又一ハ伊國ベニス人南米國ナリト云ニ渡航シテ之ヲ伊國ニ持歸リタルニ依リ伊國一般ニ之ヲ耕作レ漸次歐洲各國ニ輸入シタルモノト云フ而テ馬鈴薯ヲ兎ニ角歐洲ニ移植シタルハ千五百年ノ末ニアリ夫ヨリ其耕作ハ漸次諸國ニ行ハレタリト雖モ其目的ハ止ク動物ノ飼料ニ供スルニアリタルノミ然ルニ佛國農

學士バハマンナエー氏之ヲ研究シ其人食ニ適當ナルヲ發見シ治ク之ヲ人民ニ公告シタルモ當初人民ハ之ヲ排斥シテ信用セザリシニルキ十六世モ亦其必要ヲ感シ率先レテ日常ノ食料ニ供セシヨリ貴賤ノ差別ナク廉然トシテ之ヲ用フルニ至リタルヲ以テ馬鈴薯ノ需用漸次ニ増加シ遂ニ各國人民亦之ヲ食用ニ供スルヲナリテ現今ノ如キ必用ノ食料タルノ勢力ヲ呈スルニ至レリ

チツケル氏就職以來チユルゴー氏ノ政策ヲ屢ミテ封建時代ノ諸稅ヲ廢止セントシテ企圖セシモ當時特權者ノ勢力未ダ強盛ナルヲ以テ其目的ノ成ラサルヲ悟リ先ツ之ヲ王領ノ地ニ試ミダリ王有財產ノ讓渡シテナスヘカヲササルノ制ヲ廢シ賦役ノ制ヲ除キダリ其他之ニ附帶スル雜稅ハ悉ク廢滅シタリ而テ貴族中此新制ニ從ヒ其所有地ヲ處分スル者ニハ王ノ特許ヲ要セス且納稅遲滯ノ分ヲ免除スル旨ヲ公布シ以テ暗ニ此處分方ヲ獎勵シタリ

ネッケル氏ハチユルゴー氏ノ計畫ニ則リ貴族僧侶平民ノ三種族ヲ以テ

地方會ヲ組織シ州毎ニ一會ヲ設ケ州ノ經濟ニ關スル事項ヲ討論セシメタリ是現今ノ縣會ノ如キモノナリ最初試ニ之ヲペリ州ニ設ケ漸次之ヲ擴張シテ數州ニ之ヲ置キタリ農業之ヲ爲ニ其利益ヲ受ケタルヲ指シトセス

千七百六十六年勅令ヲ發シ内國ノ荒蕪地開墾ヲ獎勵シ開墾地ニハ免稅ノ特典ヲ與ヘタリシニ全八十年ニ至リテ開拓シタル面積ハ四十八萬四千五百「エクタール」以上ニ達シタリ

千七百八十一年乃至千八百八十九年

チツケル氏就職以來銳意以テ政務ヲ改革セント企圖セシモ兎角貴族輩ノ抵抗強勢ニシテ其計畫モ破レ意ノ如クナラサルヲ以テ千七百八十一年遂ニ其職ヲ辭レベムタン氏モ亦次テ去レリチツケル氏ノ后任ハ兎角其人ヲ得ス且ツ貴族ハ益々徒黨ヲ企テ陰謀ヲ逞フシ堪シテ施政上ニ困難ヲ與ヘ交迭スルヲ最モ頻繁ナリ且ツ當局者動モスレハ當世ノ妄說偏見ニ惑ヒ朝令暮改ノ弊ヲ免カレス而テ其政策ハ干涉主義ニ流

レ鎖末ノ事項ニマテ立入り諸規則ヲ設ケ爲メニ云フベカラサルノ煩雜ヲ釀成シ政務ノ澁滯困難ヲ極メタリ

千七百八十四年大洪水アリ水害ヲ被リタル地方ニ窮民ヲ生シタレハ之ヲ救濟スルニ王室ヨリ數百方法ヲ出シ一時ノ急ヲ救助セリ是レヨリシテ備荒貯蓄金ノ制度ヲ設ケルノ階梯ヲ作ルニ至レリ

頃年動物傳染病頻リニ流行シ獸醫ハ甚ク不足ヲ告ケ且動物取扱ノ方ヲ知ラサル者多クレハハノホノホノ獸醫學校教官等ノ助力ニ依リ動物取扱規則ヲ定メ病獸處分方ヲ發令シ且該學校卒業生又ハ鐵路師中ヨリ撰拔シ以テ牛舎ノ形狀巡視ヲ命レ傳染症ノ病獸ヲ屠殺シ其他傳染

病豫防方ヲ施行セシメタリ

千七百八十五年旱魃甚シク秣草欠缺シ殆ント動物ヲ飼養スルヲ能ハサラレムルノ勢ナリ爲メニ食料補充ノ方法研究ハ實ニ目下ノ急務トナレリ而テ巴里農會ハ其方法ヲ研究ノ上編纂刊行シ之ヲ各地方ニ頒布シ與ヘタリ又政府ハ内國ノ或ル地方ニ於テ產スル所ノ蕪菁ハ英國ニ

於テ動物ノ食料中最モ貴重スルモノヲ知リテ該會ニ命シテ其培
 養法ノ説明書ヲ編纂セシメ其種子ト共ニ之ヲ全國ニ配布セシメヨリ
 巴里農會ハ元來有名ノ學者ヲ以テ組織スルカ故ニ其勢力ハ愈々盛大ニ
 赴キタリ千七百八十六年同會ノ意見ニ因リテ種子物精撰調製ニ際シ
 有害物ヲ混用スルヲ禁制シ又同會ヨリハ種子調製ノ善良ナル方法
 ナ普シ國內ニ知ラシメタリ
 佛國ニ於テ綿羊改良ノ計畫已ニ前後二回ニ及ヘリ然レトモ未ダ満足ノ
 結果ヲ得ス降テ千七百八十五年ニ至リルニキ十六世ランブイエーニ
 土地ヲ購入セリアンソビリエー伯ノ勸告ニ依リ此地ヲ以テ育種場ニ
 供セリ農學士ラシェー氏ハ頗ル農事ニ經驗アルヲ以テ之ヲ推撰シテ
 場長ニ命シタリ氏ノ意見ニ依リ此場ニメリノ種ヲ飼育セシメテ建
 言セシニ王ハ之ヲ嘉納シテ西班牙國王ニ通議シテメリノ種ヲ飼育セシメ
 十三頭ヲ取寄セタリ元來メリノ種購入ハ當時ニ在テハ非常ノ難事
 ナリシモ西班牙王ハルイキ王ノ從第ニシテ殊ニ愛遇シタルヲ以テ西

班牙王モ容易ニ之ヲ諾シ牧羊術ニ長シタル牧夫二名ヲ附シテ佛國
 ニ護送セシメタリ然ルニ氣候不順ノ爲メニ其十九頭ヲ失ヒ且ツ之ヲ
 飼養スルニ舍飼野飼ノ利害得失ニ議論アリテ最初之ヲ野飼ニシシモ
 後ヲ遂ニ之ヲ舍飼トセリ

元來ランブイエー地方ハ氣候常ニ濕氣ヲ帯ヒ綿羊ハ肺結核症ニ罹ル
 モノ多シ西班牙牧夫ハ其番息ノ見込ナキ旨ヲ以テ暫時ニシテ佛國シ
 タリ依テアルホーニ獸醫學校教官ヨルベール氏ニ命シテ實業家某ト
 共ニ之ヲ取扱ハシメタリ綿羊ハ番息シ好結果ヲ奏シ爾三年ノ後ニ
 至リテ内國產ノメリノ種ハ遂ニ西班牙產ニ優ルニ至レリ
 是ヨリ先キ佛國ニ於テ已ニ數回ノメリノ種番息ヲ計リタルモ充分ノ
 成績ヲ得サルニ依リ人民ハ絶念ノ有様ナリキ茲ニ於テ英國產綿羊及
 内國產綿羊ヲ以テ雜種ヲ養成セント計ル者アリ然ルニ英國ニ於テハ
 羊肉ヲ以テ目的トシ佛國ニ於テハ羊毛ヲ以テ目的トス而テ當時佛國
 農家ニ在テハ牛羊ノ肉ヲ食スルモノ甚ダ少ナク都府ノ職工モ亦然リ

故ニ一般ニ其需用ハ人口ノ割合ニ甚ク僅少ナリ假令英國産羊毛輸入
 スト雖ハ佛國當時ノ目的ヲ達セサルノミナラス其需用少ナキヲ爲メ
 ニ之ヲ維持者息スルヲ能ハス於テシエー氏ハ政府ノ命ヲ奉シ雜糧
 ノ得失ヲ調査シ目下其利益ナキ旨ヲ報告セリ爾後雜糧番息ノ業ハ佛
 國ニ於テ放棄スル所トナレリ
 當時ノ宰相ト、カロンヌ氏ハ性温和ニシテオカアリ然レ他義ニ薄ク不
 撓ノ精神ニ乏シ殊ニ輕率ノ過失アリ氏曾テ或ル訴訟事件ニ付其行爲
 ノ卑劣ニ涉リ頻リニ輿論ノ攻撃ヲ受ケタルヲアリ依テ氏ハ名譽ヲ恢
 復シ入望ヲ得ンヲ務メ殊ニ朝廷ノ信用ヲ買ハントレ王妃王族ヲ
 テ國庫ノ金ヲ濫用セシメ遂ニ財政上非常ノ混雜ヲ釀シタリ然ルニ之
 テ補充スルノ策ナキヲ以テ不得止輿論ニ訴ヘ其望ヲ遂ントレ國會開
 設ノ一策ヲ企圖セリ而テ千七百八十七年ヲ以テ國會ヲ召集シ氏ハ議
 場ニ於テ其旨趣ヲ陳シ且ツ目下國是トスル所ハ特權ノ制ヲ廢止スル
 ニアル旨繼述タリ要スルニ氏ノ論旨ハ取モ直サス舊制ヲ一變シ維新

ノ期ヲ開發シタルモノナリ而テ氏ハ惟テ此ノ如キ演説ハ當時ノ輿
 論ニ符合シ議員ノ大賛成ヲ得ヘシト然ルニ議員ノ感覺ハ大ニ想像外
 ニ出タリ守舊黨ハ或ハ恐怖シ或ハ忿怒シ改進黨ハ大ニ不信ヲ懷キタ
 リ斯クテ國會ノ議案ニハ先ツ縣會、租稅、賦役、墾稅、內國通關稅等ノ件ヲ
 下附シテ守舊黨以爲ラク此議場ニ於テハ到底改進黨ニ對シテ勝チ占
 ムルヲ能ハスト大ニ憂苦セリ然ルニ大議大臣ノ演説ハ議員全体ノ感
 情甚ク好カラス依リテ議員ノ多數ハ議案議事ヲ憚キ先ツ大臣ニ反對
 ノ意ヲ表シ大臣ノ演説ハ其真意ニ出サル旨ヲ攻撃シ先ツ歲出入經費
 計算書ヲ見シテ請求セリ大臣ハ四方ヨリ攻撃ヲ蒙リ其任ニ堪ヘス
 レテ終ニ職ヲ辭シタリ
 フ、ブールキヨー氏代リテ大議大臣ニ當レリ而テ政事上ノ改革ハ已ニ
 人民ノ希望スル所ナルヲ以テ議員ト雖モ其民望ニ違背スルヲ欲セス
 且ツ議員モド、カロンヌノ辭職ヲ以テ満足シ租稅其他ノ件ハ都テ王意
 ノ在ル所ニ隨フトノ意ヲ述ヘ漫リニ中間ノ抑制ヲ加ヘスレテ人民ノ

希望ニ應セントセリ
 當時政府施政ノ方向ハ先ツ賦役ヲ廢シ鹽稅ノ當否ヲ調査シ内外貿易
 ナ自由ニスルニ在リ旨ヲ公ニ開陳セリ而テ貿易ノ自由ハ千七百八十
 七年之ヲ許シタリ縣會ハ全年ノ勅令ヲ以テ之ヲ設置セリ全年又葡萄
 樹ニ害蟲ヲ生セシテ以テ撲滅法ヲ發令シタリ
 千七百八十八年大藏大臣亦辭シテク^ケ氏代リテ其職ヲ襲ヘリ氏ノ再
 任ハル^ル王ノ甚々好マサル所ナリト雖モ輿論ニ從ヒ不得止之ニ命
 シタリ而テ人心ハ漸次激動シ全八十九年國會ノ如キハ其欲スル所單
 ニ政務ノ改革ニ止マラス國家社會ノ革命ヲ希企スルニ至レリ夫レテ
 ケル氏ハ理財ニ巧ナリト雖ヒ政事家ニアラス氏ハ就職以來専ラ心力
 ナ盡シテ民心ヲ收攬セント務メタレト再任後却テ其人望ヲ失シタリ
 巴里農會ハ千七百八十八年會則テ改正シ其事業ノ方向ヲ定メ王ヨリ
 更ニ王國農會ノ名稱ヲ賜リ各地方ノ農會ト連絡ヲ通シ之ヲ以テ農會
 本部ト定メタリ王ハ農業ヲ獎勵センカ爲メ毎年農會立共進會ニ褒賞

金ヲ附與シ殊ニ大褒賞ト稱シ金銀寶玉類ヲ以テ作りタル一個ノ美術
 品ヲ設ケ王親ヲ之ヲ授與セラレタリ夫レ^ル王ハ專ラ民利ヲ計ラ
 ン^ル切望シ假令ヒ反對論者中其然ラサル旨ヲ公示シタル者アリト
 雖ヒ王ノ民愛心ノ切ナルハ蔽フヘカヲナル事實ナリ王會ヲ言ヘル
 アリ諸業術中第一ノモノ(農業ヲ云フ)事情ヲ王ニ具申スヘキ人ニハ王
 親ク之ニ接シ親ク其言ヲ聞クハ即國王ノ義務ナリト
 夫レ政府及國王ノ農會ヲ獎勵保護スル^ル實ニ此ノ如ク厚キカ爲メ會
 員督勵シ非常ニ農事ニ盡力シタリ其事業ノ農業進歩ヲ助ケタル^ル大
 ナリトス
 千七百八十八年氣候不順ニシテ農作ヲ害シ貧民ヲ救助セントシタル
 國庫已ニ欠乏シ之ヲ濟フ^ル能ハス
 依テ千二百萬法ノ資本ヲ以テ富講ヲ起シタリ是即人民救助事務組織
 ノ第二階梯ナリトス是ニ引續キ不作ノ爲メニ穀物ノ價額騰貴レ人民
 ハ復々穀物ノ輸出ヲ禁セサルヘカラスト唱道シテケル氏ハ頻ニ其人

望ヲ失ハサランコトヲ恐レ遂ニ持論ノ自由主義ヲ狂ク意ヲ迎ヘ不幸ニ
 モ檢束主義ヲ取り全八十八年穀物輸出ヲ禁制レタリ其ヨリ益々困難
 ナ増シ愈々穀物ノ欠乏ヲ告ケ輸入商ト雖モ其商業ニ甚ク不安ヲ抱キ
 穀物ヲ輸入スル者ナシ政府ハ止ヲ得ス輸入高ニ相當ノ保護ヲ與フル
 ノ制ヲ設テタリ然ルニ商人類ニ不安心ヲ抱キ之ヲ企圖スルモノナレ
 依リテ政府ハ直接ニ外國ニ注文シ穀物ヲ購入スルニ至レリ而レテ商
 人等ハ政府ヨリ低價ヲ以テ之ヲ引取更ニ賣却シ大益ヲ占有ス之ニ反
 シ農民ニシテ穀物ヲ有スルモノハ之ト競争スルコト能ハスシテ穀物ヲ
 市場ニ持出スモノナレ政府モ亦此弊害ヲ防止セント欲シ遂ニ八十九
 年勅令ヲ發シ地主、小作人、穀物商ヲシテ必ス其居住地方ノ市場ニ穀物
 ヲ賣出サレメ之レカ欠乏ヲナサシメサルノ義務ヲ負ハレメ警察官ヲ
 シテ時々其景況ヲ觀察セシメタリ
 是レ實ニチッケル氏一世ノ大失策ナリ畢竟公益ヲ棄テ一己ノ名望ヲ
 維持セント汲々シタルコト因ルナリ穀物輸出ノ禁制ハ國內非常ノ困難

ヲ醸成シ穀物ノ輸入ヲ妨害シ其價額ハ益騰貴レ人民ニ恐懼心ヲ惹起
 セシメ政府ノ損失莫大ニレテ其金高一日凡ソ一萬二千法ナリト云
 統計ノ事業ハチッケル氏初任ノ時キ已ニ其局ヲ設ント企タルモ其意ヲ
 遂ケスレテ辭職シタリ當時ノ趣旨書ヲ見ルニ其着眼ノ點實ニ至レリ
 盡セリ而テ氏再就職ニ際シ漸ク其目的ヲ達シ新ニ統計局ヲ設置セリ
 當時共事務未ク完全ニ至ラスト雖モ其目的ハ善良ニシテ且ツ確實ナ
 リ畢竟現今ノ統計事務モ亦氏ノ意ヲ繼テ之ヲ完全ナラシメタルニ過
 キサルナリ
 斯クテ千七百八十九年ノ大革命ニ遭遇シ内閣諸大臣等ハ國會ノ議事
 ニ與カルヲ得ス全ク其權力人望ヲ失シチッケル氏モ亦其事業ヲ伸暢ス
 ルコト能ハス
 全氏ハ千七百九十年其職ヲ辭セリ此時各省事務章程ヲ變更シ農務ハ
 宮内省ニ附レタルモ一年ヲ經サル内復々之ヲ内務省ニ屬セシメタリ
 農務ノ分立シ特務ノ勢ヲ爲シタルハ實ニ全九十一年ヲ以テ始メトス

革命ノ爲メニ政海激動シ人心狂奔レ内務大臣ノ交迭モ亦頻ナリ農務ノ如キハ益々滯因難ヲ極メ成積舉ラス然レハ革命ニ因リテ封建制度ヲ全廢レ諸種ノ稅ヲ減シ僧侶ノ不動產ヲ取上テ分贖賣却シ農業進歩ヲ障礙スヘキ事物ハ悉ク攘除セサルハナシ故ニ農業ハ益改其發達スヘキノ理ナリ然ルニ其結果ハ豫想外ニ出テ全國ハ慘憺タル殺氣ヲ帯ヒ人心恟々トシ安堵セス秩序ハ紊亂レ制度變更ニ度ナレ安全信用ノ如キモノ地ヲ掃ヒ去リ人民固ヨリ其業ニ安シ生計ヲ營ミ得ルノ日ニアラス政變急激ニシ百事極端ニ走り政黨急分裂シ益々不和ヲ生シ其間猜疑出沒シ軋軋止マズ遂ニ國王ヲレテ斷頭臺ニ登ラレムルニ至レリ人心ハ己ニ狂氣錯亂シ遂ニ學術或ハ學士會ノ如キモノヲ禁制スルニ至リ爲メニ農會モ亦廢滅セリ是千七百九十三年ノトニレテ實ニ現在及將來人智發達ノ途ヲ閉塞スヘキ暴制ト云フヘシ此革命變動ノ秋ニ際シ内務大臣ローラン氏ノ如キハ農事ニ盡力シ或ハ農事試驗場ヲ設ケ或ハ勸業ノ方策ヲ立テ或ハ農業視察報告等ノ制度ヲ設ケント企圖

レ其議案ヲ政府ニ提出シモ財政困難國費多端ナレカ爲メニ實施スルノ能ハスレテ放棄セラレタリ氏ハ次テ其職ヲ辭セリ其後過激黨強勢暴虐ヲ行ヒ社會ノ秩序ヲ一變スルニ至レリ故ニ農政ノ如キハ其間決テ見ルヘキモノナレ加フルニ比年農業不作殊ニ穀物欠乏レ人民窮困ニ堪ヘス政府ハ種々方策ヲ運ラシ種々法律ヲ以テ之ヲ救助セント企テタリト雖モ固ヨリ法令ノ爲レ得ヘキモノニアラス却テ障礙ヲ増シ商業自由ヲ檢束シ食料欠乏シ國民ノ情態名狀スヘカラツルノ殘酷ヲ極メタリ全九十三年ノ如キハ偶々豐作ニ遭フト雖モ穀物等各地ニ輸送シ有無ヲ通スルノ能ハス國內擾亂シ政府法令ヲ布クニ腕力ニ據ラサルヲ得サルノ國情ナレハ民兵ヲ徵發スルヲ頻ナリ爲メニ地方ニ人手ヲ欠キ產物ヲ運搬スル者ナレ又之ヲ運搬スルモ途上絶テ安全ノ信ヲ置キカタク爲メニ護送セサレハ人民群集掠奪シテ食料ノ欠乏ヲ救助セントスルニ至レリ政府ハ自ラ穀物ノ賣買ヲナレ之カ爲メニ特ニ壹萬人ノ官吏ヲ要シ其供給並食料賣買上ノ損失ハ實ニ莫大ナリト

ス其他國事紛雜シ巨萬ノ費額ヲ要シ財務其負擔ニ堪ヘス許多ノ兌換
 紙幣ヲ發行シ其急ヲ濟ントセシモ暴政ノ社會秩序ヲ紊亂シ國中安全
 ナトスルノ地ナク紙幣ノ如キハ愈々信用ヲ失シ實價ヲ低落シ益増發
 愈下落シ遂ニ其實價ハ低落シテ二百分ノ一ニ達セリ硬貨ハ地ヲ拂フ
 テ其形ヲ隠シシ外戰内鬪交打續キ外國ノ貿易ハ悉ク閉塞シ有無ヲ通
 スルノ道ナク又政府ハ頻ニ暴政ヲ行ヒ人民困厄ニ堪ズ遂ニ此政府ヲ
 顛覆シ外敵ニ戰勝ヲ得テ更ニ新政府ヲ組織セリ新政府ハ從來ノ政策
 ナ一變シ是迄ノ失策ヲ取戻サントシ殖産興業ニ尽力セリ
 一旦廢滅ニ歸シタル牧馬場ノ如キハ全九十五年之ヲ再興シラフ
 ニ牧羊場ニ保護ヲ與ヘ全年ニ至リメリノ「種羊著ク著息シ之ヲ人民
 ニ拂下ケ普ク人民ニ其利益ヲ教示シテ當時人民ノ負擔ハ苛酷ニシ
 テ一トシテ課稅ヲ蒙ラサルハナシ然ルニ牧畜ニ課稅ノ制ナキヲ以テ
 各々爭フテ牧羊ヲ希望シ耕作ヲ棄テ之ニ從事セントスル者多シ隨テ
 其繁殖非常ニ迅速ニシテ益盛大ニ赴ケリ

政府ノ變動革命ニ拘ラスアルホ「獸醫學校ハ依然トシテ繼續シテ
 リシモ里昂府ノ全學校ハ一旦之ヲ閉鎖セリ然レモ暫時コレヲ復テ開校
 セリ巴里農會ノ如キハ他ノ會社ト共ニ禁止セラレタリト雖モ各々
 リ發刊スル所ノ農業雜誌ハ繼續シタリ而テ其編纂ニ從事スル者ハ當
 時有名ノ農學士等ニシテ雜誌ヲ廣ク人民ニ示シ農業ノ利益ヲ與ヘタ
 ルヲ著シ諸種ノ學校等一旦廢滅ニ歸レタルモノ多シト雖モ漸次之ヲ
 再興シ工農大學校ヲ新設シ各縣ニ中學校ヲ設立シ獸醫學植物學動物
 學農業經濟學其他ノ學科ヲ教授セシメタリ
 政府ノ事業モ反對黨ノ爲メニ種々ノ妨害ヲ受ケ一般人民ノ心ヲ安シ
 シ商業等ノ自由恢復スルハ甚ク困難ナリト雖モ溫和黨愈々勝テ制
 シ且農業豐作ヲ告ケ爲メニ國內徐々秩序定マリ漸ク政府モ亦其施政
 ナ富國策ニ執ルニ至リタルハ實ニ全九十五年ノ交ナリヤ
 全年メテセシク氏内務卿ニ任セラレ内務省ノ組織ヲ變革シ冗員ヲ省キ
 マリ抑モ同省ノ官吏ノ數實ニ夥多ナルニ至リタルハ種々原因アリト

雖に革命ニ際シ饑饉ニ遭遇シ民食闕乏ニ至リクルヲ以テ政府自ラ食料ノ賈買ニ任レ爲メニ非常ノ人員ヲ要シ此事務ニ從事スル者一萬人ノ多キニ至ルヲ以テ先ツ其事務ヲ民業ニ移シ大ニ人員ヲ減シテ僅ニ百九十三名トセリ氏ハ農業ヲ獎勵セント欲レ農業雜誌ニ保護金ヲ與ヘ本省ニ農業顧問會ヲ設置シ此會員ニハ當時有名ノ學者及實業家ヲ撰拔任命シ各地方ニ農業通信員ヲ設ケ時々地方ノ景況ヲ報道セシメ必要ノ件ハ之ヲ雜誌ニ登錄セシメ以テ廣ク農民ヲ誘導シタリ

食料賈買ハ固ヨリ政府ノ任務ニアラス民情ノ困難ナルヨリ遂ニ此任ニ當リタリト雖に政府ノ失策是ヨリ大ナルハナク當時財政困難ハ此ニ原因スルモノ多シ故ニ氏ハ此制ヲ全廢セント其議ヲ政府ニ提出シタルニ政府モ亦之ヲ採用實施シタリ然ルニ不平等黨ハ之ヲ以テ口實トナシ頻リニ愚民ヲ煽動シ再ヒ騒亂ヲ惹起シ遂ニ政府ハ兵力ヲ以テ之ヲ鎮壓スルニ至レリ斯クテ氏ヲ怨望スルヲ甚シク不得止氏ハ其職ヲ辭シタリ然レ此政策ハ一國ノ大勢上最モ肝要ナルモノニシテ斷乎

ル定見ヲ有レ果斷ノ政治ヲ取ルモノニ非ラザレハ敢テ爲シ得サルノ大難事ナリ氏ニシテ現職ヲ辭セザレバ得サルニ至ラシメタルハ甚ク惜ムヘレト雖に其効績ハ實ニ顯然タルモノナリ

ド、スーレヤ、ト、ト、氏代リテ内務卿トナレリ氏ハ殖産ノ道ニ最も精シ是ヨリ先キ森林ヲ伐採シ林地ヲ耕スヘシトノ說一時盛ニ行ハレ氏ハ森林濫伐ヲ以大ニ憂ヘ苗木仕立等ノ業ヲ獎勵セント欲レ果樹及森林樹ノ苗木共進會ヲ創設レ優等ノ者ニハ金銀ノ賞牌并ニ賞金ヲ附與スヘキ制ヲ設ケタリ然レ不幸ニシテ其方法未ダ完全ナラス満足ノ結果ヲ得ヌシテ中止セリ

農民天災ニ罹リタルキハ臨時之ヲ救助シ或ハ一時免稅タルノ例古來多シトス然レ未ダ一定ノ制度爲ラス千七百九十八年ノ交國內大洪水アリ災害ヲ蒙リタル人民甚ク多ク困難ヲ極メタリ此年始メテ救濟ノ制ヲ定メテ其事務ヲ内務省ニ屬セリ又同省全体ノ官吏ヲ沙汰シ二百十八名ニ減セリ

當時政府ハ専ラ治國ノ策ヲ講シ國家ノ富盛ヲ計ラント銳意以テ之ヲ務メタリ故ニ革命ノ變難ヲ避ケンカ爲メ或ハ内國ニ潜伏シ或ハ外國ニ移住シタル者漸次歸國シ變亂ノ爲メニ資産ヲ失レタル者之ヲ回復セント欲シ都ニ行カスレテ郡村ニ土着シ且ツ都府ニ於テ變動ノ餘波ヲ蒙ラサランコトヲ務メ競フテ農事ニ從事スル者多シ故ニ地方ニ資本ト智識ヲ輸入シ農業頓ニ勃興シ各地ニ農會陸續振起レ巴里ノ農會モ亦全九十九年再設レ大ニ農業ノ進歩ヲ増進セシメタリ

千七百九十八年始メテ巴里府ニ於テ工業博覽會ヲ開設セリ當時農產物出品ナカリシト雖モ間接直接ニ農業ノ進歩改良ヲ助ケ千八百一年第二回博覽會ニ於テハ羊毛、繭、生糸ノ如キモノ已ニ出品セリ而テド、イレヤート氏ハ殖産興業ニ盡カレタルヲ最モ多ク内國ノ秩序順次定マリ百事皆ヲ改進ノ途ニ就カントセリ而テ一朝政体ニ激變ヲ生シ千七百九十九年現政府ヲ顛覆シコンシユラ政府ヲ組織レタリ是ヨリ那勃翁第一世政權ヲ掌握シ百般ノ事頓ニ面目ヲ改メ將ニ改進セント

ス

抑今回政体ヲ變革シタルハ専ラ人民ノ平和無事ヲ熱望スルニ原因ス革命以來内外ノ戰爭打續クコト已ニ前後八年間ニ涉リ人民一日モ安寧ヲ保有スル能ハス政体ノ變動ヲ倦惡シ苟モ鞏固ノ政府ヲ組織シ平穩安逸ヲ與ヘントスル者アラハ其人ノ如何チ問ハス投合服從セントスルノ勢トナリ那勃翁ハ此機ニ乘シ「コンシユラ」政府ヲ組織シ自ラ政權ヲ握リタリ

内務卿ニハリユシヤン、オボレオン任セラレタリ氏ハ同省ノ組織ヲ變更シ先ツ局ヲ廢シ課ヲ置キ農務ノ職制ヲ改メタリ然レ氏ハ専ラ政略上ニ執掌シ省ノ事業ハ敢テ見ルヘキノ成績ヲ得ス然レ那勃翁一世ハ已ニ殖産興業ニ着目シ「メリノ」種繁殖ヲ希望シ國費多端ナルニ係ラス綿羊購入費ヲ増加シ「メリノ」種千頭其他牝馬等ヲ西班牙國ヨリ輸入セシメタリ

千八百年農務ノ經費ヲ分ケテ通常臨時ノ二途トセリ通常費ハ九十九

万二千三百八十四法臨時費ハ二十三万六千法ニシテ合計百二十二万
 八千二百八十四法ナリトス外ニ救濟費五十五万法ヲ備ヘタリ
 シヤブグール氏新ニ内務卿ニ任セラレタリ而テ氏ハ博識ノ人ニシテ
 其本職中農政上見ルヘキモノ多シ
 ハンデール地方ハ屢々内外ノ戰闘ヲ蒙リ動物ノ微發頻繁ニシテ動物種
 育ノ暇ナシ益甚廢衰額シマリ依テ之ヲ回復改良センカ爲メ許多ノ牝
 牡馬ヲ購入シ該地方ニ配布シタリ又フロンヤ及アブール近傍砂山變
 轉極マリナシ妨害甚クシ是ニ於テ特ニ土木師等ニ命ジテ之カ防止ノ
 方法ヲ研究セシメタリ
 養キニ農業顧問會ヲ省中ニ設置シ更ニ地方官ニ告諭レテ各縣廳ニ同
 種ノ顧問會ヲ開設セシメ該會ヲレテ毎年各地方ノ農況ヲ報達セシメ
 タリ又此報告書ヲ以テ農業統計ノ材料ニ供セリ
 ランプイエー牧羊場ニ於テ「メリノ」種益善息シ將ニ盛大ニ至ラン
 トス然ルニ羅紗製造家中妄説ヲ流傳レ佛國産「メリノ」種ノ羊毛ハ其

タ軟弱且短毛ニシテ收縮力強ク羅紗製造用ニハ最上ノ良品ニアラス
 ト云ヒ農民中往々此妄説ヲ信レ其飼養ヲ中止セントスル者アリ隨テ
 該羊毛價額ヲ低減シタリ内務卿ハ直ニ巴里農會ニ命ジ其實否如何ヲ
 研究試験セシメタリシニ佛國産羊毛ハ固ヨリ善良ニシテ却テ西班牙
 産ニ優ルヲ明白ナリ但共收縮ノ強キハ全ク製糸機ノ不良ナルニ因ル
 ヲ發見セリ而テ内務卿ハ之ヲ那勃翁ニ申告シテ六万法ノ褒賞金ヲ
 懸ク完全ノ機械ヲ發明シタル者ニ與シカ爲メニ此獎勵法ヲ設ケタリ
 佛國馬種改良ニ英國産馬ヲ用フルニ已ニ數十年前ヨリ專ラ流行レタ
 リ然ルニシヤブグール氏ハ外國種ヲ以テ改良ヲ計ルノ不適當ナルヲ
 チ認メ官有牧場ニ於テ雜種ヲ産スルヲ禁シタリ是レ固ヨリ雜種ノ利
 害一概ニ論シ難シト雖モ爾後自國産馬中ニ精撰ヲ加ヘテ撰種法ノ宜
 レキヲ得テ改良レ得タル結果ハ最モ善良ナリトス
 千八百一年農務ノ通常經費ハ七十五万五千法臨時費ハ二十万法
 ニシテ總計九十五万五千法ナリ

レヤフター氏ハ内務事務章程ヲ改革シ共組織ヲ一變シ十六課ヲ廢
 レ六局トナシ農業顧問會ヲ改メテ農工商會トレ此會ヲレテ各業改良
 進歩ノ計畫方策ヲ委任シ相當ノ勢力ヲ與ヘ以テ縣令縣會其他官衙ト
 卿ノ名ヲ以テ直接通信ノ權ヲ與ヘタリ
 革命以來戰爭ノ爲ニ死亡者多シト雖ヒ地方ノ人口ハ漸次増加レ千八
 百一年ノ調査ニ據レハ先年ニ比レ百四十万余ヲ増加レタリ全國ノ生
 産力モ亦増進シ貴族及僧侶ノ所有地ヲ分割シ人民各自不墾産所有主
 タルノ勢ニシテ農業ニ從事獎勵シ或ハ開墾シ或ハ肥料ヲ用ヒ或ハ耕
 作培養ノ方法ヲ研究シ一般ニ小地主ヲ増シタルカ爲メニ生産高モ非
 常ニ増加シ農業ハ益隆運ニ赴カントセリ
 佛國ハ已ニ英澳國ト和親ヲ結ヒ農産物ノ海外輸出ヲ増シ殊ニ葡萄酒
 ノ如キハ千八百年ノ輸出ニ比レ已ニ増加セシモノニ千萬法ノ巨額ニ
 達シタリ
 千八百一年巴里府ニ於テ第二工業博覽會ヲ開設レ出品人二百二十九

名ニシテ羊毛、織物其他ノ物品ヲ出品シ賞牌賞狀等ヲ附與シタリ
 レヤトロー植物園ヲ再興シ樹木栽培學校ヲ附設シ内務卿ハ縣令
 ニ告諭シ各縣ニ苗樹仕立場ヲ設置セシメ本省ヨリ各場ニ種々ノ種子
 ヲ送附シタリ蓋シ此種子中ルニ一十六世ノ特ニシヨリ氏ヲ米
 國新育克ニ遣シ該所ニ仕立場ヲ設置シ其採集シタル種子ヲ佛國ニ輸
 送シ移植シタル種類最モ多シト云
 千八百二年ノ交人民申合西班牙ヨリメリノ一種千二百二十五頭ヲ購
 入シ次テ又千頭ヲ輸入シ更ニ之ヲ各地ノ人民ニ賣却シタリ其精撰ノ
 法行キ届キ休格及毛質等完全ノ動物ニシテ壹頭ノ價凡ソ四十二法ナ
 リ然ルニ西班牙ニ於テハ一時ニ其萃ヲ拔カレ且其頭數モ甚ナカクサ
 リシカ爲メニ大ニ苦情ヲ起シタリト云ヘリ
 千七百八十九年革命以來社會ノ組織ヲ一變シタルヲ以テ當時民撰議
 院ニ於テモ適當ノ法律ヲ編纂セント委員ヲ作りタリ農業律ノ如キハ
 其取調委員ヲ命シ農業ニ關スル制度慣習ヲ調査成文セシメタリ此法

律ハ余リ新規ノモノニシテ各地ノ慣習各異ナル所アリ又當時事情種々ナルカ爲メニ其材料蒐集ニ困難アリ事業最モ至難ニシテ固ヨリ一舉ニ完全ノ法律ヲ編纂スルヲ決テ容易ノ業ニアラス然レニ民撰議院モ亦タ時勢ニ促サレ其終結ヲ急キ委員草案ノ審査モ充分ニ尽クシテ決議シ千七百九十一年之ヲ發布シタリ

此法律ハ未ダ完全ナラサル所アリテ其後之ヲ改正セントレタルモ内外ノ政治極メテ困難ニシテ之ニ着手スルヲ能ハス漸ク全九十八年更ニ委員ヲ作り其調査ニ取り掛リタリ然ルニ九十九年俄然復ニ政体ヲ變更シ新政府ヲ組織セリ而テ新政府ハ更ニ法律改正調査委員ヲ命シタリ是レ主トシテ那翁ノ意ニ出タリ那翁ハ民法及農業律ハ其ニ其基礎ヲ同フレ必ス併行シテ矛盾スルヲナキニ必要トシ以テ民撰議院ノ調査ハ必ス兩律ヲ同時ニスヘキヲ希望シタリ是ニ於テ内務卿ハ農工商顧問會ヨリ撰拔シテ農業律改正委員ヲ命レタリ且ツ内務省ニハ特ニ新律ニ關スル問題ヲ作り之ヲ地方官ニ回レ答辨セシメ以テ新律編

纂ノ材料ニ供シ又外國ノ全律ヲ調査シ其參考ニ備ヘタリ而テ民法調査ハ速ニ抄取リ千八百四年完成布告シタルモ農業律ハ漸ク全八年ニ了ヘタリ兩律同時ニ完成セサルカ爲メニ農業律中ニ編入スヘキモノ往々民法ニ混入シタルハ世人ノ最モ遺憾トスル所ナリ

麵包及獸肉ノ如キ食料買買ハ從來妄說ノ爲メニ掄束ヲ受ケ自由ナラス而テ其主意トスル所ハ此食料品ノ如キノハ人生一日モ欠クヘカラスナルモノナレハ之ヲ自由ニ放任セハ種々ノ弊害ヲ生センヲ恐ルニアリトス那翁ノ時ト雖此陋說ヲ脱セス依然トシテ掄束主義ヲ墨守セリ故ニ麵包製造家ノ如キハ其數ヲ増加セズ隨テ同業者中競争ヲ生セス麵包ノ價ヒモ安直ナラス又其製造方改良ノ期ヲ促サズ掄束主義ヲ脱シ自由ノ域ニ達スルノ期ヲ愈々退歩セシムルノ勢ヲ爲セリ

千六百七十二年ノ交薪炭賣買取締役ヲ置キ薪炭取引ノ仲買人トシ賣買薪炭量目賣買ノ計算薪炭搭船ノ出入港取締其他船舶出入等ノ報告ヲ調製セシメラルモ革命ニ際レ一旦之ヲ廢止シ賣買直取引ノ制ヲ

設ケタリ然レモ實際甚ダ不便ヲ感レ千八百二年再ヒ之ヲ設ケタリ
 千八百二年農務通常經費ハ百二十壹萬三千七百八十法臨時費四十一
 萬八千法合計百六十三萬千七百八十法ナリトス
 千八百三年早魃四ヶ月間打續キ穀物及牧草甚ダ不作ニレテ市場ニ不
 足シ其價格益騰貴シ殊ニ小農ハ動物ヲ捨賣スルニ至レリ是レ近來頗
 ニ人造牧草ノ必要ヲ勸告スルモ未ダ充分行ハレス爲メニ本年ノ如キ
 場合ニ於テ農民ハ其動物ヲ維持スルヲ能ハス麥及肉類ノ價格急ニ昂
 低チ生シ經濟上非常ノ變動ヲ起シ政府之ニ干涉シ巴里府ノ如キハ其
 取締ヲ府廳ニ擔任シ牛肉店ヲ三等ニ區分シ營業保証金ヲ納メ廢業ニ
 ハ必ス豫メ許可ヲ受ケシムルノ制ヲ設ケタリ其肉類賣買ノ個所ヲ定
 メ商店及市場ノ外ニハ其取引ヲ禁制シタリ是レ又施政ノ方向ヲ誤リ
 チケル氏ノ覆轍ヲ踏マントセルモノナリ
 此年西班牙ヨリ綿羊ヲ購入スルヲ數回ニシテ之ヲ別チテ各地ニ送ル
 ニ人民ハ欣然トシテ之ヲ購入シ其飼養ヲ熾ンニセリ又英國ヨリ牛類

ヲ輸入シラフンブイエー牧場ニ放飼シタリ
 シヤートロー苗樹仕立場ハ漸次盛大ニ赴キ已ニ果樹六萬株葡萄樹二
 百種ヲ培養シ政府ニ於テハ此場ヲ以テ園藝學校ト爲サント計畫盡力
 セリ
 林政ハ稍々整頓ノ緒ニ就キ官林ノ如キハ其繁殖法ヲ定メ大ニ保護ノ道
 チ立タリ又民有林ノ如キハ兎角目前ノ利益ヲ計リ濫伐ノ弊アリ殊ニ
 革命後内外戰亂ノ爲其保護又行キ届カス綠山變シテ藉山トナルノ勢
 アリ今回稍々其制度ヲ定メ今ヨリ二十五年間ハ濫ニ林地ヲ開墾スルヲ
 チ禁シ其許否ノ權ヲ山林局ニ與ヘタリ
 海濱砂山ノ堤防事業モ抄取り松樹ヲ植附ケタルヲ已ニ千「エ」メートル
 ニ達シ保護林モ亦將ニ益繁殖セントス
 馬種改良モ漸次好結果ヲ奏シ善良ノ種用馬ヲ市場ニ出ス者ニハ相當
 ノ褒賞金ヲ與ヘ専ラ獎勵法ヲ務メタリ
 堀削及浚渫事業ニ關スル法律ヲ設ケ此事業ニ關シテハ一切政府ノ監